

消防年報

令和八年版

姫路市



このページは空白です。

令和 8 年 版

姫 路 市 消 防 年 報

姫路市消防局

はじめに

この年報は、姫路市消防局における消防行政の概要と令和7年中の火災・救急・救助の状況を取りまとめたものです。広く各方面の皆さまにご高覧いただき、活用いただければ幸いと存じます。

今後も「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」の実現に向け取り組んでまいりますので、皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年5月

姫路市消防局長
中村 哲也

《ご利用の前に》

- (1) 本書は、姫路市の消防防災の全般にわたる基礎的な統計資料を収録したもので、原則として令和7年度の資料を中心に収録しています。
- (2) 統計表の「年次」とあるのは、暦年（1月1日～12月31日）、「年度」とあるのは、会計年度（4月1日～翌年3月31日）を表すものです。
- (3) 統計表中の符号の用法は、次のとおりです。
 - 「－」……該当なし
 - 「▲」……負数

※ 合併等について

姫路市は、平成18年3月27日に近隣4町（家島町・夢前町・香寺町・安富町）と合併し、平成19年4月1日からは、神崎郡3町（市川町・福崎町・神河町）の消防事務（消防団・水利事務を除く）を受託しています。

本書には以下のとおりの統計数値を掲載しています。

- ① 平成18年中の表示は、夢前町・香寺町・安富町を除く数値
- ② 平成19年中の表示は、消防事務受託後の4月1日以降の数値
- ③ その他、例外的なものについては、頭注に表記

目 次

第一部 施策編

第1章 総括

1 姫路市勢	1	・ 応急手当の普及啓発	30
2 一目統計	2	・ P A 出動	31
3 主な行事・出来事等	3	・ 「Thanksカード」の配布	31
4 消防本部・消防署所の配置	4	4 救助活動体制	31
5 姫路消防の沿革	5	・ 救助出動体制	31
6 消防庁舎の現況	12	・ 救助出動状況	31
7 組織及び事務分掌	13	・ 救助業務の高度化	32
8 階級と職名	14	(1) 国際消防救助隊	32
9 消防団の活動	15	(2) 水難救助隊	32
10 令和8年度消防局重点施策	17	(3) 山岳救助隊	32
11 令和8年度消防局所管事業及び事業内容	18	5 緊急通報受信体制	32

第2章 災害を未然に防ぐために

1 予防広報	21	・ 119番通報	33
・ 火災予防行事等の年間実施状況	21	(1) IP電話からの119番通報	33
・ 広報手段	21	(2) 携帯電話からの119番通報	33
(1) 姫路シティFM21での放送	21	・ 119番以外による通報	33
(2) 姫路ケーブルテレビでの放送	21	(1) FAX119	33
(3) 情報提供	21	(2) NET119	33
(4) SNSを活用した情報提供	21	・ 外国語同時通訳機能	33
・ 消防音楽隊	22	・ 119番による応急手当の指導	33
2 防火指導	23	・ 映像通報システム	33
・ 立入検査	23	6 相互応援体制	34
・ 消防同意等	23		
・ 防火対象物定期点検報告制度	23		
・ 表示マーク制度	24		
・ 防火管理	24		
(1) 防火管理者の役割	24		
(2) 防火管理講習	24		
・ 住宅防火対策	24		
(1) 住宅用火災警報器等の普及促進	24		
(2) 高齢者対策	24		
・ 民間防火組織の育成	25		
(1) 民間防火クラブ交流委員会	25		
(2) 婦人防火クラブ	25		
(3) 幼年消防クラブ	25		
・ 違反対象物公表制度	25		
3 危険物規制	26		
・ 危険物保安体制	26		
・ 石油コンビナート等特別防災区域	26		
・ 保安教育	26		

第3章 市民の生命財産を守るために

1 消防指揮体制	29
2 火災活動体制	29
・ 火災出動体制	29
3 救急活動体制	29
・ 救急出場体制	29
・ 救急業務の高度化	30
・ 派遣型救急ワークステーション	30
・ 播磨姫路救急搬送システム	30

第4章 災害について楽しく学ぶために

1 ひめじ防災プラザ	37
・ 施設の利用	37
・ 施設の紹介	37
・ イメージキャラクター「Bee」	39
・ 来館状況	39
・ 各種イベント等（令和6年度）	40
2 施設見学	41
3 トライやる・ウィークの受け入れ	41
4 市政出前講座	42
5 まもりんピック	42

第二部 統計・資料編

人事・予算

1	職員の配置状況	46
2	年齢別職員数	47
3	年度別職員数	48
4	公務災害等の発生状況	48
5	職員の技能資格	48
6	職員表彰	49
7	市民表彰等	49
8	年度別一般会計及び消防費決算額	50
9	令和8年度消防局予算概要	50
10	年度別主要事業実施状況	51

警 防

1	消防車両等の配置状況	54
2	消防緊急車両等の一覧	55
3	部隊別主要資機材配備基準	56
4	消防水利の現況	57
5	消防水利の整備状況	57
6	開発行為による設置状況	57
7	泡消火薬剤の備蓄状況	58
8	出動基準表	59

消防指令

1	総受信状況の推移	62
2	119番受信状況	62
3	119番受信状況の推移	63
4	119番通報形態(通報手段)の推移	63
5	FAX119受信状況の推移	64
6	NET119受信状況の推移	64
7	外国語同時通訳機能利用状況の推移	64
8	テレホンガイド(災害案内)受信状況の推移	64
9	医療機関問合せ状況の推移	64
10	消防通信系統図	65

予防・防災

1	火災予防に関する届出及び申請状況	68
2	防火対象物定期点検報告制度等に係る届出状況	69
3	液化石油ガス施設等の推移	70
4	指定査察対象物の推移	70
5	消防法等違反の実態と措置状況	70
6	指定査察対象物の立入検査等実施状況	71
7	指定査察対象物の状況	72
8	中高層建築物・地下を有する建築物の状況	73
9	防火対象物使用開始検査の状況	74
10	防火管理者・消防計画を必要とする防火対象物の	75
11	消防同意等の推移	76
12	民間防火組織等の指導育成状況	76
13	自主防災組織の結成状況	77

危険物

1	危険物事務の処理状況	80
2	完成検査前検査の状況	80
3	仮貯蔵・仮取扱承認件数の状況	80
4	危険物施設の状況	80
5	危険物施設の推移	81
6	危険物施設立入検査実施状況	81
7	特定・準特定屋外タンクの容量別・品名別状況	82
8	特定事業所の危険物等貯蔵取扱量の状況	82
9	特定事業所の危険物施設の状況	82
10	姫路臨海地区特別防災区域の現況	83
11	危険物防災体制の推進状況	84

消防団

1	消防団の沿革	86
2	消防団の組織	88
3	階級別の定員	89
4	年齢別団員数	90
5	在職年数別団員数	90
6	報酬及び出動手当	91
7	公務災害補償等の発生状況の推移	91
8	退職報償金の支給状況の推移	91
9	団員表彰の推移	91
10	教養訓練の実施状況の推移	92
11	消防ポンプ車庫及び消防ポンプ自動車の整備状況	92
12	団員の職業状況	93
13	分団別火災状況	94
14	消防団の装備・資機材	95

各種災害の状況

令和7年中の災害の状況	99
-------------	----

火災

1 火災状況	100
2 火災状況の推移	102
3 降水量と出火率の推移	103
4 署別火災件数	103
5 月別火災状況	104
6 四季別火災状況	105
7 建物用途別火災状況	105
8 建物火災に占める住宅火災の割合	106
9 火災の覚知方法	106
10 初期消火実施状況	107
11 初期消火失敗の理由	107
12 小学校区別火災状況	108
13 事務受託町の火災状況	108
14 出火原因の推移	109
15 建物用途別出火原因	110
16 主な出火原因の状況	111
(1) たき火・焼却火	111
(2) たばこ	111
(3) 放火(疑いを含む)	112
(4) 電気関係	113
(5) こんろ	113
17 火災による死者の発生状況	114
18 火災による死者の推移	114
19 火災による負傷者の推移	114
(1) 火災種別による負傷者	115
(2) 負傷者の区分	115
(3) 負傷原因	115
(4) 負傷経過	115
20 自治体消防発足以後の火災概要	116

救急

1 救急出場件数	117
2 救急出場件数の推移	118
3 過去10年間の救急出場件数の推移	118
4 月別出場件数	119
5 曜日別出場件数	119
6 時間別出場件数	119
7 隊別活動状況	120
8 小学校区別出場状況	122
9 隊別救急出場の推移	123
10 事故別・傷病程度別搬送人員	124
11 年齢別・事故別搬送人員	125
12 年齢別・傷病程度別搬送人員	125
13 過去5年間の傷病程度構成比の推移	126
14 応急処置実施状況	126
15 救命率	127
16 不搬送状況	127
17 不搬送理由	127
18 市民処置状況	128

救助

1 救助出動・活動状況	129
2 救助出動件数及び出動種別の推移	130
3 署別救助事故発生状況及び活動状況	130
4 署所別救助事故発生状況	131
5 発生場所別救助事故状況	131
6 水難救助事故の状況	132
7 山岳救助事故の状況	132
8 救助出動隊員数及び活動隊員数	133
9 救助出動車両台数及び活動車両台数	133
10 救助事故別傷病程度	133
11 救助資機材使用状況	134
12 救助訓練実施状況	134

その他

1 火災・救助以外の消防隊の緊急出動状況	135
2 自動火災報知設備の誤作動による出動状況	135
3 兵庫県消防防災航空隊災害出動状況	136

資料

令和7年度救急車適正利用啓発ポスター入賞作品	138
令和7年度防火ポスター最優秀賞・金賞作品	139
令和7年度火災予防啓発ポスター・チラシ	140

このページは空白です。

第一部 施 策 編

このページは空白です。

第1章 総括

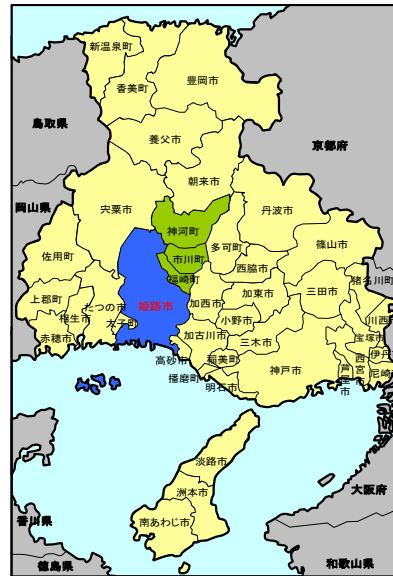


このページは空白です。

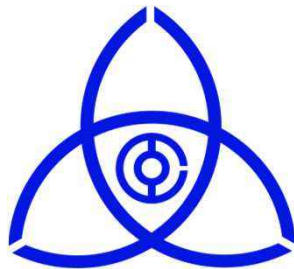
1 姫路市勢

姫路市は、兵庫県の南西部に位置し、人口はおよそ52万人、市域面積534 k m²で、北は中国山地の雪彦山、南は瀬戸内海に浮かぶ家島諸島を擁しています。年平均気温は17℃前後、年間降水量は1,500mm程度で、温和な気候である瀬戸内気候区に属しています。

■ 位置図



■ 市徽章



姫路の「姫」がモチーフ

■ 市旗



ヒメジの「ヒ」と白鷺がモチーフ

■ 市木



カシの木

■ 市鳥



しらさぎ（白鷺）

■ 市花



さぎ草

■ 市蝶



ジャコウアゲハ

2 一目統計

管轄面積 管轄人口 消防予算 (R8. 3. 31現在)					
	面積	人口 (住民基本台帳)	人口密度	世帯数 (住民基本台帳)	令和8年度消防局予算
姫路市	534.35 km ²	518,853 人	971.0 人/km ²	251,890 世帯	9,147,775千円
受託町	330.69 km ²	38,544 人	118.3 人/km ²	17,225 世帯	
合計	865.04 km ²	557,397 人	642.9 人/km ²	269,115 世帯	
【常備消防】 組織 機械 施設 (R8. 4. 1現在)					
	署所	消防職員	消防局保有車両等 (非常用を含む)	消防水利	
消防本部 1	定員 690 人	指揮隊車 3 台	救助工作車 3 台	消火栓 22,161 基	
消防署 5	実員 618 人	S T 車 16 台	救急車 25 台	防火水槽 732 基	
分署 2	平均年齢 38.2 歳	タンク車 8 台	消防艇 1 隻	防火井戸 206 基	
出張所 13		はしご車 5 台	救急艇 1 隻	プール等 249 基	
		化学車 3 台	その他 57 台		
火救 救 災害 緊急 通報 (R7年中)					
	火災	救急	救助	災害事故	緊急通報
火災件数 167 件	救急出動件数 35,387 件	救助出動 671 件	発生件数 2,862 件 (警戒・誤報・風水害等)	総受信件数 53,622 件 (うち119番 49,451 件)	
予 防 民間防火組織 (R8. 4. 1現在)					
	防火対象物	表示マーク制度	危険物施設	特定事業所	民間防火組織
17条 21,963 対象	交付宿泊施設数 金 14 対象 銀 1 対象	製造所 45 対象 貯蔵所 1,399 対象 取扱所 648 対象	1種事業所 6 対象 2種事業所 9 対象	婦人防火クラブ 33 対象 幼年消防クラブ 63 対象	
8条 5,149 対象					
【非常備消防】 組織 機械 施設 (R8. 4. 1現在)				防 災 (R8. 4. 1現在)	
	団・分団	消防団員	消防団協力事業所		自主防災組織
消防団 8 団	定員 3,226 人 実員 2,777 人	消防団協力事業所	表示交付事業所 74 事業所	結成数 780 (*) (結成率100%)	
消防分団 72 分団	平均年齢 44.4歳				

(*) 全自治会(組織数924)で結成。

3 主な行事・出来事等 (令和7年4月から令和8年3月)			
4月	11日(金) 28日(月)～3月31日(火)	第53回消防救助技術近畿地区指導会に伴う訓練開始式 マイナ救急実証事業に参加	
5月	27日(火) 29日(金)	姫路市危険物安全大会 第9回予防業務優良事例表彰優秀賞受賞 (電子申請署名で完全ペーパーレス！)	 (5/27 危険物安全大会)
6月	8日(日)～14日(土) 14日(土)	危険物安全週間 NET119登録会 (姫路市)	
7月	13日(日) 19日(土)	消防Ⅰ 消防吏員採用試験 第53回消防救助技術近畿地区指導会 (兵庫県広域防災センター)	
8月	30日(金)～9月5日(木) 30日(土)	防災の日 企画展示 (ひめじ防災プラザ) 第53回全国消防救助技術大会 (兵庫県広域防災センター)	
9月	4日(木) 7日(日)～13日(土) 21日(日) 26日(金) 28日(日)	救急車適正利用啓発ポスター表彰式 救急医療週間 消防Ⅱ 消防吏員採用試験 消防活動安全の誓い 雪彦山遭難救助訓練	 (9/4 救急車適正利用啓発ポスター表彰式)
10月	16日(木) 17日(金) 24日(金) 25日(土)～26日(日) 28日(火)	兵庫県下国際消防救助隊合同訓練 (兵庫県広域防災センター) 消防技術競技会 (消防局訓練場) 兵庫県下予防担当協会会議 (姫路市) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 (奈良県) 第26回全国女性消防操法大会出場	
11月	4日(火) 9日(日) 9日(日)～15日(土) 8日(土)～16日(日)	令和7年度 防火ポスター表彰式 兵庫県・播磨広域・姫路市合同防災訓練 秋季全国火災予防運動 防火ポスター展 (ひめじ防災プラザ)	 (11/4 防火ポスター表彰式)
12月	20日(金) 26日(金)～31日(水)	年末火災特別警戒発隊式 消防団年末火災特別警戒	 (1/11 姫路市消防出初式)
1月	11日(日) 12日(日)～21日(火) 26日(月) 28日(水)～30日(金)	令和8年姫路市消防出初式 1.17「ひょうご安全の日」企画展(ひめじ防災プラザ) 文化財防火防火デー (姫路城) 国際消防救助隊連携訓練 (京都市)	 (1/26 文化財防火デー)
2月	5日(木)～6日(金) 13日(金) 14日(土) 15日(日) 16日(月)～17日(火) 19日(木)	国際消防救助隊員研修 (大阪市) 兵庫県下消防長会救助技術研究会 (神戸) NET119登録会 (福崎町) 消防女子になるための就職説明会 救助総合訓練 (市営市川住宅) 警防活動向上研修会(災害への対応能力)	 (1/28 国際消防救助隊連携訓練)
3月	1日(日)～7日(土) 1日(日) 8日(日)	春季全国火災予防運動 姫路市中播消防署北部出張所竣工式 しかま消防フェスタ	 (3/1北部出張所竣工式)

4 消防本部・消防署所の配置



区分	総計	姫路市	受託町		
			市川町	福崎町	神河町
面積 (km ²)	865.04 〔 100% 〕	534.35 〔 61.77% 〕	82.67 〔 9.56% 〕	45.79 〔 5.29% 〕	202.23 〔 23.38% 〕
人口 (人)	557,397 〔 100% 〕	518,853 〔 93.09% 〕	10,362 〔 1.86% 〕	18,336 〔 3.29% 〕	9,846 〔 1.77% 〕
世帯数 (世帯)	269,115 〔 100% 〕	251,890 〔 93.60% 〕	4,823 〔 1.79% 〕	8,199 〔 3.05% 〕	4,203 〔 1.56% 〕

※端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。R8年3月31日現在の住民基本台帳人口

【管轄署別面積・人口・世帯数】

区分	総計	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾磨 消防署	網干 消防署	中播 消防署
面積 (km ²)	865.04 〔 100% 〕	105.11 〔 12.15% 〕	150.47 〔 17.39% 〕	75.65 〔 8.75% 〕	25.42 〔 2.94% 〕	508.39 〔 58.77% 〕
人口 (人)	557,397 〔 100% 〕	129,731 〔 23.30% 〕	145,628 〔 26.13% 〕	142,916 〔 25.64% 〕	67,819 〔 12.17% 〕	71,303 〔 12.79% 〕
世帯数 (世帯)	269,115 〔 100% 〕	64,315 〔 23.90% 〕	72,846 〔 27.07% 〕	67,996 〔 25.27% 〕	31,493 〔 11.70% 〕	32,465 〔 12.06% 〕

※端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。R8年3月31日現在の住民基本台帳人口

5 姫路消防の沿革

姫路市消防本部は、昭和23年3月7日に自治体消防として1本部、1消防署、消防職員90人、車両11台で発足しました。

半世紀以上経過した平成19年4月1日に神崎郡3町（市川町・福崎町・神河町）の消防事務を受託し、姫路の消防は、令和7年4月1日現在、1本部・5消防署・2分署・13出張所・消防車両等119台・消防艇等2隻・消防職員589人、消防団は8団・72分団、消防団員2,863人で安全・安心を担っています。

- 明治28年 ・公設姫路消防組として発足した。
- 昭和 8年 1月 ・姫路消防組常設消防部が発足した。
- 20年 3月 ・常設消防部の消防員を兵庫県消防手として採用、姫路消防独立中隊として発足、消防署に昇格した。
(署長以下56名、車両10台)
- 20年 7月 ・兵庫県須磨消防署から派遣された人員・車両、姫路消防独立中隊及び飾磨消防独立中隊を併せて西播消防大隊として発足した。
(署長以下263名、車両31台)
- ・姫路青年学校の校舎内に臨時消防大隊仮本部を設置した。
部隊編成は、姫路(第1)中隊、飾磨(第2)中隊とした。
- 20年10月 ・消防本部を姫路進駐軍接收の本町庁舎に移転した。
- 21年 2月 ・兵庫県告示第161号をもって、消防署の名称、位置及び管轄区域が定められ、西播消防大隊は「兵庫県姫路消防署」に名称変更した。
(署長以下210名、車両19台)
(管轄区域) 姫路市、飾磨市、白浜町、広畑町、網干町、勝原村、余部村
- 21年 3月 ・隣接する1市(飾磨市)、3町(白浜・広畑・網干町)、3村(大津・勝原・余部村)と合併した。
- 23年 3月 ・消防組織法の施行による自治体消防への改革と同時に「姫路市消防本部」を設置し、また、署の名称も「姫路市消防署」に改めた。
消防本部 → 姫路市消防本部
消 防 署 → 姫路市消防署
出 張 所 → 飾磨出張所 網干出張所 白浜出張所
- 24年12月 ・姫路市消防本部に関する規則の制定に伴い、「姫路市消防局」に名称変更し、総務、予防、消防、機械の各課を置いた。
- 25年 1月 ・飾磨、網干出張所を署に昇格し、3署体制とした。
消防本部 → 姫路市消防局
消 防 署 → 姫路消防署 飾磨消防署 網干消防署
出 張 所 → 白浜出張所 延末出張所
- 25年 7月 ・消防音楽隊を発足させた。
- 25年10月 ・救急業務を開始した。(県下で2番目)
- 27年 4月 ・鳥取市大火に当市から応援出動した。
- 29年 7月 ・隣接する5村(曾左・余部・糸引・八木・太市村)と合併した。
- 30年 1月 ・文化財防火デー(1月26日)が制定された。
- 30年12月 ・予防課を消防課に、機械課を総務課に統合し、従来の4課を2課に改めた。
- 31年 1月 ・消防波無線機を導入した。
・特別救助隊を発足させた。
- 31年 4月 ・市西北部に姫路消防署夢前出張所(現・飾西出張所)を新設した。

- 32年10月 ・隣接する4村(四郷・花田・御国野・別所村)と合併した。
- 33年 1月 ・隣接する1町(神南町)、2村(飾東・的形村)と合併した。
- 33年 9月 ・救急車に無線機を搭載した。
- 34年 2月 ・飾磨消防署広畑出張所を新設した。
- 34年 3月 ・昭和32年10月、隣接5ヶ村との合併により、市東部に姫路消防署御国野出張所を新設した。
- 34年 5月 ・隣接する大塩町と合併した。
- 34年 9月 ・危険物の規制に関する政令が制定された。
- 35年 6月 ・防災の日(9月1日)が制定された。
- 36年 4月 ・姫路消防署豊富出張所を新設した。
- 36年 5月 ・姫路消防署延末出張所を新築移転し、名称を姫路消防署手柄出張所に改めた。
- 37年 7月 ・姫路消防署姫路駅前出張所を新設した。
- ・災害対策基本法が施行された。
- 38年 4月 ・消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
- 40年 5月 ・消防設備士資格制度が創設された。
- 42年 1月 ・飾磨消防署大的出張所を新設した。
- 42年 3月 ・隣接する林田町と合併した。
- 42年12月 ・姫路消防署夢前出張所を姫路消防署飾西出張所に名称を改めた。
- ・姫路消防署林田出張所を新設した。
- 43年 4月 ・姫路消防署飾西出張所を新築移転した。
- ・化学消火薬剤共同備蓄事業会を設立した。
- 44年 4月 ・予防課を新設し、3課体制とした。(総務課 消防課 予防課)
- ・消防指令センターを新設し、消防課に救助隊を設置した。
- 44年12月 ・網干消防署に監視テレビ装置を設置した。
- 45年 3月 ・指令無線基地網干前進基地局の運用を開始した。
- 45年 6月 ・救急車用サイレンの音色が変更された。
- 47年 9月 ・水難救助活動中隊員2名が殉職した。
- 48年 9月 ・姫路消防署城東救急分遣隊を新設した。
- 49年 3月 ・飾磨消防署を新築移転した。
- ・飾磨消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 50年 3月 ・姫路市消防局及び姫路消防署を改築した。
- ・姫路消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 50年 4月 ・夜間救急対策費運営要綱を制定、夜間救急患者の受け入れに協力した医療機関に対する謝礼金制度を確立した。
- 50年 6月 ・姫路海上保安署と船舶火災等に関する業務協定を締結した。
- 50年 7月 ・姫路市水難救助隊に関する規定を制定、水難災害事故を民間に委託した。
- 50年10月 ・市と臨海地区事業所間で災害防止協定を締結した。
- 51年 4月 ・姫路市消防審議会を設置した。
- ・災害緊急通報電話(ホットライン)を導入した。
- ・救急業務に協力した医師に対する報償金支給要綱を制定、救急現場への医師確保のための謝金制度を確立した。
- 51年 7月 ・姫路臨海地区が「石油コンビナート等災害防止法」の施行に伴い、特別防災区域の指定を受けた。
- 昭和51年 9月 ・救急隊員の健康管理の特別検診を開始した。

- 52年 3月 ・姫路消防署飾東出張所を新設した。
- 53年 4月 ・「石油コンビナート等災害防止法」の施行に伴い、激増する危険物行政に対応するため、危険物保安課を新設した。(総務課 消防課 予防課 危険物保安課)
- ・危険物関係事務電算処理システムを導入した。
- 53年 6月 ・網干消防署を新築移転した。
- ・網干消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 53年 7月 ・救急隊員の行う応急処置等の基準が告示され、救急隊員の応急処置等が義務化された。
- 54年 2月 ・姫路市夜間急病センターが開設された。
- 54年 3月 ・姫路消防署増位出張所を新設した。
- 55年 3月 ・姫路消防署豊富出張所を新築移転した。
- ・飾磨消防署白浜出張所を分署に昇格し、新築移転した。
- 55年 4月 ・警防部を新設した。
- ・(総務課 警防部消防課 警防部予防課 警防部危険物保安課)
- ・姫路市役所の新築移転に伴い、消防局も市役所新庁舎に移転した。
- 55年 9月 ・救急隊員確保のため法的特例措置に基づき補充講習を実施、有資格隊員65名を確保した。
- 56年 1月 ・消防・救急指令装置を一新し、指令センターを新庁舎に移設した。
- ・救急関係事務電算処理システムを導入した。
- ・防火基準適合表示制度の運用を開始した。
- 56年 4月 ・姫路消防署城東救急分遣隊を廃止した。
- 56年 6月 ・姫路西消防署を新設した。
- ・姫路西消防署の新設に伴い、姫路消防署を姫路東消防署と改名した。
- 57年 3月 ・姫路東消防署御国野出張所を改築した。
- ・網干消防署勝原出張所を新設した。
- 57年 9月 ・救急の日・救急医療週間が制定された。
- 58年 4月 ・管理部、警防部の二部制に改革し、管理部に管理課、警防部予防課に査察専従隊を新設した。
- ・県救急医療情報システムによる救急管制業務が開始された。
- 58年 7月 ・管理部、警防部を廃止し、総務・警防担当の次長制を導入した。
- 59年 2月 ・指令無線基地大的前進基地局の運用を開始した。
- 59年 4月 ・飾磨消防署広畑出張所を改築した。
- 60年 4月 ・播磨灘流出油災害対策協議会が設立された。
- 61年 4月 ・消防法の一部改正により、救助隊の配置が義務化された。
- 61年11月 ・飾磨消防署広畑出張所を増築し、分署に昇格させた。
- 62年 9月 ・119の日が制定された。
- 63年 4月 ・各消防署に救急救助係を新設した。
- 63年 8月 ・兵庫県広域消防相互応援協定を締結した。
- 平成元年 9月 ・国際緊急援助隊の派遣に関する法律が交付・施行された。
- 2年 1月 ・危険物安全週間が制定された。
- 2年 7月 ・姫路東消防署、飾磨消防署に特別救助隊を設置した。
- 2年10月 ・姫路東消防署豊富出張所を増築した。
- 平成2年12月 ・緊急通報装置(安心コール)の受信を開始した。
- 3年 5月 ・ファックスによる緊急通報(ファックスコール)の受信を開始した。

- 3年 7月 ・消防次長を1人制とした。
- ・総務課と管理課を統合して総務課とし、消防課指令係を指令室に昇格させた。
- 3年 8月 ・救急救命士法が施行された。
- 4年 4月 ・姫路市における初の女性消防官を2人採用した。
- 4年 6月 ・初の救急救命士が誕生した。
- 5年 4月 ・姫路市救急指導医の嘱託制を開始した。
- ・高速自動車道消防協議会が発足した。
- 6年 1月 ・高規格救急車の運用を開始した。
- 6年 2月 ・救急救命士による特定行為を開始した。
- 7年 1月 ・阪神・淡路大震災による災害援助に応援出動した。
- 7年 3月 ・姫路市応急手当の普及啓発活動に関する要綱制定に伴い、応急手当指導員資格者35人を養成した。
- 7年 6月 ・消防緊急情報システムの運用を開始した。
- 7年 9月 ・緊急消防援助隊に登録した。
- 8年 4月 ・姫路市が中核市に移行した。
- ・PHS電話からの119番受信を開始した。
- ・消防活動用資機材及び支援物資相互応援協定（堺市高石市・和歌山市・徳島市）を締結した。
- ・西播磨地域災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- 8年 5月 ・災害時における生鮮食料品等の供給協力等相互応援に関する協定を締結した。
- ・榊原公ゆかり都市災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- 8年10月 ・中核市災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- ・兵庫県消防防災航空隊が発足した。
- 8年11月 ・姉妹都市災害時相互応援協定を締結した。
- ・大規模災害用人員搬送車を姫路東消防署に配備した。
- ・全消防署（4署）に非常電源装置（自家発電設備）を設置した。
- 9年 3月 ・山陽自動車道消防相互応援協定（全線）を締結した。
- 9年11月 ・災害時における姫路郵便局との相互協力に関する協定を締結した。
- 10年 1月 ・隣接都市（高砂・加古川・加西市）災害時相互応援協定を締結した。
- 10年 4月 ・携帯電話からの119番受信を開始した。
- ・消防職員OBの活用として防災指導員制度を導入した。
- 10年12月 ・高規格救急車を全隊(9隊)に配備完了した。
- 11年 3月 ・兵庫県水道災害相互応援に関する協定を締結した。
- 11年 4月 ・姫路市震度ネットワークシステムの運用を開始した。
- ・災害対策本部を整備し、運用を開始した。
- 11年 6月 ・災害時における食料、生活必需品等の供給に関する協定を締結した。
- ・災害時における物資の輸送に関する協定を締結した。
- 11年 7月 ・指令室を情報指令課に名称変更した。
- ・防災行政全般が消防局に移管され、防災課を新設し、防災監を置いた。
- 12年 3月 ・災害時における建設業界との応急対策に関する協定を締結した。
- 12年 4月 ・予防課と危険物保安課を統合し、5課体制とした。
- （総務課 消防課 予防課 情報指令課 防災課）
- ・姫路東消防署に女性救急隊員を配置した。
- 12年10月 ・国際消防救助隊編成協力市町村に登録した。

- 13年 1月 ・災害時における災害トイレ等の供給協定を締結した。
- 4月 ・国際消防救助隊員として登録した。
- 13年 7月 ・災害情報放送(姫路ケーブルテレビ(株))に関する協定を締結した。
- ・災害等緊急放送(株姫路シティFM21)の実施に関する協定を締結した。
- 13年 9月 ・「姫路市における消防力の整備に関する懇話会」を設置した。
- 13年11月 ・P A出動の試行を開始した。
- 14年 1月 ・災害時における遺体の安置・搬送等の協力に関する協定を締結した。
- 14年 3月 ・「姫路市における消防力の整備に関する懇話会」から提言を受けた。
- ・生物・化学(BC)テロ対応資機材を国から貸与された。
- 14年11月 ・P A出動の本格運用を開始した。
- 15年 3月 ・新消防艇「ひめじ」が竣工した。
- ・第1回 中・西播磨地域メディカルコントロール協議会を開催した。
- ・BC災害対応部隊を姫路東消防署特別救助隊に配置した。
- 15年 4月 ・姫路市水難救助隊が発足した。
- 15年 5月 ・消防組織法の改正により、緊急消防援助隊が義務付けられた。
- ・第1回中・西播磨地域検証委員会を開催した。
- 15年 6月 ・避難所(県立高等学校)に関する覚書を締結した。
- 15年11月 ・女性救急救命士が誕生した。
- 16年 4月 ・避難所(兵庫県立大学)に関する覚書を締結した。
- 16年 6月 ・国民保護法が公布された。
- 16年 7月 ・救急救命士による気管挿管を開始した。
- ・福井豪雨に緊急消防援助隊として応援出動した。
- 16年 8月 ・救急隊員によるAEDの使用を開始した。
- 16年 9月 ・IP電話からの119番受信を開始した。
- 16年10月 ・豊岡市水害へ応援出動した。
- 17年 4月 ・JR福知山線列車事故(尼崎市)に応援出動した。
- 17年11月 ・携帯電話119番通報が直接受信方式へ移行した。
- 17年12月 ・水難救助車を飾磨消防署に配備した。
- 18年 1月 ・災害時要援護者用一時避難所に関する協定を締結した。
- 18年 3月 ・隣接する4町(家島・夢前・香寺・安富町)と合併した。
- ・合併町の消防体制を整備する間、夢前・香寺町域の消防事務を中播消防事務組合に、安富町域の消防事務を宍粟市に委託した。(19年3月末まで)
- 18年 4月 ・国民保護業務が消防局に移管され、防災課に国民保護担当を置いた。
- ・救急救命士(認定)による薬剤(アドレナリン)の投与を開始した。
- ・高度救助隊が法制化された。
- ・消防組織法の一部改正に基づき、「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が示された。
- 18年12月 ・救急隊員の心肺蘇生法要領の改正に基づく、新プロトコールによる救急活動を開始した。
- 19年 1月 ・災害時における船舶による輸送等に関する協定を締結した。
- 19年 3月 ・姫路市国民保護計画を作成した。
- 19年 4月 ・姫路市防災センターを新設した。
- 姫路市防災センター内に消防本部を移転し、消防防災総合情報システム(高機能消防指令システム・防災情報システム)の運用を開始するとともに本部直轄隊を

- 配備した。
- ・姫路市の組織改正により、危機管理監が新設されるとともに、消防局長が危機管理担当理事を兼任、消防局内の災害への実効機能を高めるため、防災課を危機管理室に改名し、危機管理室長を置いた。
 - ・中播消防事務組合の解散に伴い、神崎郡3町(市川・福崎・神河町)の消防事務を受託し、中播消防事務組合の庁舎を姫路市中播消防署とした。
 - ・中播消防署香寺出張所を新設した。
 - ・姫路西消防署林田出張所を新築移転した。
 - ・姫路東消防署姫路駅前出張所及び姫路西消防署手柄出張所を廃止した。
〔1本部(4課・1室)、5署、2分署、11出張所体制となった。〕
 - ・指令無線基地林田・夢前前進基地局の運用を開始した。
 - ・中播消防無線基地局及び日光寺前進基地局の無線免許を承継し、前進基地局として運用を開始した。
 - ・消防課に本部直轄隊(指揮支援車・救助工作車・救急車・ポンプ車・災害対応車)を配置し、本部高度救助隊を発足した。
- 19年 5月 ・姫路市地域防災貢献事業所登録制度の運用を開始した。
- 19年 9月 ・姫路市で初めての国民保護訓練を実施した。
- 19年11月 ・姫路市危機管理基本指針を策定した。
- 20年 6月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員539人から561人とした。
- 20年10月 ・姫路市山岳救助隊を発足した。
- 21年 4月 ・姫路市の組織改正により、防災全般や国民保護など庁内の連携や調整を担当する防災審議監が新設され、消防局長は危機管理担当理事を兼任解除となった。
- 21年 8月 ・兵庫県北・西部豪雨に伴う応援出動をした。(佐用町・宍粟市)
- 22年 3月 ・消防局訓練施設を竣工した。
- 22年 4月 ・姫路市の組織改正により、消防局危機管理室が危機管理室に昇格し、防災や国民保護に関する業務が消防局から危機管理室に移管された。
〔1本部(4課)、5署、2分署、11出張所体制となった。〕
- 23年 3月 ・東日本大震災に緊急消防援助隊(兵庫県大隊)を派遣した。
- 4月 ・飾磨消防署白浜分署を新築移転した。
- ・飾磨消防署家島出張所・坊勢出張所を開設し、救急業務を主体とした家島町域の常備消防体制を開始した。
〔1本部(4課)、5署、2分署、13出張所体制となった。〕
 - ・家島前進基地局の運用を開始した。
- 24年 6月 ・横田石油(株)と消防業務に係る燃料調達に関する覚書を締結した。
- 9月 ・石油コンビナート火災活動中隊員1人が殉職した。
- 25年 1月 ・飾磨消防署家島出張所を新築移転した。(家島事務所内に併設)
- 25年 3月 ・飾磨消防署大的出張所を新築した。
- ・VSAT搭載型消防無線中継車・資機材搬送車を国から貸与された。
- 26年 2月 ・ひめじ防災プラザをリニューアルオープンさせた。
- 4月 ・消防課を消防・救急課に名称変更した。
- 5月 ・姫路沖タンカー爆発火災に応援出動した。(消防艇)
- ・赤穂市の林野火災に応援出動した。
- 6月 ・相生市の林野火災に応援出動した。
- 27年 3月 ・朝来市の工場火災に応援出動した。

- 27年11月 ・救急ワークステーション事業を開始した。
- 28年 1月 ・救急救命士（認定）による心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を開始した。
- 28年 4月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員561人から565人とした。
- ・消防指揮隊が2隊、発足した。（本部、姫路東）
- ・高機能消防指令システムの更新及び消防救急デジタル無線システムの運用を開始した。
- ・熊本地震に緊急消防援助隊（兵庫県大隊）を派遣した。
- 29年 3月 ・新型防火衣を導入した。
- ・姫路西消防署を増築した。
- 29年 4月 ・消防指揮隊の3隊運用を開始した。（本部、姫路東、姫路西）
- 〃 ・違反对象物公表制度を開始した。
- 29年 7月 ・飾磨消防署を増築した。
- 30年 3月 ・姫路西消防署飾西出張所を新築移転した。
- 30年 7月 ・広島県（平成30年7月豪雨）へ緊急消防援助隊（兵庫県大隊）を派遣した。
- 31年 4月 ・水難救助車を本部へ配置替えした。
- 〃 ・消防・救急課を警防課と救急課、それぞれ単独の課とし、5課体制とした。
- 〃 ・新救急艇「いえしま」が就航した。
- 令和2年2月～ ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染防止対策を図る。
- 2年 4月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員565人から604人とした。
- 3年10月 ・中、西播磨地域の5市6町での協働により、「播磨姫路救急搬送システム（通称HEARTS）」を本格稼働した。
- 4年 5月 ・兵庫県立はりま姫路総合医療センター（愛称：はり姫）において、派遣型救急ワークステーションの運用を開始した。
- 5年 7月 ・新消防艇「ひめじ」が就航した。
- 6年 1月 ・石川県（令和6年能登半島地震）へ緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣した。
- 4月 ・日勤救急隊を新たに1隊創設した。
- 7月 ・県内初、救急車に電動ストレッチャーを導入した。
- 7年 4月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員604人から690人とした。
- 8年 3月 ・中播消防署北部出張所を新築移転した。
- 8年 4月 ・日勤救急隊を新たに1隊創設した。（2隊目）
- 〃 ・高機能消防指令システムを更新した。

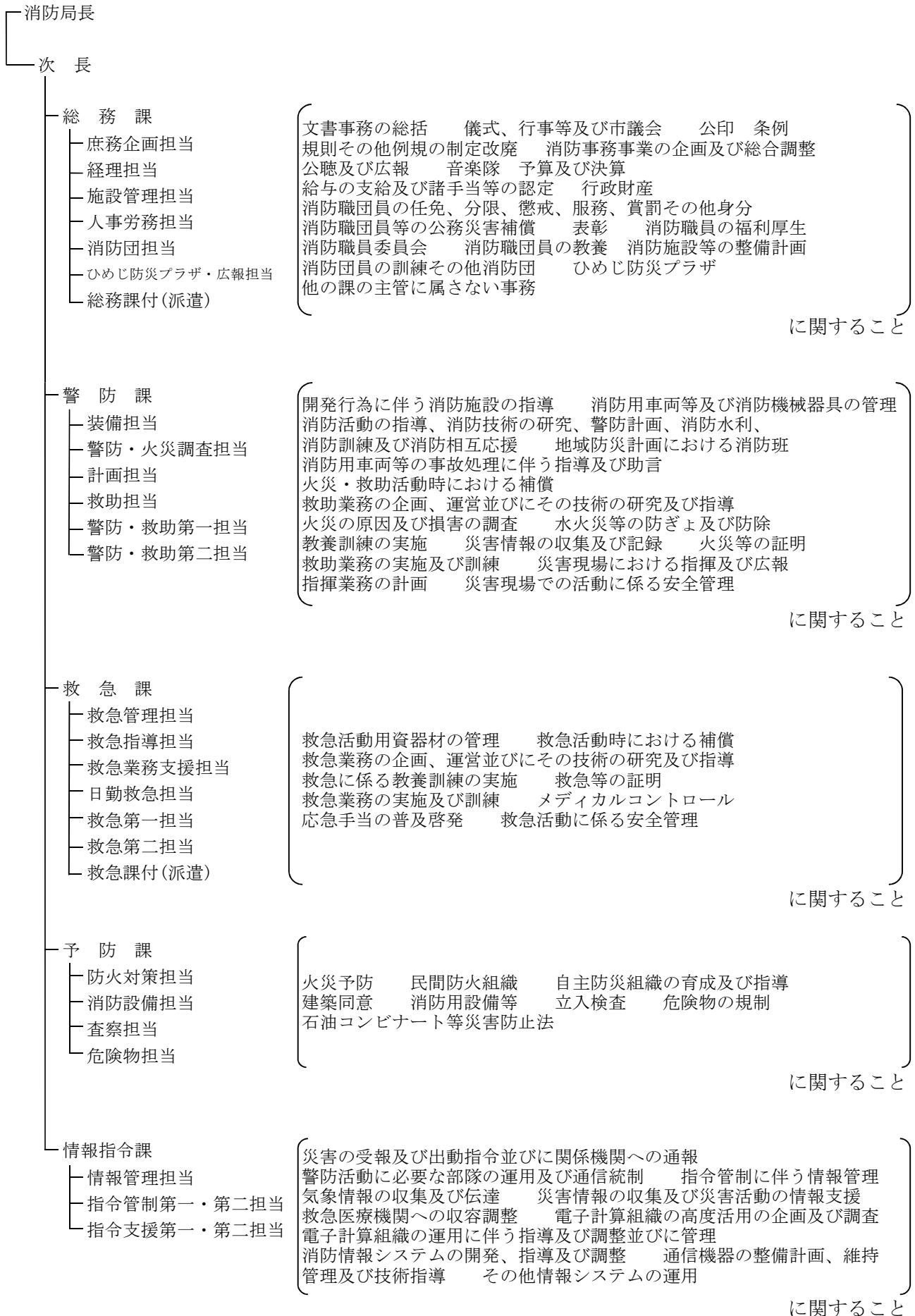
6 消防庁舎の現況

区分	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	建築年月日	
消防局 (防災センター)	姫路市三左衛門堀 西の町3番地	鉄筋コンクリート造6階建	1,932.99	6,614.87	平成19年 2月 15日	
姫路東消防署	本署 附属棟 自転車置場 倉庫	姫路市本町 68番地68	鉄筋コンクリート造3階建 コンクリートブロック造平屋建 軽量鉄骨造平屋建 鉄骨プレハブ造2階建	3,985.02 284.31 21.60 113.40	1,580.53 // // 昭和61年 3月 31日	
	御国野出張所	姫路市御国野町 国分寺65番地1	鉄筋コンクリート造2階建	392.00	195.45	昭和57年 3月 27日
	豊富出張所 救急消毒室	姫路市豊富町 御蔭1112番地	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄筋コンクリート造平屋建	677.06 16.00	256.53 平成16年12月 28日	
	飾東出張所	姫路市飾東町 山崎608番地4	鉄筋コンクリート造平屋建	456.87	175.56	昭和52年 3月 31日
	増位出張所 救急消毒室・資材倉庫	姫路市増位新町 一丁目18番地	鉄筋コンクリート造平屋建 軽量鉄骨造平屋建	570.00 25.50	182.94 令和8年1月 28日	
	姫路西消防署	本署 倉庫 カーポート	姫路市西今宿 三丁目7番20号	鉄筋コンクリート造2階建 鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建	2,644.59 100.75 26.40	1,292.09 昭和56年 6月 12日 (平成29年3月 増築) 昭和56年 6月 12日 昭和57年 3月 31日
飾西出張所		姫路市飾西341番地	鉄筋コンクリート造平屋建	816.70	394.75	平成30年 3月 22日
林田出張所		姫路市林田町 六九谷136番地2	鉄筋コンクリート造平屋建	815.20	471.08	平成19年 3月 15日
飾磨消防署	本署 自転車置場	姫路市飾磨区 中島1130番地8	鉄筋コンクリート造2階建 軽量鉄骨造平屋建	3,346.57 20.00	1,551.19 昭和49年 3月 7日 (平成29年7月 増築) 昭和49年 3月 7日	
	白浜分署 倉庫 発電機棟 カーポート	姫路市白浜町 甲840番地5	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建 鉄筋コンクリート造平屋建 アルミ造平屋建	2,709.21 127.41 32.96 18.85	696.93 平成23年 2月 28日 // // //	
	広畑分署 倉庫	姫路市広畑区東新町 二丁目30番地	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建 鉄筋コンクリート造平屋建	1,015.53 36.00	584.25 昭和59年 3月 29日 (昭和61年10月 増築) 昭和59年 3月 29日	
	大的出張所	姫路市的形町 的形1804番地4	鉄筋コンクリート造2階建	561.02	399.43	平成25年 3月 15日
	家島出張所	姫路市家島町 真浦2137番地1	鉄筋コンクリート造4階建	—	215.83	平成24年12月 25日
	坊勢出張所	姫路市家島町 坊勢186番地	鉄筋コンクリート造3階建	—	247.36	昭和56年6月 1日
	網干消防署	本署 倉庫 自転車置場	姫路市網干区大江島 古川町74番地	鉄筋コンクリート造2階建 コンクリートブロック造平屋建 軽量鉄骨造平屋建	3,348.77 112.11 21.00	990.38 // //
勝原出張所		姫路市勝原区 宮田494番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	588.54	189.45	昭和57年 3月 31日
中播消防署	本署 訓練塔 倉庫	神崎郡福崎町 福崎新404番地2	鉄筋コンクリート造3階建 鉄筋コンクリート造5階建 コンクリートブロック造平屋建	2,160.50 80.00 35.84	1,618.21 昭和52年 3月 17日 昭和55年 12月 25日 //	
	夢前出張所	姫路市夢前町 前之庄3719番地6	鉄筋コンクリート造2階建	1,061.24	382.73	昭和53年 2月 1日
	香寺出張所	姫路市香寺町 香呂204番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	801.21	394.97	平成19年 3月 16日
	北部出張所	神崎郡神河町 柏尾471番1	鉄骨造平屋建	5,328.02	493.56	令和8年 3月 1日
消防局訓練施設	姫路市西今宿 三丁目643番地8	鉄骨造2階建	2,677.60	A塔: 83.0㎡ B塔: 166.5㎡ C塔: 130.2㎡	平成22年 3月 15日	

※10㎡未満の建築物は除く

7 組織及び事務分掌

消防本部 5課・27担当



姫路東消防署	庶務担当	署の庶務 公印 人事、教養、服務 福利厚生 事務事業の計画及び総合調整 消防情報及び統計 庁舎及び附属施設の管理 消防団事務 消防職員の安全衛生管理 消防職団員等の公務災害補償事務 他の担当の主管に属さない事務	
— 庶務担当			
— 予防担当			
— 指揮第一・第二担当			
— 警防第一・第二担当			
— 救急第一・第二担当			
— 御国野出張所	予防担当	防火思想の普及啓発 火災予防対策の樹立及び推進 防火対象物、危険物施設の立入検査及び指導 民間防火組織等の育成 指導 消防用設備等の設置検査及び点検の指導 防火対象物定期点 検報告制度 自主点検報告制度 防火対象物の使用開始検査 防火対象物、危険物施設の実態調査及び違反処理 風俗営業関係建築 物の防火安全確保における関係機関の連携 旅館、ホテル等の営業許 可等に係る消防法令適合通知等直接通報等事務処理 防火管理の指導 特定事業所の災害予防 危険物製造所等の許可及び検査 危険物及 び指定可燃物の規制 危険物取扱者免状の返納命令に係る調査事務 消防法、姫路市火災予防条例に基づく各種届出 液化石油ガス設備工 事届の受理及び液化石油ガス販売事業者等への立入検査等 火薬類貯 蔵者に対する立入検査等 高圧ガス消費者に対する立入検査等	
— 豊富出張所			
— 飾東出張所			
— 増位出張所			
— 飾路西消防署	指揮第一・第二担当		災害現場における指揮及び広報 指揮業務の計画 災害現場での活動に係る安全管理及び評定
— 庶務担当			
— 予防担当			
— 日勤救急担当	警防第一・第二担当	水火災等の災害防ぎょ及び防除 消防警備 消防地水利 消防通信の運用 消防機械器具の管理及び改善 気象情報等の広報 通信等諸勤務の実施 火災及び救助の統計 救助業務の実施及び訓練 災害証明 姫路市火災予防条例第54条に基づく届出の受理	
— 指揮第一・第二担当			
— 警防第一・第二担当			
— 救急第一・第二担当			
— 飾西出張所	救急第一・第二担当・日勤救急担当		救急業務の実施及び訓練 救急技術の研究及び指導 応急手当の普及啓発 民間患者等搬送従事者の再講習 救急統計及び救急報告 救急広報
— 林田出張所			
— 飾磨消防署			
— 庶務担当			
— 予防担当			
— 指揮第一・第二担当			
— 警防第一・第二担当			
— 救急第一・第二担当			
— 白浜分署			
— 広畑分署			
— 大的出張所			
— 家島出張所			
— 坊勢出張所			
— 網干消防署			
— 庶務担当			
— 予防担当			
— 警防第一・第二担当			
— 救急第一・第二担当			
— 勝原出張所			
— 中播消防署			
— 庶務担当			
— 予防担当			
— 警防第一・第二担当			
— 救急第一・第二担当			
— 夢前出張所			
— 香寺出張所			
— 北部出張所			

8 階級と職名

階 級	職 名	計
消 防 正 監	消防局長	1 人
消 防 監	消防局次長、消防署長	6 人
消 防 司 令 長	消防局の課長、主幹 消防署の副署長、指揮隊長	17 人
消 防 司 令	消防局の課長補佐、救急司令、係長、課付司令 消防署の課長補佐、指揮司令、警防司令、救急司 令、分署長、分署付司令 出張所長、係長	125 人
消 防 司 令 補	消防局及び消防署の主任	219 人
消 防 士 長	消防局及び消防署の係員	128 人
消 防 副 士 長	消防局及び消防署の係員	61 人
消 防 士	消防局及び消防署の係員	52 人
事 務 吏 員	消防局次長	1 人
計		610 人

(※フルタイム再任用職員8人を除く)

9 消防団の活動

・消防団の組織

姫路市の消防団は、明治17年3月発足の船場本徳寺の私設消防組が、消防団規則（明治27年2月勅令第15号）公布により私設寺消防をそのまま移管、公設消防組として発足しました。

その後、周辺町村との合併等による市勢の変遷に伴い組織体制を改編し、現在、8団72分団、定員3,226人の体制となっています。

〔消防団の組織〕

区分 団	分団数	定員	実員
姫路東消防団	20分団	720人	632人
姫路西消防団	16分団	557人	512人
飾磨消防団	14分団	560人	528人
網干消防団	6分団	259人	256人
家島町消防団	4分団	170人	137人
夢前町消防団	7分団	560人	400人
香寺町消防団	3分団	240人	229人
安富町消防団	2分団	160人	83人
計	72分団	3,226人	2,777人

・消防団の施設・装備

消防団には、地域の防災活動拠点となる分団車庫と災害時に機動力を発揮する消防ポンプ自動車を配備しています。

現在、施設整備事業として、市費による車庫建設、消防ポンプ自動車（CD-I型）の更新を推進し、消防団活動の更なる充実強化を図っています。

〔消防ポンプ自動車等の配備状況〕

区分 団	消防ポンプ自動車	普通積載車	軽積載車	小型動力ポンプ
姫路東消防団	20	10	—	—
姫路西消防団	16	3	—	2
飾磨消防団	14	2	—	—
網干消防団	6	1	—	—
家島町消防団	3	—	17	—
夢前町消防団	7	—	1	—
香寺町消防団	3	—	1	—
安富町消防団	2	—	3	—
計	71台	16台	22台	2台

・消防団の業務・活動

非常勤の消防団員は、地域を愛するボランティア精神に基づき各自が職業に就きながら、消火活動のほか、地震や風水害などの大規模災害時等には、救出救助、避難誘導、災害防ぎょ活動を行っています。

平常時は、地域防災のリーダーとして、地域住民への防火・防災意識の啓発や訓練指導、火災予防や警備警戒活動にあたるなど地域の安全確保に努めています。

また、多様な災害に対応するため、訓練・研修を実施し、専門的技術や知識等の習得を図っています。

〔年間の主な活動・行事予定〕

予定月	活動・行事内容
	各団・各分団出初式
1月	姫路市消防出初式 文化財防火デー総合訓練
3月	春季火災予防運動
4月	新入団員教養訓練
5月～6月	水防訓練
5月～翌3月	応急手当指導員養成講習(隔年)
5月～翌3月	消防団幹部視察研修
7月	中播磨地区消防操法大会(隔年)
9月～11月	姫路市総合防災訓練
10月	新入団員教養訓練
11月～3月	県消防学校幹部教育入校
11月	秋季火災予防運動 消防団幹部教育訓練
12月	消防団年末火災特別警戒

〔火災等活動(人員)状況〕

(令和7年中)

区分 団	火災	水防	訓練	年末警戒・ 予防運動等
姫路東消防団	379	—	589	1,471
姫路西消防団	292	—	1,542	1,358
飾磨消防団	283	—	1,084	1,289
網干消防団	153	—	1,035	861
家島町消防団	153	—	192	305
夢前町消防団	158	—	256	658
香寺町消防団	41	—	510	367
安富町消防団	—	—	117	171
計	1,459	0	5,325	6,480

・消防団協力事業所表示制度

姫路市消防団協力事業所表示制度は、複数の消防団員を従業員として雇用している事業所や消防団の訓練場所や災害発生時に資機材等を提供するなど、姫路市の消防団へ積極的に協力している事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付し、地域における当該事業所等の社会貢献を広報するとともに、地域防災力の充実強化を図るために実施する制度です。

《協力事業所の認定基準》

事業所等に消防関係法令上の違反がなく、以下のいずれかに適合しているときに申請若しくは推薦することができます。

- ① 10名以上又は従業員の10%以上の従業員が消防団に入団していること。
- ② 従業員等の消防団活動について、積極的に配慮していること。
 - ア 勤務時間中の消防団員としての出勤や訓練等に関する配慮をしている事業所等
 - イ 消防団活動を行う際に、賃金・手当等をカットしない等の配慮をしている事業所等
 - ウ 消防団活動を行うことに対して、昇進や昇給等で不利に扱わないように内部規定などで定めている事業所等
 - エ 消防団員から推薦があり、団員の任務遂行に特に積極的に協力していると消防団長が認める事業所等
- ③ 災害の発生時等に資機材等を消防団に提供するなど消防団活動に協力をしていること。

※ 「災害時等に事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力をしている事業所等」とは、災害時等における協定や覚書等を市と締結し、資機材を提供することが可能であり、消防団活動に係る協力体制を整備している事業所等
- ④ その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与していること。

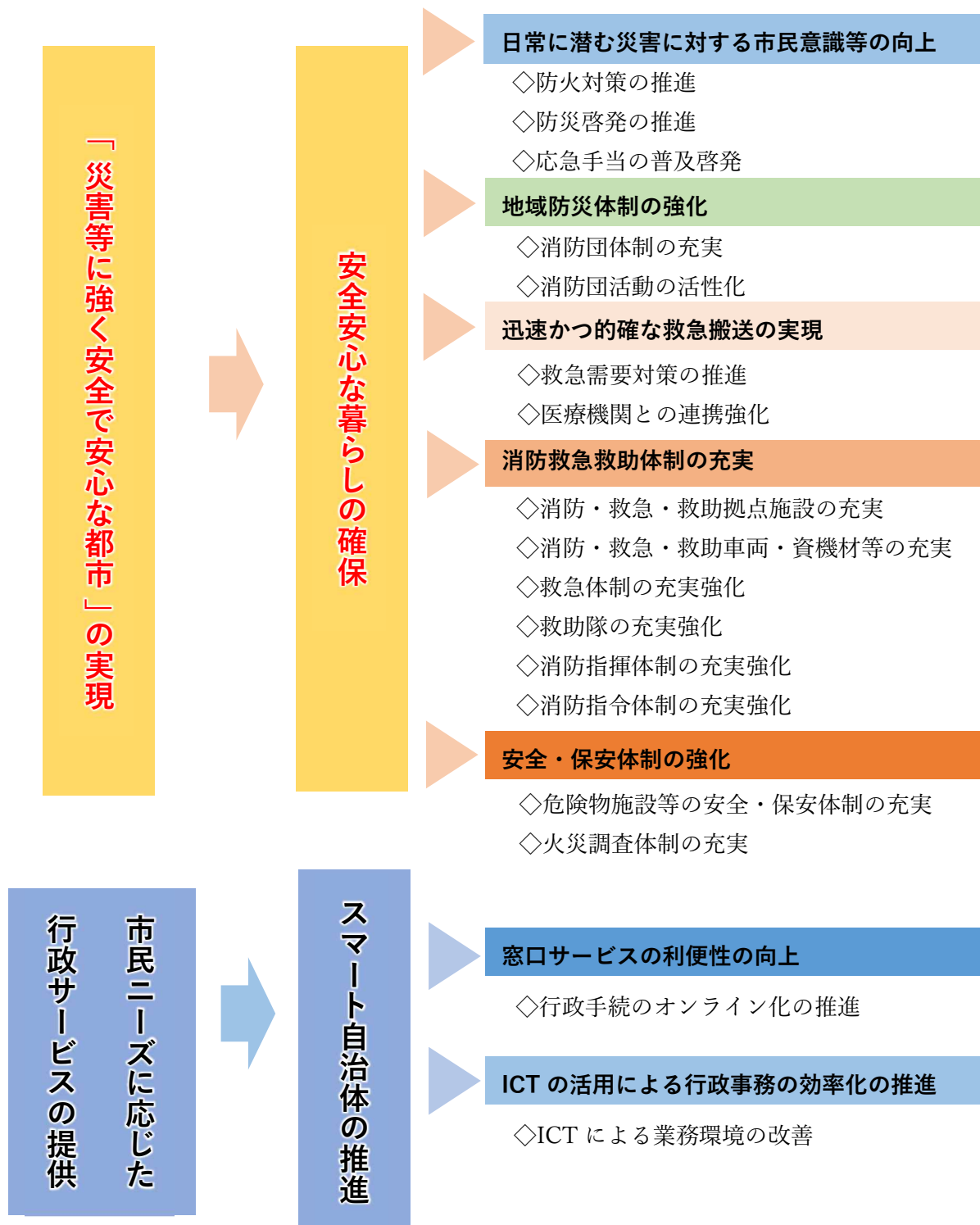


(令和8年4月現在)

表示証交付事業所	74事業所
----------	-------

令和8年度消防局重点施策

令和3年度に策定された姫路市総合計画において、人口減少や少子高齢化の進行など、本市が直面する課題に的確に対応するため、新たな時代の潮流や行政需要を捉え、目指す都市の姿と基本的なまちづくりの方向性が示されているなか、消防局においても、大規模自然災害への備えやあらゆる感染症対策に万全を期すとともに、防災・安全安心分野における「災害に強く、安全で安心な都市」の実現に向け、下記のとおり令和8年度の重点施策に掲げ、各事業を推進する。



令和8年度消防局所管事業及び事業内容

※ 下線は、主要事業

ア 日常に潜む災害に対する市民意識等の向上

- ① 防火対策の推進
 - ・ 防火意識の普及啓発
 - ・ 住宅防火対策の推進
 - ・ 放火火災予防対策の推進
 - ・ 防火管理体制の充実
 - ・ 火災予防分野の各種手続きにおける電子申請等の推進（本掲）
 - ・ 危険物分野の各種手続きにおける電子申請等の推進（本掲）
 - ・ デジタル機器を活用したオンライン検査の推進（本掲）
 - ・ 地震時の電気火災対策の推進
- ② 防災啓発の推進
 - ・ まもりんピック姫路の開催
 - ・ ひめじ防災プラザの活用
- ③ 応急手当の普及啓発
 - ・ 救命・救急講習の実施
 - ・ 応急手当普及員・指導員の育成

イ 地域防災体制の強化

- ① 消防団体制の充実
 - ・ 施設の改修
 - ▶（分団詰所）城陽、八幡
 - ・ 車両の更新
 - ▶（CD-1）城東、城西、林田東、山之内前之庄、筋野
- ② 消防団活動の活性化
 - ・ 若手、女性消防団員等の加入促進
 - ・ 消防団員の活動しやすい環境づくり
 - ▶ 消防団アプリの導入

ウ 迅速かつ的確な救急搬送の実現

- ① 救急需要対策の推進
 - ・ 播磨姫路救急搬送システム(HEARTS)の活用
 - ・ 救急車適正利用に向けた市民への啓発
 - ・ 救急需要増に向けた体制強化
 - ・ 女性消防吏員の活躍推進（電動ストレッチャーの更なる活用）
 - ・ マイナ救急を活用した救急業務の円滑化
 - ・ 日勤救急隊の創設（2隊目）
- ② 医療機関との連携強化
 - ・ 救急ワークステーションの充実
 - ・ 地域メディカルコントロール体制下での事後検証体制の充実

エ 消防救急救助活動体制の充実

- ① 消防・救急・救助拠点施設の充実
 - ・ 消防・救急・救助施設の改修
 - ・ 姫路東消防署の整備
（工期：令和7年度～9年度）
 - ・ 飾磨消防署の整備
（設計：令和8年度）
（工期：令和9年度～10年度）
- ② 消防救急救助車両・資機材等の充実
 - ・ 車両の更新
 - ▶ 小型水槽付消防ポンプ自動車（勝原）
 - ▶ 指揮隊車（飾磨）
 - ▶ 救急車（日勤2、増位、飾磨、香寺）
 - ・ 資機材の充実
 - ▶ 防火衣の更新
 - ・ 耐震性防火水槽の整備
 - ▶ 中地東公園
- ③ 救急体制の充実強化
 - ・ 救急救命士の病院実習等の実施
 - ・ 救急隊員への指示指導體制の整備
 - ・ 離島における搬送体制の確保
 - ・ 救急活動時の感染症対策（備蓄含む）
- ④ 救助隊の充実強化
 - ・ 各救助隊（署、特別、高度、水難、山岳、国際）の充実
- ⑤ 消防指揮体制の充実強化
 - ・ 指揮隊の拡充
 - ・ 指揮者研修の開催
 - ・ 部隊運用のための効果的なドローン活用
- ⑥ 消防指令体制の充実強化
 - ・ 高機能消防指令システムの活用
 - ・ 消防救急デジタル無線等の活用
 - ・ 指令業務の充実強化

オ 安全・保安体制の強化

- ① 危険物施設等の安全・保安体制の充実
 - ・ 危険物施設、取扱者への検査、指導
 - ・ 危険物事故防止の啓発
 - ・ 火災・漏洩事故防止対策の充実強化
- ② 火災調査体制の充実
 - ・ 火災調査結果を活用した予防施策への反映・検証

カ 窓口サービスの利便性の向上

- ① 行政手続のオンライン化の推進
 - ・ 火災予防分野の各種手続きにおける電子申請等の推進（再掲）
 - ・ 危険物分野の各種手続きにおける電子申請等の推進（再掲）

キ ICTの活用による行政事務の効率化の推進

- ① ICTによる業務環境の改善
 - ・ デジタル機器を活用したオンライン検査の推進（再掲）

第2章 災害を未然に防ぐために

住宅火災から大切な生命を守りましょう

～住宅用火災警報器の設置が義務付けられています～

大切な家族を守る

住宅用火災警報器

目視からの点検・維持管理を忘れずに

つけて安心♪

しろまるひめ

消防法の改正により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています

姫路市消防局予防課 ☎079-223-9532 姫路市姫路東消防署 ☎079-288-0119 姫路市姫路西消防署 ☎079-294-0119
姫路市宮島消防署 ☎079-233-0119 姫路市網干消防署 ☎079-273-0119 姫路市中瀬消防署 ☎0798-23-0119

このページは空白です。

1 予防広報

火災をはじめとする各種災害の発生を防止するとともに、その災害を最小限に止めるためには、市民一人ひとりが防災を自らの課題として考え、行動することが必要です。

そのため、新聞・テレビ・インターネット等の民間資力の活用をはじめとして、広報誌、パンフレット、ポスター等の製作・配布、ひめじ防災プラザでの学習・体験、広報車による巡回広報、消防教室等による広報活動を展開し、市民の防火防災意識の高揚を図っています。

・火災予防行事等の年間実施状況

春・秋季火災予防運動をはじめ、危険物安全週間、防災の日等のあらゆる機会を捉え、各種防火防災行事を幅広く展開し、市民、各種団体、事業所等に対し、火災予防思想の普及を図っています。

行 事 名	実 施 日
防災とボランティアの日(週間)	1月17日(1月15日～1月21日)
文化財防火デー	1月26日
春季全国火災予防運動	3月1日～3月7日
危険物安全週間	6月第2週(日曜日から土曜日までの1週間)
国民安全の日	7月1日
防災の日(週間)	9月1日(8月30日～9月5日)
119番の日	11月9日
秋季全国火災予防運動	11月9日～11月15日
年末火災特別警戒	12月20日～12月31日



・広報手段

(1) 姫路シティFM21 (FM GENKI) での放送

姫路シティFM21を防災メディアとして活用し、災害時や災害発生の恐れのある時など緊急時には、適切な情報を迅速かつ一斉に伝達したり、災害の発生状況や被害の状況など、きめ細やかな情報をリアルタイムに提供しています。

また、平常時は、地震、風水害、火災等の災害に関する豆知識、日常生活でのケガ、病気等の応急手当の方法、消防団の活動紹介や消防防災関係の訓練やイベントのお知らせを消防・防災啓発番組「わが町・元気」の中で放送しています。

「わが町・元気」の放送時間(周波数: 79.3MHz)

	月～金曜日	土曜日	日曜日
1回目	8:45～8:50	9:35～9:40	9:05～9:10
2回目	11:15～11:20	11:15～11:20	10:20～10:25
3回目	13:05～13:10	13:05～13:10	13:30～13:35
4回目	17:30～17:35	17:30～17:35	15:30～15:35



(2) 姫路ケーブルテレビ(ウインク)での放送

「消防局からのお知らせ」で、各種資格試験、行事予定など、市民の皆様を知ってほしい消防に関する情報を、放送しています。

〔放送日時〕

土曜日・日曜日 : 8時10分～8時15分・20時00分～20時05分

(3) 情報提供

市政記者クラブへの情報提供や、「広報ひめじ」、「姫路市ホームページ」への消防防災情報の掲載など、市民の防火・防災意識の高揚に努めています。

(4) SNSを活用した情報提供

消防職員や消防団員の訓練の様子や、各種イベント情報、出動の様子など、消防をより身近なものとして知っていただき、防火防災に対する意識の高揚を図るため、随時、情報発信をしています。



・消防音楽隊

姫路市消防音楽隊は、昭和25年7月に火災予防広報及び消防職員の士気の高揚並びに情操の育成を目的として、「姫路市消防局音楽愛好者の集い」として発足し、その後、昭和31年5月に音楽隊に関する規程が制定され、「姫路市消防局音楽隊」として新たに誕生しました。

当時は、現在と比べて一般的に音楽に対する理解も少なく、音楽隊の命である楽器は、そのほとんどが個人の物という状況でしたが、先人や各関係者のたゆまぬ努力により、楽器や出演、練習体制などの活動環境が良くなり、それに比例するように、演奏技術も格段に進歩しています。

現在も、全隊員が消防業務などに従事しながら兼務体制で取り組んでいますが、今では、市民に親しまれる『赤い制服の音楽隊』として、市内を中心に、市主催のセレモニーや消防局の行事など、年間20回程度のイベントに出演しています。

〔音楽隊の組織〕

階級等 役職	合	総	消	消	消	消	消
	計	務	防	防	防	防	防
		課	司	令	士	士	士
総数	27	長	令	補	長	長	士
隊長	1	1	-	-	-	-	-
副隊長	1	-	1	-	-	-	-
演奏担当	25	-	-	12	7	5	1
楽長	1	-	-	1	-	-	-
副楽長	2	-	-	2	-	-	-
隊員	22	-	-	9	7	5	1

〔音楽隊の編成〕

総	数	25					
ク	ラ	リ	ネ	ッ	ト	4	
サ	ッ	ク	ス			4	
フ	ル	ー	ト			2	
ト	ラ	ン	ペ	ッ	ト	3	
ホ		ル	ン			2	
ト	ロ	ン	ボ	ー	ン	3	
ユ	ー	フ	オ	ニ	ア	ム	2
チ	ュ	ー	バ			1	
パ	ー	カ	ッ	シ	ョ	ン	3
指		揮	者			1	



〔過去10年間の出演回数〕

年度	平成					令和				
	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7
出演回数	21	22	19	14	2	11	13	20	19	17

2 防火指導

・立入検査

立入検査は、消防対象物の自主防火管理状況を消防職員による定期的な立入検査によって確認し、火災発生危険やこれに伴う人命危険を予防させることを目的とし、消防対象物を規模や用途により区分しています。

(令和7年度)

区 分	立入検査実施数			内 容
	総計	姫路市	受託町	
特 種 査察対象物	310	300	10	①カラオケボックス、旅館・ホテル等、病院（避難困難施設）、 有料老人ホーム関係、宿泊入居の伴う児童・社会福祉施設等 ②特定用途防火対象物で3階以上又は地階に特定用途部分が存し、 かつ屋内階段が1系統しかないもの
第 1 種 査察対象物	369	323	46	①延面積700㎡以上のホテル・病院・百貨店等(特定用途防火対象物) で、自動火災報知設備・屋内消火栓設備等(固定消防用設備)の 設置を必要とするもの ②重要な文化財として指定・認定された建造物
第 2 種 査察対象物	258	234	24	○延面積1,000㎡以上の工場・倉庫・学校等(非特定用途防火対象物) で、固定消防用設備の設置を必要とするもの
第 3 種 査察対象物	557	526	31	○特・第1・2種以外の防火対象物で、固定消防用設備の設置を必要と するもの
第 4 種 査察対象物	1,066	1,014	52	①特・第1・2・3種以外で、消防用設備の設置を必要とするもの ②防火管理者の選任を要する対象物で、消防用設備の設置を必要と しない防火対象物 ③火災予防条例に定める少量危険物又は指定可燃物の貯蔵・取扱いの 届出を必要とするもの

・消防同意等

消防同意とは、消防機関が防火の専門家としての立場から、建築行政等に対して、建築物の新築等の段階で防火上のチェックを行い、予防行政の目的を達成しようとするものです。

公共施設の新築等の計画については、消防同意の対象とならないものもありますが、その場合についても、消防局がその計画（計画通知）に対して消防同意と同様のチェックを行います。

(令和7年度)

区 分	件 数		
	総 数	姫 路 市	受 託 町
消 防 同 意	560	539	21
計 画 通 知	22	21	1

・防火対象物定期点検報告制度

一定の防火対象物の管理について権原を有する者は、防火対象物点検資格者に防火管理上必要な業務等について点検させ、その結果を消防機関に報告することが義務づけられています。点検を行った防火対象物が基準に適合している場合は、点検済の表示を付することができます。

また、消防機関に申請してその検査を受け、一定期間継続して消防法令を遵守していると認められた場合、3年間点検・報告が免除されるとともに、防火優良認定証を表示することができます。

(令和7年度)

防火対象物定期点検制度対象物	総 数	姫路市	受託町
	605	557	48

・表示マーク制度

ホテル・旅館等の宿泊施設からの申請に基づいて、消防機関が審査した結果、消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた建物に表示マーク（「適マーク」）を交付する制度です。

宿泊施設は、表示マーク（「適マーク」）を掲出して安全安心情報を利用者に提供することができます。外国人宿泊客の増加をふまえ、表示マーク（「適マーク」）には英語・中国語・韓国語を併記しています。

(令和8年4月1日現在)	
姫路市消防局管内 表示マーク交付数	14 (金)
	1 (銀)



※表示マークには、金色と銀色の2種類があります。3年間継続して「表示マーク（銀）」が交付され、表示基準に適合していると認められた場合は、「表示マーク（金）」が交付されます。

・防火管理

(1) 防火管理者の役割

消防法では、一定規模以上の建物に「防火管理者」を定め、防火管理上必要な業務を行うことが義務づけられています。

防火管理者制度とは、人の手による自主的な火災予防を目的としたものであり、日常における火気管理はもとより火災等の発生時の初期活動（人命の安全確保・火災の拡大防止・被害の軽減）を効果的に行うために重要な役割を果たしています。

(令和7年度)

区 分	義務対象物数	選任対象物数	選 任 率
合 計	5,149	4,465	86.7%
姫 路 市	4,811	4,148	86.2%
受 託 町	338	317	93.8%

(2) 防火管理講習

消防法に規定する防火管理者の資格を取得するための講習を行っています。また、再講習の受講義務のある建物の防火管理者に選任されている方を対象として、再講習を行っています。

令和7年度は甲種防火管理講習を7回（うちオンライン4回）実施しました。

(令和7年度)

区 分	修了人員
甲種（7回） （うちオンライン4回）	510人 (263人)
乙種（3回）	33人
再講習（1回）	48人

・住宅防火対策

(1) 住宅用火災警報器等の普及促進

平成16年6月の消防法改正により、住宅の用途に供される防火対象物に住宅用火災警報器等の設置が義務づけられました。

これは、当時、住宅火災による死者数が増加傾向であり、特に逃げ遅れによる死者を減少させるためのものです。

住宅用火災警報器は、煙を自動的に感知し、ブザーや音声で住宅内の火災発生を知らせる機器で、寝室として使用する部屋と、寝室が2階以上にある場合は階段にも取り付けることが義務付けられています。

この機器の設置及び維持に関する事項等については、姫路市火災予防条例で定めています。（H17.10改正）



令和7年6月現在、設置率95%、条例適合率87%で推移しています。

(2) 高齢者対策

住宅火災における犠牲者で高齢者の比率が高いことから、この種の犠牲者を一人でも少なくするため、住宅用火災警報器・住宅用消火器の設置や防災製品などの使用を勧めたり、火気使用時の注意事項を、各種講演会・住宅訪問などの機会を通じて、市民指導を実施しています。

また、高齢者に見やすいチラシ・ポスターを作成したり、ケーブルテレビ、新聞、各種機関誌などを活用して啓発しています。

・民間防火組織の育成

(1) 民間防火クラブ交流委員会

今後の人口減少社会を踏まえ、各消防署（5署）単位で、婦人防火クラブや幼年消防クラブの活性化を図り、消防団とも連携した組織を結成し、地域ぐるみで災害に強いまちづくりを目指しています。

(2) 婦人防火クラブ

地域の安全や安心等の基盤づくりに女性の参画を促し、女性の視点や観点を活かした防災体制を確立するため結成された組織です。

女性が主体となった消防訓練や家庭防火に関する消防教室等を実施し、地域防災の要として活動しています。



〔結成状況〕 (令和8年4月1日現在)

婦人防火クラブ	33クラブ	2,509人
---------	-------	--------

(姫路市のみ)

(3) 幼年消防クラブ

幼年期に正しい火の取扱いについて学び、消防の仕事を理解することにより、火遊び等による火災発生の減少を図ろうとするための組織です。

主に4、5歳児を対象に編成し、消防機関等の指導のもとにクラブの育成を進めています。



〔結成状況〕 (令和8年4月1日現在)

幼年消防クラブ	63クラブ	2,825人
---------	-------	--------

(姫路市のみ)

・違反対象物公表制度

重大な消防法令違反のある建物について、その建物を利用する方自らが火災危険性に関する情報を入手し利用について判断ができるよう、消防法令違反を姫路市ホームページに公表する制度です。

○公表の対象となる建物

- ・飲食店、百貨店、宿泊施設などの不特定多数の方が利用する建物
- ・病院、社会福祉施設などの1人で避難することが困難な方が利用する建物

○公表の対象となる違反

建物に設置が義務付けられている「屋内消火栓設備」、「スプリンクラー設備」又は「自動火災報知設備」のいずれかが消防法令に違反して設置されていないもの

○公表の内容

「建物の名称」「建物の所在地」「違反事項・場所」「公表日」「管轄消防署」

○公表HPアドレス…<https://www.city.himeji.lg.jp/anzen/0000004868.html>



3 危険物規制

・危険物保安体制

近年の科学技術、産業経済の発展により、危険物の態様とそれを取り巻く環境には著しい変化がみられ、それに伴い危険物に起因する災害も多様化しています。

消防局においては、危険物災害の絶滅を期するため、立入検査や講習会等の機会を通じ、危険物の貯蔵・取り扱いの実態に即した保安体制の確立を図り、併せて地震時等における危険物保有事業所の自主防災体制のより一層の充実・強化を図っています。

また、危険物の取り扱いがますます多様化する傾向の中、危険物災害の未然防止を図り、市民生活の安全を更に高めていくため、厳正な法令等の執行とともに、危険物取扱者に対する適正な指導及び査察体制の充実強化に努めています。

・石油コンビナート等特別防災区域

石油コンビナート等災害防止法に基づき、姫路市の南部約18.99km²が姫路臨海地区特別防災区域に指定（昭和51年7月14日）されています。

同地区は、15事業所が特定事業所に指定され、各事業所では、防災資機材等を設置し、防災体制を確立しています。

更に、特別防災区域の防災対策を総合的・計画的に推進するため、「兵庫県石油コンビナート等防災計画」が定められています。

〔特定事業所数〕		令和7年度	
区分	第一種事業所	第二種事業所	
総数	6	9	15

・保安教育

危険物施設事故の原因は、管理や確認が不十分であったなど人的要因によるものが大半を占めており、なかでも作業・設備点検マニュアルの不徹底等が見受けられます。

この種の事故を未然に防止するため、危険物取扱者等に対し防災意識の高揚及び通報体制の整備充実を指導し、自主保安体制の確立を図っています。

また、毎年6月の第2週の「危険物安全週間」には、危険物安全大会を開催し、防災講演会を実施するほか、危険物安全週間ポスターの作成配布、広報媒体を通じた危険物の安全管理意識の啓発を図るとともに、各種消防訓練の実施、危険物施設の立入検査、予防規程・防災規程、各種計画等の見直し指導を行っています。

〔保安教育等実施状況〕		(令和7年度)	
区分	回数	受講人員	
合計	8	990	
保安講習	4	709	
危険物取扱者教育	4	281	



第3章 市民の生命財産を守るために



119番通報をするときは、
次の点に注意してください！

- ・場所がわからない場合は、近くの目標物を教えてください。
- ・聴き取り中でも、消防車や救急車は出動させています。
あわてずに係員が尋ねる内容に答えてください。
- ・通報の後でも携帯電話の電源は切らないでください。
再度、係員が確認のためにかかけ直す場合があります。
- ・火事など災害のお問い合わせは、
テレホンガイド(災害案内) 050-1807-2119 へ
問い合わせ等、緊急性のない場合は、代表電話 (079) 223-0003へ
かけてください。
- ・自分で病院へ行くか、救急車を呼んだほうがよいか迷ったら、
「#7119(救急安心センターひめじ)」を活用してください。

このページは空白です。

1 消防指揮体制

南海トラフ地震、大規模火災等に対し、隊員の安全を確保しつつ、迅速かつ効果的に活動するため、現場指揮を専門とする消防指揮隊を平成28年度から編成しています。

現在、姫路東指揮隊・姫路西指揮隊・飾磨指揮隊の3隊で受託町を含む全域の災害に対応しています。

消防指揮隊は、ドローンやタブレット端末等を活用した情報収集により、消防指令センターへ映像情報を送信し、緊密な連携を図りながら、消防活動を行っています。

2 火災活動体制

・火災出動体制

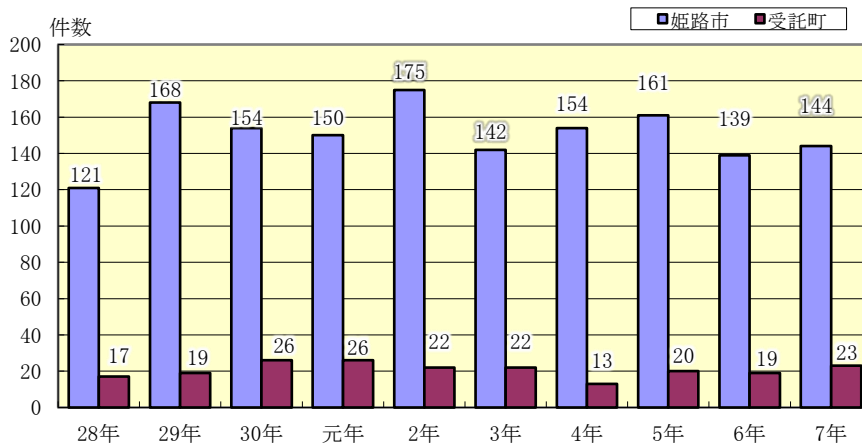
消防指令センターのコンピュータ（高性能消防指令システム）が火災種別に応じて出動車両を自動編成し、これにより出動指令を受けた各消防隊等は、保有する消防力を有効に活用して、人命救助、火災の鎮圧などの活動を行います。

常備消防としては、1本部・5消防署・2分署及び13出張所に指揮隊車3台、小型水槽付消防ポンプ自動車（ST車）16台、水槽付消防ポンプ自動車（タンク車）9台、はしご車・救助工作車・救急車等の緊急車両54台、消防艇及び救急艇各1隻を配置し、出動体制を確保しています。（消防団関係については別掲）

あらかじめ定められた出動基準に基づき、火災分類及び出動区分に応じて出動するほか、火災の状況によっては更に特命による出動に対応しています。



〔過去10年間の火災発生状況〕



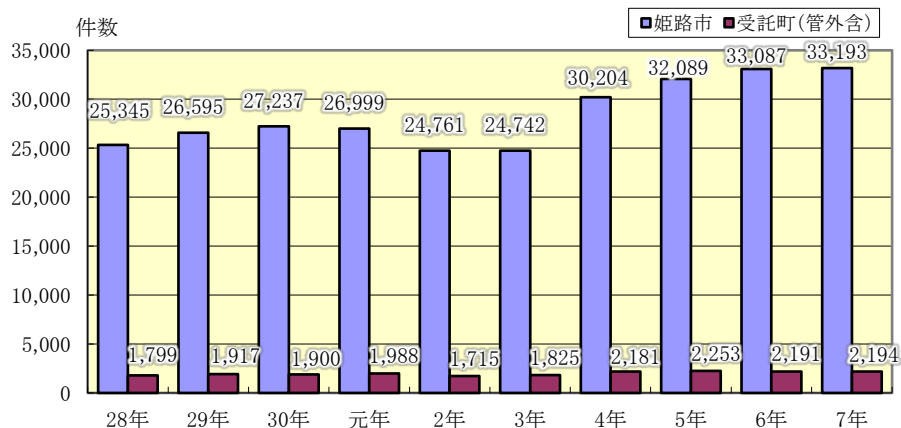
3 救急活動体制

・救急出場体制

消防指令センターは119番通報を受信し、原則、救急現場に最も早く駆けつけられる救急隊を出場させます。出場指令を受けた各救急隊は、救急資器材を迅速・的確に活用し、傷病者に応急処置を施しながら医療機関まで搬送します。

救急隊は、20隊で活動しており、救急要請に24時間体制で対応しています。

〔過去10年間の救急出場の推移〕



・救急業務の高度化

平成3年の救急救命士法等の制定による救急高度化に対応して、平成4年に初の救急救命士が誕生し、令和8年4月1日現在、174人となっています。

平成5年に高規格救急車と高度救急資器材を配備し、運用を開始しました。

・派遣型救急ワークステーション

平成28年4月から「派遣型救急ワークステーション」事業の運用を開始し、医療機関と救急隊との連携を充実・強化し、質の高い救急サービスの提供を目指しています。

現在は、はりま姫路総合医療センターと姫路聖マリア病院で実施しています。

・播磨姫路救急搬送システム

救急隊と病院が患者の受け入れ可能状況などをリアルタイムで共有できるシステムで、令和3年10月から本格運用を開始して、救急搬送時間の短縮に努めています。

令和8年10月からは、さらに機能強化をした内容でのシステム運用を開始することで、DXの推進による業務の効率化を図り、より迅速かつ的確な救急搬送体制の確立に努めています。

・応急手当の普及啓発

市民に対して応急手当普及員の養成、普及啓発用資器材の配備などを行い、自動体外式除細動器（AED）の使用方法を含めた「普通救命講習」等の講習会を行っています。

救急患者の身近にいる市民等が素早い応急手当を行い、救急隊員そして医師へと救命リレーすることが、救命率をより向上させることに繋がります。



〔講習会実施状況〕 (令和7年中)

区分	回数	人数
普通救命講習	125	1,762
その他の救急講習	158	3,773

・PA出動

直近の消防車を出動させ、救急隊が到着するまでの間、応急処置と情報収集を実施し、救命効果の向上と初動対応の迅速化を図るものです。

現在、救急隊が現場到着までに時間を要する地域の3小学校区（谷内・大塩・的形）で、屋外で発生した救急事故及び屋内における重症以上の事故により、PA出動が必要と判断した事案を対象に運用しています。

〔PA出動状況〕 (令和7年中)

出動校区	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計(件)
谷内		12	5	5	1	23
大塩		48	5	14	5	72
的形		32	8	13	1	54
合計(件)		92	18	32	7	149

・「📧 Thanksカード」の配布

平成28年9月9日から応急手当をして頂いた市民の方に「Thanksカード」を配布しています。感謝の気持ちを表すことはもちろん、応急手当に対する不安等にも対応するため、相談窓口も記載しています。

4 救助活動体制

・救助出動体制

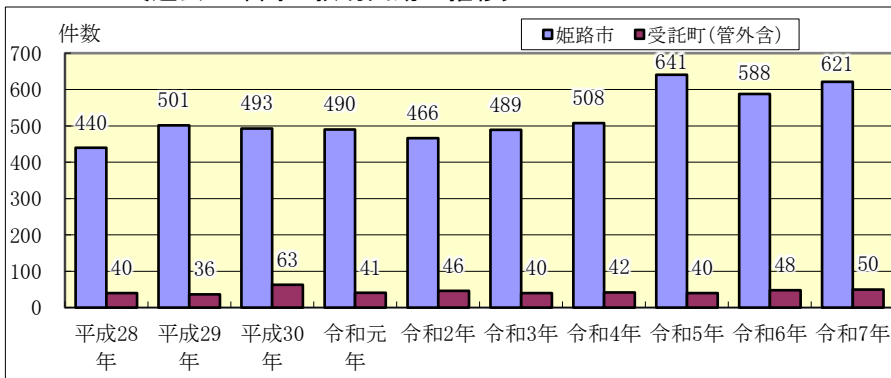
複雑多様化している社会情勢を反映するように災害も複雑大規模化の傾向があり、テロ災害等の人為的災害も含まれるようになりました。

これらの災害から、自力避難の困難な要救助者を確実、迅速に安全な場所へ救出するとともに、救急隊に引き継ぐことを任務とする救助隊は、必要不可欠です。

昭和61年に救助隊を編成することが法制化され、平成18年の改正により本市においても、救助工作車を3台配備するとともに、高度救助隊1隊、特別救助隊2隊、署救助隊3隊を編成して救助事案に対応しています。

また、平成18年9月から日本DMAT研修（災害医療派遣チーム）に参加し、大規模災害時における現場でのレスキューと医療の連携要領を研修しています。

〔過去10年間の救助出動の推移〕



〔救助出動状況〕 (令和7年中)

区分	救助出動件数	救助活動件数	救助人員
総数	671 (621)	408 (387)	274 (260)
火災	77 (65)	18 (17)	6 (6)
交通事故	132 (110)	68 (59)	57 (50)
水難事故	19 (19)	17 (17)	13 (13)
風水害 自然災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機械事故	5 (5)	4 (4)	4 (4)
建物等による 事故	263 (257)	248 (242)	144 (140)
ガス及び酸欠事 故	7 (6)	6 (5)	9 (9)
その他	168 (159)	47 (43)	41 (38)



() 内は姫路市の数値

・救助業務の高度化

(1) 国際消防救助隊 (IRT)

姫路市は、平成13年4月1日に国際消防救助隊員を登録し、これまで県下4消防本部の合同訓練、国が行う連携訓練、JICA（国際協力機構）が実施する資機材習熟訓練、セミナー等に参加し、国際緊急援助隊(JDR)の救助チームの一員として、海外の災害に隊員を派遣する体制を整えています。



【愛ある手】

※兵庫県下の登録市 神戸市・尼崎市・西宮市・姫路市

※全国の登録消防本部と隊員数 77消防本部 599人

(2) 水難救助隊

昭和47年9月に潜水救助活動中の救助隊員2人が濁流にのまれ殉職しました。以来、水難救助業務を民間ダイバークラブに委嘱していましたが、平成15年4月1日から潜水土の資格を持ち、過酷な訓練を重ねた消防職員で編成された「姫路市消防局水難救助隊」を発足させました。

管内で発生する水難事故に対していち早く現場に出動するため、平成17年度には水難救助車を導入し、陸上部隊と連携をとりながら水難救助活動を展開しています。



(3) 山岳救助隊

平成18年3月、市町合併等広域化により、雪彦山等の急峻な山岳地帯を管轄することとなりました。

山岳救助に係る専門的な知識や技能及び技術を研修や訓練により修得し、平成20年10月に「姫路市消防局山岳救助隊」を発足、危険な山岳部での救助活動に対応しています。



5 緊急通報受信体制

消防活動の中核的役割を果たす消防指令センターでは119番通報をはじめ、あらゆる手段による緊急通報の受付を行っています。

令和8年4月には、高機能消防指令システムを更新し、大規模災害に備え、災害即応力の充実強化を図りました。

係員はこのシステムを活用し、緊急通報の受付から消防署所への出動指令、活動支援、情報収集や関係機関への連絡などの業務を行っています。

また、聴覚や言語などに障害のある方からの音声によらない119番通報を可能とするため、携帯電話などのインターネット機能を用いたNET119や、外国人からの通報に確実に対応できる同時通訳のサービスも行っています。



・119番通報

令和7年中の119番通報の受信件数は、49,451件でした。

その内「災害問合せ」、「医療機関問合せ」、「まちがい」及び「いたずら」等の緊急性のない通報が10,265件もあり、全体の20.8%を占めています。緊急性のない通報は、救いを求めている方からの一刻も早い通報の妨げとなるため、適切な119番通報を心がけて頂くようパンフレットやマスメディアを活用した啓発を行っています。

(1) I P 電話からの119番通報

平成16年9月から一部 I P 電話事業者からの119番通報の受信を開始し現在では、5事業者からの119番通報を受信しています。

(2) 携帯電話からの119番通報

平成10年4月から、全ての携帯電話からの119番通報が可能となり、現在では、4事業者からの119番通報を受信しています。

平成19年4月からは、携帯電話発信位置表示システムを導入し、通報者の位置等を迅速に把握することが可能となりました。平成28年4月からは、統合型位置情報通知システムを導入し、携帯電話・I P 電話と固定電話からの通報位置を通知するシステムを統合しました。

令和7年中の受信件数は31,404件で、119番通報全体の64%を占めています。

・119番以外による通報

(1) F A X 119

聴覚や言語機能に障害のある方のために、ファックスで消防指令センターへ通報するシステムです。平成19年4月からは、局番なしの119番でファックス送信ができるようになりました。

(2) N E T 119

聴覚や言語機能に障害のある方のために、携帯電話などのインターネット機能を利用して、消防指令センターに通報するシステムです。

平成19年4月から運用を開始したW e b 119から機能強化を図ったもので、利用するためには、事前に消防指令センターへの申込が必要です。

・外国語同時通訳機能

日本語によるコミュニケーションが困難な方からの119番通報に対応した、同時通訳サービスです。平成28年4月から5カ国語対応でサービスを開始し、平成30年からは16カ国語、令和6年4月からは32カ国語に対応しています。119番通報時には通報者と係員とコールセンター(通訳者)で、災害現場では関係者と救急隊等とコールセンターの三者で同時通話します。主な対応言語は、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語、台湾語です。

・119番による応急手当の指導

突然の事故や病気の際、早期に応急手当を行う必要があります。特に生命の危機的状況にある人を救命し、社会復帰に導くためには、傷病者のそばに居合わせた者(バイスタンダー)が適切な応急手当をすることが重要です。

119番通報を受信し救急車が現場に到着するまでの間に、通報内容から応急手当が必要であると消防指令センターの係員が判断した場合、通報者に対して心肺蘇生法や止血法等を口頭で指導し、救命率の向上を図っています。

・映像通報システム

当システムは、スマートフォンからの119番通報者に現場の映像を送信してもらい、その映像によって消防指令センターが災害発生場所や現場の状況を早期に把握し、現場出動隊へ無線等で詳細情報を伝えることができるシステムです。また、救急要請時に通報者へ応急手当の映像を配信して、効果的な口頭指導をすることもできます。

令和4年9月から運用しています。

6 相互応援体制

市町村は、当該市町村の区域における消防を十分に果たす責任を有しますが、本市では、大規模災害等発生時の消防力の確保のため、消防組織法第39条の規定に基づき、県下・隣接地域等における消防に関する相互応援を締結しています。

他の消防本部との協定等

緊急消防援助隊への登録	国内で発生した大規模災害時における消防庁長官の応援措置による人命救助活動等を、より効果的かつ充実したものとするため、緊急消防援助隊要綱が法制化され、当市からも指揮隊1隊、救急特別編成部隊1隊、消火小隊9隊、救助小隊2隊、特殊災害小隊2隊、救急小隊4隊、後方支援小隊3隊、通信支援小隊1隊、特殊装備小隊2隊、水上小隊1隊を登録しています。
大規模特殊災害時における広域航空消防応援	国内で発生した大規模特殊災害等において、全国の消防組織が保有する防災ヘリコプター等による広域航空消防応援が円滑かつ迅速に行われるよう、広域航空消防応援実施要綱が制定されています。 これにより、本市においても全国規模の航空消防応援を受けることが可能となっています。
兵庫県広域消防相互応援協定	全県的な広域相互応援及び航空応援体制の確立を目的としています。
消防業務の相互応援に関する協定	隣接の市（加古川市・高砂市）及び行政事務組合（南但広域行政事務組合、北はりま消防組合、西はりま消防組合）との協定で、境界付近の火災又は救急救助事故等に対処することを目的としています。
山陽自動車道消防相互応援協定	山陽自動車道上において災害が発生した場合、協定市等（姫路市・西宮市・三田市・神戸市・三木市・小野市・加古川市・西はりま消防組合・赤穂市・東備消防組合（岡山県））が相互に応援し、その応急対策活動に万全を期することを目的としています。
播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定	播但連絡有料道路上において災害が発生した場合、兵庫県道路公社と姫路市、南但広域行政事務組合が相互に応援し、応急対策活動に万全を期することを目的としています。
中国自動車道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定	中国自動車道上において災害が発生した場合、協定市等（姫路市・川西市・伊丹市・宝塚市・西宮市・三田市・神戸市・三木市・北はりま消防組合・西はりま消防組合）が相互に応援し、その応急対策活動に万全を期することを目的としています。
消防活動資機材及び支援物資等相互応援協定	姫路市、和歌山市、堺市及び徳島市との協定で、大規模災害発生時に単独市等の消防活動資機材で対処できない場合に、これらの調達に関して相互に応援し、災害活動体制の補完を図ることを目的としています。

その他の協定等

船舶火災の消火等に関する業務協定	姫路市と姫路海上保安部が業務協定を締結、相互の協力体制を確立し、有事に備えています。
鉄道事故時の安全対策に関する覚書	消防機関（全国消防長会近畿支部の消防機関）と鉄道機関（西日本旅客鉄道(株)・近畿日本鉄道(株)・阪急電鉄(株)・京阪電気鉄道(株)・南海電気鉄道(株)・阪神電気鉄道(株)・山陽電気鉄道(株)・神戸電鉄(株)・大阪市高速電気軌道(株)）との覚書で、鉄道事故災害が発生した場合の相互連絡・協力体制を定めることにより、安全で迅速な災害防除活動及び公共交通機関の早期運転再開を実施することを目的としています。
消防業務に係る燃料調達に関する覚書	横田石油株式会社との覚書で、大規模災害時等の燃料を確保することを目的としています。

第4章 災害について楽しく学ぶために

防火防災について 見て・知って・体験しましょう



このページは空白です。

1 ひめじ防災プラザ

地震・風水害・火災・・・災害はいつどこで発生するか予測できません。

ひめじ防災プラザは、総合的な体験を通して市民一人ひとりが防災の重要性を理解し、日頃から万が一に備えることができるよう、防火防災に関する知識と技術を学習することを目的とした施設です。

日常に潜む災害の恐ろしさを忘れないために、そして、災害が起こったときの被害を最小限に抑えるために、防火防災について「見る」・「知る」・「体験する」ことで楽しみながら、大切な人や街を守る手段を学ぶ施設として、多くの市民に親しまれています。

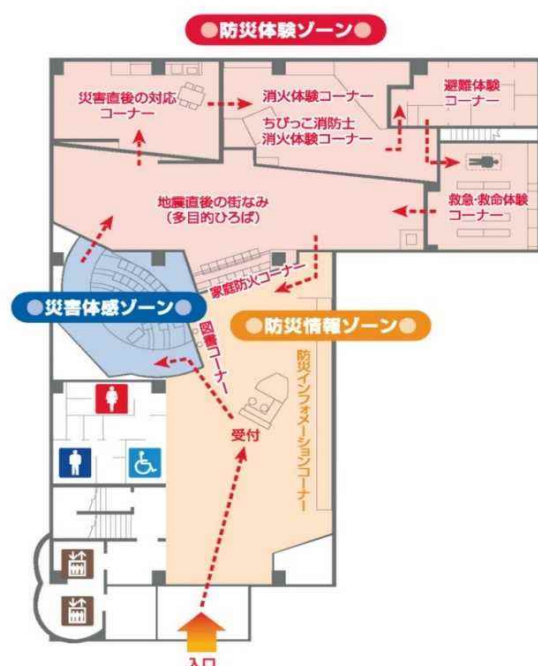
・施設の利用

開館時間	午前9時30分～午後5時00分まで（体験受付は午後4時まで）
休館日	月曜日（祝・休日の場合を除く。） 祝・休日の翌日（土・日曜日の場合は除く。） 毎月第3火曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
入館料	無料
場所	兵庫県姫路市三左衛門堀西の町3番地 姫路市防災センター1階
交通(アクセス)	・JR山陽新幹線・山陽本線「姫路駅」下車、南口から南へ徒歩約20分 ・神姫バス「姫路駅南口」にて乗車、「姫路市役所前」下車徒歩すぐ ・山陽電鉄「手柄駅」下車、東南へ徒歩約8分
申し込み	10名以上の団体でのご利用の場合は事前予約が必要です。 (電話で予約された後、所定の用紙でFAXもしくは郵送にて申し込む。) 電話 (079) 223-9977 Fax (079) 223-9978

・施設の紹介

ひめじ防災プラザは、「防災情報ゾーン」・「災害体感ゾーン」・「防災体験ゾーン」の3つのゾーンで構成されています。

とくに「災害体感ゾーン」は、日常では体感できない数々の災害現象を再現し、「災害のメカニズムと怖さ」が体験できます。



(1) 防災情報ゾーン



開放的なエントランススペースで、気軽に役立つ防災情報や関連グッズを紹介しています。

(2) 災害体感ゾーン



地震、風水害、火災などを科学的にとらえ、災害のメカニズムを知るとともに、地震や気象など災害の要因となるさまざまな現象を迫力ある3D映像、音響、ボディソニックなど特殊演出装置により体感できます。

(3) 防災体験ゾーン（災害直後の対応コーナー）



地震により、崩壊した部屋（居間や台所）で地震直後に何をしなければならないのか？を学ぶコーナーです。

(4) 防災体験ゾーン（消火体験コーナー）



火災発生時の初期消火の対応方法を学びます。大声で知らせる、模擬消火器による消火活動などの体験を行います。

(5) ちびっこ消防士消火体験コーナー



こどもたちが防火衣を着て「ミニ消防車」を操作し、大型スクリーンに映し出された炎上する建物に放水・消火するという臨場感のある消火体験ができるコーナーです。

(6) 防災体験ゾーン（避難体験コーナー）



視界をさえぎる煙の中を避難する方法を学びます。暗視カメラ装置で姿勢のチェックができます。

(7) 防災体験ゾーン（地震直後の街なみ） 〔多目的ひろば〕



災害時の街並みを再現した臨場感ある空間の中で、復習映像を見たり、危険箇所を発見したり、ワークショップに参加したりと「何かが隠れている、発見と学習の空間」です。

(8) 防災体験ゾーン（救急・救命体験）



心臓や呼吸が止まった人の命を救う心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の講習を行います。

・イメージキャラクター「Bee」

ひめじ防災プラザのイメージキャラクター「Bee」は、勇敢なハチの消防隊員をイメージしたものです。

ひめじ防災プラザでのイベント参加や幼稚園児・保育園児のお出迎えをしています。

市内の消防行事に参加して防火・防災の大切さを伝えています。イベントでは、子供たちに囲まれ、一緒に記念撮影を行って大変親しまれています。



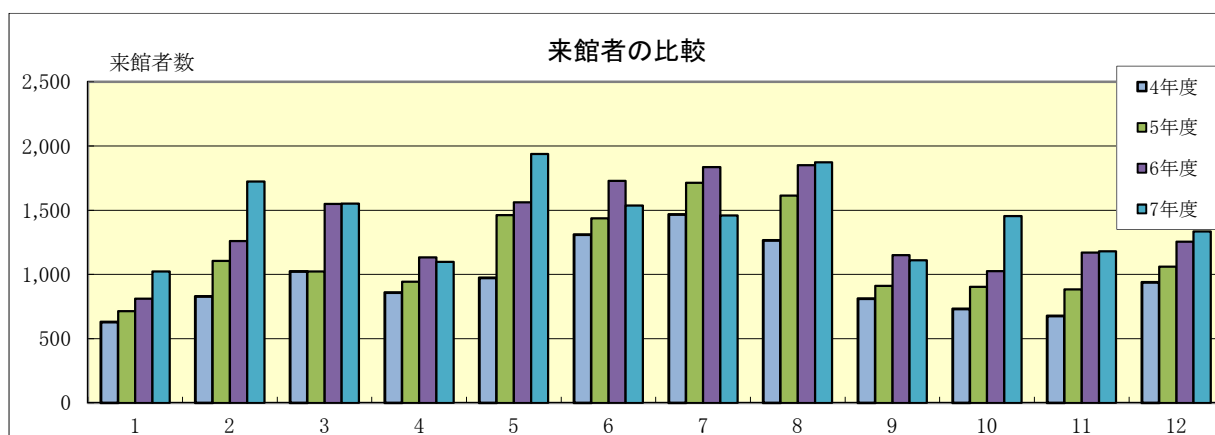
・来館状況

(1) 過去5年間の年度別来館者数

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
合 計	9,293	11,522	14,153	16,337	17,288

(2) 過去5年間の月別来館者数

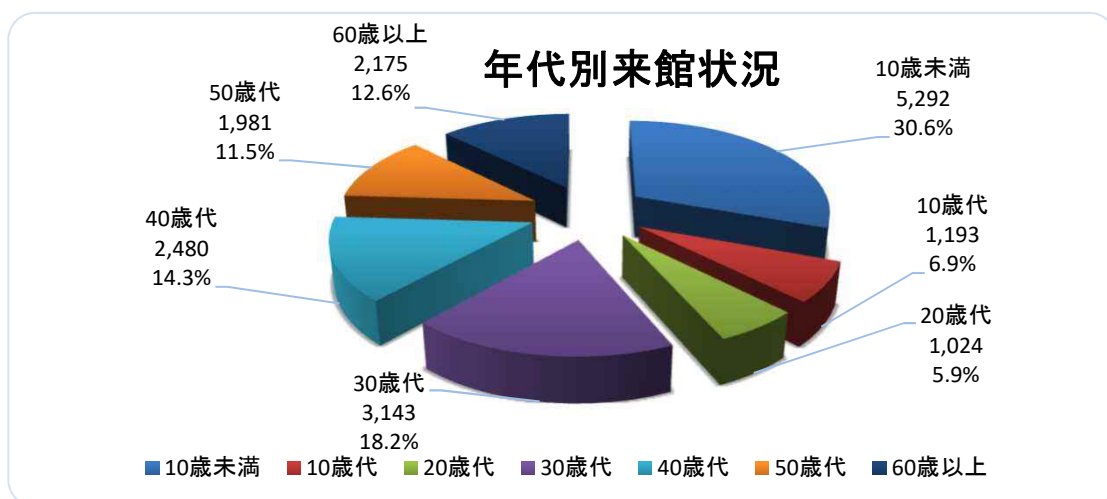
合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和3年度	559	338	799	676	815	926	1,452	1,172	893	545	444	674
令和4年度	629	830	1,024	860	974	1,310	1,467	1,266	812	732	678	940
令和5年度	714	1,206	1,304	943	1,462	1,436	1,714	1,613	911	903	885	1,062
令和6年度	811	1,260	1,550	1,132	1,563	1,729	1,837	1,851	1,151	1,027	1,170	1,256
令和7年度	1,024	1,725	1,551	1,099	1,939	1,537	1,460	1,873	1,112	1,454	1,180	1,334



(3) 年代別・居住地別来館者数

(令和7年度)

年代 区分		合 計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
合 計		17,288	5,292	1,193	1,024	3,143	2,480	1,981	2,175
	市 内	12,917	3,658	834	879	2,397	2,025	1,781	1,343
	市 外	4,371	1,634	359	145	746	455	200	832
団体	小 計	6,360	2,410	917	486	432	538	497	1,080
	市 内	4,415	1,899	647	421	332	398	351	367
	市 外	1,945	511	270	65	100	140	146	713
個人	小 計	10,928	2,882	276	538	2,711	1,942	1,484	1,095
	市 内	8,502	1,759	187	458	2,065	1,627	1,430	976
	市 外	2,426	1,123	89	80	646	315	54	119



・各種イベント等 (令和7年度)

行 事 名	実 施 日
ゴールデンウィーク企画「こども防災フェア」	5月3日 ~ 5月5日
トライやるウィーク受け入れ	6月3日 ~ 6月6日
親子で体験! 「チャレンジ消防教室」	8月2日 ~ 8月3日
「防災の日」 企画展示	8月30日 ~ 9月5日
防火ポスター展	11月1日 ~ 11月15日
「津波防災の日」 企画展示	11月1日 ~ 11月7日
1.17「ひょうご安全の日」 企画展示	1月15日 ~ 1月21日
3.11「東日本大震災」 企画展示	3月8日 ~ 3月16日

2 施設見学

姫路市防災センターや各消防署では、消防・防災業務を深く理解していただくために各種団体からの申し込みを受け付けています。庁舎や資機材、車両等を見学していただき、併せて消防・防災業務への協力等も呼びかけています。



3 トライやる・ウィークの受け入れ

兵庫県では、中学2年生が地域や自然の中で「生きる力」の育成を図るため「トライやる・ウィーク」を実施しています。

姫路市消防局も中学生の受け入れに協力し、生徒の豊かな感性や創造性を高めたり、自分なりの生き方を見つけることができるように支援しています。

将来、この体験が、火災予防や人命救助に役立つことを期待しています。



4 市政出前講座

市政のことや市民生活の身近な問題などをテーマとした講座で、講座メニューの中からご希望に応じて市の職員が講師として、皆さんの地域に向向いてお話するものです。

・対象者

市内に在住、通勤、通学している人で構成され、10人以上の参加が見込まれる団体、グループ

・講座開催の時間帯及び費用

原則として平日の午前9時から午後5時までの間
講師料＝無料



・令和7年度の講座名（消防局分）

講座名	内 容	対 象
「普通救命講習」	AEDを使った心肺蘇生法など、応急手当の方法を実技中心に3時間で実施。修了者には修了証を授与	中学生～一般
「消防ゲスト・ティーチャー」	社会科で学ぶ「消防のしごと」の体験版。火事を防ぎ、火事を消すしくみについて体験を通して学ぶ	小学3年生
「消防教室」	消防車の説明・見学から家庭や地域における火災予防まで、対象者にに応じて火事や防火等について説明	幼児～一般
「ダイジョウブ？ あなたの家の住宅防火対策」	高齢者をはじめとした大切な家族を火災から守るために住宅用火災警報器の設置・維持管理の方法や防炎品の安全性などを学ぶ	一 般

《令和7年度の講座実施状況》

講座名	実施回数	受講者数
「普通救命講習」	114	1,619
「消防ゲスト・ティーチャー」	28	2,395
「消防教室」	62	4,545
「ダイジョウブ？ あなたの家の住宅防火対策」	3	100

5 まもりんピック

各種災害を想定した消防防災ゲームや競技等を通じて、楽しみながら「防災の知識・技術」と「共助の力」を育成しています。全市的に一堂に会して隔年で開催していた「イベント型」から、消防署単位で毎年開催している幼年消防クラブのつどいの内容を充実させた「育成型」に変更し、より地域に密着した、いざという時に役に立つ内容として開催します。



第二部 統計・資料編

このページは空白です。

人 事 ・ 予 算

1 職員の配置状況

(各年度4月1日現在)(単位:人)

年 度 所 属	区 分	合 計	勤 務 区 分	消 防 吏 員										再任用員			
				小 計	消 防 正 監 局長	消 防 監 次長等 (注1)	消 防 司 令 長 課長等 (注2)	消 防 司 令 課長補佐等 (注3)	消 防 司 令 係長等 (注4)	消 防 司 令 補 主任	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 吏 員 以 外 の 消 防 職 員	フルタイム	短 時 間	
																	消 防 士
令和2年度		569		563	1	7	15	38	70	190	125	70	47	1	5	62	
令和3年度		576		569	1	6	16	40	68	198	140	49	51	1	6	54	
令和4年度		578		567	-	7	16	40	70	195	143	45	51	1	10	50	
令和5年度		589		578	-	6	17	38	75	197	134	53	58	1	10	42	
令和6年度		598		587	1	6	17	39	76	206	136	52	54	1	10	35	
令和7年度		599		590	1	6	17	42	76	208	131	62	47	1	8	28	
令和8年4月1日現在		618 (注5)		609	1	6	17	46	79	219	128	61	52	1	8	25	
			日勤	155	1	6	11	18	28	36	25	4	26	1	7	10	
			隔勤	454	-	-	6	28	51	183	103	57	26	-	1	15	
本 部	消防局長 次長 総務課 警防課 救急課 予防課 情報指令課	154	日勤	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			日勤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
			日勤	45	-	-	1	1	8	7	3	-	25	-	-	5	-
			日勤	10	-	-	1	1	4	2	2	-	-	-	-	1	-
			隔勤	22	-	-	-	-	2	10	10	-	-	-	-	-	-
			日勤	15	-	-	1	4	4	3	3	-	-	-	-	-	1
			隔勤	10	-	-	-	1	2	4	3	-	-	-	-	-	-
			日勤	14	-	-	2	-	6	4	2	-	-	-	-	-	1
日勤	4	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1		
隔勤	23	-	-	-	2	4	13	4	-	-	-	-	-	1	2		
消 防 東	姫 路 東 本 署 御国野出張所 豊富出張所 飾東出張所 増位出張所	107	日勤	13	-	1	1	1	2	4	3	1	-	-	-	1	
			隔勤	44	-	-	2	4	4	15	11	5	3	-	-	2	
			隔勤	16	-	-	-	-	2	7	3	2	2	-	-	-	
			隔勤	16	-	-	-	-	2	6	4	2	2	-	-	-	
			隔勤	8	-	-	-	-	2	3	1	2	-	-	-		
	隔勤	10	-	-	-	-	2	4	1	2	1	-	-	-			
	姫 路 西 本 署 飾西出張所 林田出張所	99	日勤	15	-	1	1	2	2	6	1	2	-	-	-	4	
			隔勤	52	-	-	2	6	2	17	13	9	3	-	-		
			隔勤	16	-	-	-	-	2	7	3	2	2	-	-		
			隔勤	16	-	-	-	-	2	7	3	2	2	-	-		
隔勤			16	-	-	-	-	2	7	3	2	2	-	-			
防 飾 本 署 白浜分署 広畑分署 大的出張所 家島出張所 磨坊勢出張所	123	日勤	13	-	1	1	2	1	3	4	1	-	-	-	1		
		隔勤	46	-	-	2	5	3	13	12	7	4	-	-			
		隔勤	16	-	-	-	2	-	8	3	3	-	-	-			
		隔勤	17	-	-	-	4	-	9	-	2	2	-	-			
		隔勤	8	-	-	-	-	2	3	1	1	1	-	-			
		日勤	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-			
		隔勤	14	-	-	-	-	2	8	4	-	-	-	-			
		日勤	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-			
隔勤	7	-	-	-	-	2	2	1	2	-	-	-					
署 網 干 中 播	本 署 勝原出張所 本 署 夢前出張所 香寺出張所 北部出張所	47	日勤	12	-	1	1	2	-	4	3	-	1	-	-	1	
			隔勤	27	-	-	-	2	4	11	5	4	1	-	-		
			隔勤	8	-	-	-	-	2	2	2	1	1	-	-		
			日勤	10	-	1	1	2	-	3	3	-	-	-	-		
隔勤	36	-	-	-	2	4	14	8	7	1	-	-					
隔勤	16	-	-	-	-	2	8	4	2	-	-	-					
隔勤	16	-	-	-	-	2	8	4	1	1	-	-					
隔勤	10	-	-	-	-	2	4	3	1	-	-	-					

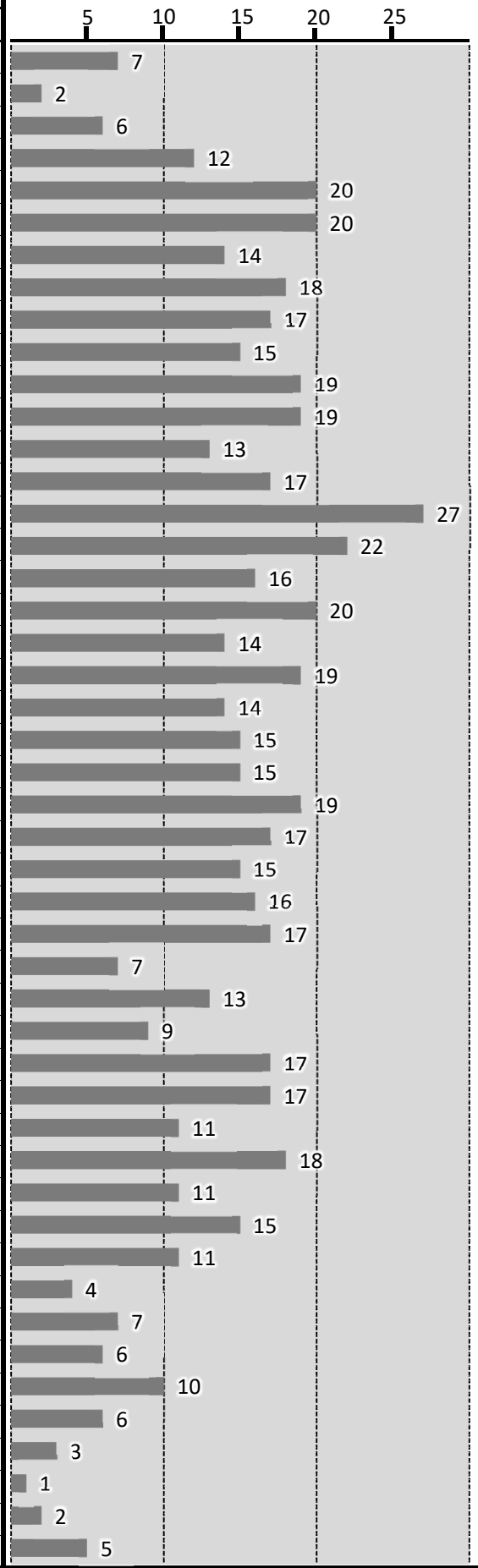
(注1) 次長等 ⇒ 次長、署長
(注2) 課長等 ⇒ 課長、主幹、副署長、指揮隊長
(注3) 課長補佐等 ⇒ 課長補佐、指揮司令、警防司令、救急司令、分署長、家島・坊勢出張所長、課付司令、分署付司令
(注4) 係長等 ⇒ 係長、家島・坊勢出張所長以外の出張所長
(注5) 合計は、再任用フルタイムを含む。

2 年齢別職員数

(令和8年4月1日現在)

階級 年齢	総	消	消	消	消	消	消	消	消	消	再	(フルタイム) 任用職員
	数	防	防	防	防	防	防	防	防	防	任	
総 数	618	1	6	17	125	219	128	61	52	1	8	
平均年齢	38.17	58.00	57.67	55.00	49.10	41.43	30.16	24.56	21.48	55.00	63.50	
18 歳	7								7			
19 歳	2								2			
20 歳	6								6			
21 歳	12							4	8			
22 歳	20							7	13			
23 歳	20							6	14			
24 歳	14							14				
25 歳	18						2	16				
26 歳	17						9	8				
27 歳	15						13	1	1			
28 歳	19						17	2				
29 歳	19						18	1				
30 歳	13						12		1			
31 歳	17					1	16					
32 歳	27					13	13	1				
33 歳	22					9	13					
34 歳	16					9	6	1				
35 歳	20					14	6					
36 歳	14					13	1					
37 歳	19					19						
38 歳	14					13	1					
39 歳	15					14	1					
40 歳	15				2	13						
41 歳	19				7	12						
42 歳	17				6	11						
43 歳	15				7	8						
44 歳	16				5	11						
45 歳	17				9	8						
46 歳	7				3	4						
47 歳	13				10	3						
48 歳	9				6	3						
49 歳	17				14	3						
50 歳	17				9	8						
51 歳	11			1	7	3						
52 歳	18			1	11	6						
53 歳	11			2	6	3						
54 歳	15			6	5	4						
55 歳	11		1	1	4	4				1		
56 歳	4			1	1	2						
57 歳	7		2	1	3	1						
58 歳	6	1		2	2	1						
59 歳	10		3	2	2	3						
60 歳	6				4	2						
61 歳	3				2	1						
62 歳	1										1	
63 歳	2										2	
64 歳	5										5	

(単位:人)



3 年度別職員数

(各年度4月1日現在)(単位:人)

年度	区分	人口※ (住民基本台帳)	定数	実員	職員1人当たりの人口	人口1万人当りの消防職員数
H29年度		582,830	565	554	1,052	9.51
H30年度		580,686	565	561	1,035	9.66
R元年度		578,994	565	563	1,028	9.72
R2年度		576,815	604	569	1,013	9.86
R3年度		568,255	604	576	986	10.14
R4年度		570,281	604	578	986	10.14
R5年度		567,401	604	589	963	10.38
R6年度		563,930	604	598	943	10.60
R7年度		560,191	690	599	935	10.69
R8年度		557,397	690	618	901	11.09

※ 人口は各年3月末現在

4 公務災害等の発生状況

区分	年度	H28		H29		H30		R元		R2		R3		R4		R5		R6		R7		
		件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	
総数		2	2	9	9	4	4	4	4	10	10	8	8	6	6	10	10	13	13	4	4	
公務災害	消火活動中	—	—	1	1	2	2	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
	救急救助活動中	—	—	3	3	—	—	1	1	1	1	1	1	—	—	2	2	4	4	—	—	
	訓練中	—	—	4	4	2	2	1	1	4	4	4	4	5	5	6	6	5	5	1	1	
	交通事故	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	作業中	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
レクリエーション参加	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2	—	—	
通勤災害	出勤途上	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	—	—	—	—	—	—	—	2	2	1	1
	退勤途上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—

5 職員の技能資格

(令和8年4月1日現在)

区分	総数(人)
大型自動車免許	288
玉掛け作業者	142
小型移動式クレーン資格	121
1級小型船舶操縦士	37
2級小型船舶操縦士	20
潜水士	89
予防技術資格者	57
甲種危険物取扱者	15
乙種危険物取扱者	219
甲種消防設備士	15
乙種消防設備士	86
救急救命士	174
挿管認定救急救命士	76
薬剤認定救急救命士	142
拡大二行為認定救命士	141
指導救命士	12

6 職員表彰

(単位:人)

区分	階級	総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防吏員以外の 消防職員	元消防職員
総数		118	1	3	1	38	39	21	6	4	-	5
叙勲	端宝小綬章	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	瑞宝双光章	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	瑞宝单光章	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	叙位・死亡叙勲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防庁長官表彰												
	功績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	永年勤続功労	4	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-
	救急功労	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	消防防災科学技術賞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知事表彰	兵庫県功労		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		功績	8	-	-	-	8	-	-	-	-	-
		永年勤続功労	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-
		救急業務功労	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		感謝状	12	1	-	-	2	9	-	-	-	-
市長表彰	功績		3	-	-	-	3	-	-	-	-	-
		救急業務	3	-	-	-	2	1	-	-	-	-
		永年勤続(25年)	13	-	-	-	10	3	-	-	-	-
消防局長表彰												
	優秀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	勤功	13	-	-	-	-	5	2	2	4	-	-
	優良	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
	救急業務	5	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-
全国消防長会表彰												
	消防特別功労	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	永年勤続功労	13	-	-	-	11	2	-	-	-	-	-
署長表彰		25	-	-	-	-	6	15	4	-	-	-
全国消防協会表彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防機器開発等会長賞		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県医師会長表彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
姫路市救急医療協会会長表彰		3	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
姫路東ロータリークラブ表彰		3	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
近畿地方非常通信協議会長表彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非常通信功績者表彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

7 市民表彰等

区分	年度	平成			令和						
		28	29	30	元	2	3	4	5	6	7
		表彰	市長表彰(しらさぎ賞)	13	13	11	10	13	30	12	15
	消防局長表彰(優良事業所)	5	5	5	5	5	5	5	6	5	5
感謝状	市長感謝状	1	-	1	1	1	1	1	1	1	-
	消防局長感謝状(寄贈)	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
	署長感謝状(初期消火等)	10	6	6	6	4	2	1	9	9	11

8 年度別一般会計及び消防費決算額 (令和7年・令和8年度は当初予算額)

(単位：円)

区分 年度	一般会計決算額	消防費決算額	一般会計に 対する割合	一世帯 当たり消防費	住民一人 当たり消防費
平成28	207,833,864,911	6,265,457,650 (6,797,236,177)	2.98 (3.01)	27,000 (-)	11,595 (-)
平成29	207,481,705,619	6,657,540,210 (7,174,026,668)	3.21 (3.46)	30,960 (-)	12,470 (-)
平成30	198,592,949,720	6,426,487,249 (6,946,057,121)	3.2 (3.45)	27,300 (-)	11,939 (-)
令和元	211,392,021,607	6,726,144,119 (7,363,088,407)	3.18 (3.48)	28,293 (-)	12,524 (-)
令和2	286,043,996,223	8,383,992,856 (8,991,458,660)	2.93 (3.14)	34,935 (-)	15,642 (-)
令和3	233,252,204,092	6,277,537,778 (6,886,045,587)	2.69 (2.95)	25,903 (-)	11,753 (-)
令和4	230,164,150,459	6,481,407,114 (7,008,259,552)	2.82 (3.04)	28,768 (-)	12,303 (-)
令和5	228,126,374,820	6,998,405,261 (7,584,648,861)	3.07 (3.32)	28,208 (-)	13,352 (-)
令和6	245,476,362,480	7,248,139,007 (7,834,382,607)	2.95 (3.19)	29,017 (-)	13,910 (-)
令和7	258,200,000,000	10,808,217,000 (11,652,364,000)	4.19 (4.51)	43,298 (-)	20,659 (-)
令和8	261,800,000,000	8,699,697,000 (9,340,123,000)	3.32 (3.57)	34,596 (-)	16,723 (-)

※ () 内は、受託町の常備消防に係る経費(水利事務を除く)を含んだ経費です。

9 令和8年度消防局予算概要

※ 消防費から危機管理室所管(災害対策費)予算を除いたものです。(単位：千円)

款・項・目・事業名	予算額	款・項・目・事業名	予算額
50 消 防 費	9,147,775	15 消 防 施 設 費	2,075,700
10 消 防 費	9,147,775	庁舎整備事業費	1,303,000
10 常備消防費	6,446,157	車両等整備事業費	351,700
報酬給与費	5,901,757	消防資器材整備事業費	216,600
職員研修費	19,237	消防水利整備事業費	204,400
管理事務費	37,633	情報通信施設整備事業費	0
庁舎維持管理経費	180,380	25 災 害 対 策 費	17,964
車両等管理経費	99,273	防災プラザ管理運営費	17,964
消防活動経費	18,016	防災プラザ整備事業費	-
情報通信施設管理経費	74,285	30 非 常 備 消 防 費	607,954
救急活動経費	82,749	団 員 報 酬	113,923
予防活動経費	12,738	団員等公務災害補償費	4,670
危険物保安経費	4,413	団員退職報償金	51,597
出初式経費	2,587	団本部運営費	21,484
音楽隊経費	1,616	分団運営費	85,541
民間防火組織育成経費	1,548	分団施設等整備事業費	259,400
負担金	9,925	負 担 金	71,339

10 年度別主要事業実施状況

(単位:千円)

令和5年度		令和6年度		令和7年度	
庁舎整備事業 姫路東消防署新庁舎建設用地取得 姫路東消防署新築工事基本計画及び基本設計委託 姫路市姫路東消防署御国野出張所大規模改修工事設計委託 姫路市防災センター電話交換機等更新業務委託 姫路市防災センター情報指令課空調設備更新工事	554,957	庁舎整備事業 姫路東消防署新築工事実施設計委託 姫路東消防署増位出張所改修工事実施設計委託 姫路東消防署御国野出張所大規模改修工事 網干消防署屋上防水改修工事 姫路西消防署林田出張所屋上防水改修工事	129,081	庁舎整備事業 姫路東消防署新築工事 姫路東消防署増位出張所改修工事 姫路東消防署御国野出張所大規模改修工事 網干消防署電話設備更新工事 消防艇棧橋チェーン更新工事	258,600
車両等整備事業 消防艇 1艇 救急車 3台 連絡車 2台	496,854	車両等整備事業 化学消防ポンプ自動車 2台 資器材搬送車 2台 救急車 3台 査察車(電気自動車) 4台 人員搬送車 1台	330,073	車両等整備事業 水槽付消防ポンプ自動車 1台 屈折はしご付消防自動車 1台 資器材搬送車 2台 救急車 3台 査察車 1台 連絡車 1台 指揮隊車 1台 多目的車用資器材 2式	511,300
消防資器材整備事業 消防ホース 65本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 救急活動資器材 一式 ゴムボート 1艇 空気呼吸器等 泡消火薬剤更新	23,389	消防資器材整備事業 消防ホース 70本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 救急活動資器材 一式 ゴムボート 3艇 空気呼吸器等 泡消火薬剤更新	23,322	消防資器材整備事業 消防ホース 70本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 救急活動資器材 一式 陽圧型化学防護服 5着 空気呼吸器等 泡消火薬剤更新	25,200
消防水利整備事業 防火水槽 2基 消火栓新設 125ヶ所	181,774	消防水利整備事業 防火水槽 1基 消火栓新設 98ヶ所	176,981	消防水利整備事業 防火水槽 1基 消火栓新設 107ヶ所	250,000
情報通信施設整備事業 姫路市高機能消防指令システム延命整備業務委託 姫路市高機能消防指令システム延命整備業務委託	187,563	情報通信施設整備事業 姫路市高機能消防指令システム延命整備業務委託 次期高機能消防指令システム調達支援業務	165,471	情報通信施設整備事業 高機能消防指令システム再整備事業 消防・救急デジタル無線システム中間整備事業 播磨姫路救急搬送システム構築業務委託 消防OAシステム連携業務委託	3,679,800
分団施設整備事業 姫路東消防団谷外分団詰所改築工事設計委託 網干消防団旭陽分団詰所改築工事設計委託 姫路東消防団広峰分団詰所改築工事 姫路西消防団安室東分団詰所改築工事 姫路西消防団林田西分団詰所改築工事 小型動力ポンプ付軽四積載車 1台 消防団用AED 72式	125,920	分団施設整備事業 姫路東消防団谷内分団詰所新築工事設計委託 姫路西消防団太市分団詰所新築工事設計委託 姫路東消防団谷外分団詰所改築工事 網干消防団旭陽分団詰所改築工事 消防ポンプ自動車 4台	172,362	分団施設整備事業 姫路西消防団城陽分団詰所新築工事設計委託 姫路西消防団八幡分団詰所新築工事設計委託 姫路東消防団谷内分団詰所改築工事 姫路西消防団太市分団詰所改築工事 姫路東消防団広峰分団詰所前歩道改良工事 消防ポンプ自動車 6台	252,300

このページは空白です。

警 防

1 消防車両等の配置状況

(令和8年4月1日現在)

配置 署所	総 計 ^{*1}	消防局					姫路東 消防署					姫路西 消防署				飾 磨 消防署					網 干 消防署			中 播 消防署								
		小 計	総 務	警 防	救 急	情 報 指 令	予 防	小 計	本 署	御 野	豊 富	飾 東	増 位	小 計	本 署	飾 西	林 田	小 計	本 署	白 浜	広 畑	大 的	家 島	坊 勢	小 計	本 署	勝 原	小 計	本 署	香 寺	夢 前	北 部
合 計	122 (12)	23 (7)	7 -	7 (1)	7 (6)	1 -	1 -	19 (1)	12 (1)	2 -	2 -	1 -	2 -	18 (1)	13 (1)	2 -	3 -	30 (1)	12 (1)	4 -	4 -	1 -	5 -	4 -	12 (1)	11 (1)	1 -	20 (1)	12 (1)	2 -	3 -	3 -
指 揮 隊 車	3	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指 揮 車	4	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
タンク車 ^{*2}	8 (1)	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3	1	1	1	-	-	-	2	1	1	1	1	-	-	-
S T 車 ^{*3}	16 (5)	1 -	-	1 -	-	-	5 (1)	1 (1)	1 -	1 -	1 -	1 -	1 -	3 (1)	1 (1)	1 -	1 -	2 (1)	1 (1)	-	-	1 -	-	-	1 (1)	1 (1)	-	4 (1)	1 (1)	1 -	1 -	1 -
梯 子 車	4	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
屈折梯子車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大型化学 高所放水車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
水 槽 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
化 学 車	3	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
救 急 車	23 (6)	7 (6)	-	-	7 (6)	-	4	1	1	1	-	1	4	2	1	1	3	1	1	1	-	-	-	1	1	-	4	1	1	1	1	
軽 救 急 車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
多 目 的 車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
泡 原 液 搬 送 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
救 助 工 作 車	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
水難救助車 (兼資器材搬送車)	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
消 防 艇	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
救 急 艇	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
資 材 搬 送 車	6	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
無 線 中 継 車	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
人 員 搬 送 車	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
連 絡 車 (緊 急)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-		
マ イ ク ロ バ ス	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
連 絡 車	10	4	3	1	-	-	2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
査 察 車	13	3	3	-	-	-	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	2	2	-	-	-	-	-	2	2	-	2	2	-	-	-	
広 報 連 絡 車	8	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	1	-	1	3	1	1	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	
原 付 自 転 車	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	

*1 ()内の数字は、非常用消防車・非常用救急車を示します。(内数)

*2 タンク車は水槽容量1,500リットル又は2,000リットルの水槽付消防ポンプ自動車です。

*3 S T車は水槽容量800リットル~1,300リットルの小型水槽(スモールタンク)付消防ポンプ自動車です。

2 消防緊急車両等の一覧

配置署所	区分	車種	呼称名	車両表示	年式	主 要 装 備		配置署所	区分	車種	呼称名	車両表示	年式	主 要 装 備		配置署所	区分	車種	呼称名	車両表示	年式	主 要 装 備		
						ポンプ	水槽							ポンプ	水槽							ポンプ	水槽	ポンプ
消防局	警防	指揮隊	直轄指揮	直C	H.31	AWD	AWD	本	本	指揮隊	直轄指揮	直C	H.31	AWD	AWD	本	本	指揮隊	直轄指揮	直C	H.28	AWD	AWD	
					H.28	2,000	2,000						AWD	AWD	H.28						2,000	2,000	AWD	AWD
					H.30	A2	A2						AWD	AWD	H.26						8000	8000	AWD	AWD
					H.29	A2	A2						AWD	AWD	H.26						8000	8000	AWD	AWD
					H.25	A2	A2						AWD	AWD	R.2						6,000	6,000	AWD	AWD
					R.3	A2	A2						AWD	AWD	R.5						6,000	6,000	AWD	AWD
					R.7	A2	A2						AWD	AWD	R.4						6,000	6,000	AWD	AWD
					R.3	A2	A2						AWD	AWD	H.30						6,000	6,000	AWD	AWD
					R.7	A2	A2						AWD	AWD	H.25						2,000	2,000	AWD	AWD
					H.29	A2	A2						AWD	AWD	H.29						2,000	2,000	AWD	AWD
					H.31	A2	A2						AWD	AWD	R.7						2,000	2,000	AWD	AWD
					H.28	A2	A2						AWD	AWD	H.25						10,000	10,000	AWD	AWD
子防	情報指令	指揮隊	直轄指揮	予C	H.25	AWD	AWD	大的出張所	大的出張所	指揮隊	直轄指揮	予C	H.25	AWD	AWD	大的出張所	大的出張所	指揮隊	直轄指揮	予C	H.25	AWD	AWD	
					H.25	8000	8000						AWD	AWD	H.25						8000	8000	AWD	AWD
					H.23	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.7	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
姫路東消防署	警防	指揮隊	直轄指揮	無線	H.25	AWD	AWD	本	本	指揮隊	直轄指揮	無線	H.25	AWD	AWD	本	本	指揮隊	直轄指揮	無線	H.25	AWD	AWD	
					R.8	850	850						AWD	AWD	R.3						850	850	AWD	AWD
					H.28	A2	A2						AWD	AWD	R.5						850	850	AWD	AWD
					H.23	A2	A2						AWD	AWD	H.28						9000	9000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	R.3						9000	9000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	H.25						9000	9000	AWD	AWD
					R.7	A2	A2						AWD	AWD	H.30						1,300	1,300	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	R.3						1,300	1,300	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.28						2,000	2,000	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.26						2,000	2,000	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	R.1						1,300	1,300	AWD	AWD
					R.8	A2	A2						AWD	AWD	H.23						1,300	1,300	AWD	AWD
姫路西消防署	警防	指揮隊	直轄指揮	西C	H.28	AWD	AWD	本	本	指揮隊	直轄指揮	西C	H.28	AWD	AWD	本	本	指揮隊	直轄指揮	西C	H.28	AWD	AWD	
					H.26	2,000	2,000						AWD	AWD	H.26						8000	8000	AWD	AWD
					H.26	A2	A2						AWD	AWD	R.1						1,300	1,300	AWD	AWD
					R.1	A2	A2						AWD	AWD	H.23						1,300	1,300	AWD	AWD
					R.4	A2	A2						AWD	AWD	R.6						9000	9000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	R.7						9000	9000	AWD	AWD
					R.7	A2	A2						AWD	AWD	R.6						9000	9000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	H.31						9000	9000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	R.6						9000	9000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	H.27						8000	8000	AWD	AWD
					R.6	A2	A2						AWD	AWD	R.4						8000	8000	AWD	AWD
					R.4	A2	A2						AWD	AWD	H.27						8000	8000	AWD	AWD
R.4	A2	A2	AWD	AWD	R.4	8000	8000	AWD	AWD															

*1 資料輸送車と無線中継車は、消防組織法第50条に規定の無線使用制度について許可を受けた国（総務省消防庁）有車両です。

3 部隊別主要資機材配備基準

※ 救急隊、救助隊等一部の部隊を除く。

(令和8年4月1日現在)

所属	署所	部隊	Gノズル(注1)	Dノズル(注2)	泡ノズル	ホースカー	分岐金具	動力ポンプ	かぎ付き	二連(二連)はしり	エンジンカッター	レシプロソー	チェーンソー	スプレッダー	カッター	コンビットル	油圧ジャッキ	可搬ウインチ	マルチスリング	鉄線カッター	万能斧	ハンマー	複合ガス検知器	防塵マスク	発動発電機	投光器	強力ライト	携帯用ライト	拡声器	担架	吹き流し	要救助者用安全带	簡易縛帯	救命胴衣	浮環	ハーネス	応急処置セット	高圧耐電衣	低圧耐電手袋	耐熱服	夜行ベスト	伸縮コーン		
姫路東	本署	東TC	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2		
		東ST	4	2	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2	
		東機	1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	3	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	4	0	4	
姫路西	御国野	御ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	1	0	2	0	2	0	3	2	2
		豊ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	1	0	2	0	2	0	3	2	2
		飾東ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	1	0	2	0	2	0	3	2	2
姫路東小計	増ST	2	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	3	1	1	0	2	0	3	2	2	2	2	
	西T	17	13	6	5	14	1	2	6	5	1	1	1	1	1	1	0	5	1	6	7	6	5	22	7	7	14	13	9	2	5	8	1	22	6	2	12	0	12	0	22	16	16	
	西ST	4	2	1	1	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
姫路西小計	西機	4	2	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	1	2	3	2	0	0	0	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
	西化	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	3	1	1	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	4	0	4		
	飾西ST	2	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	1	0	2	0	2	0	3	2	2	
飾磨	飾磨小計	2	2	1	1	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	0	2	0	3	2	2		
	飾T	13	11	6	4	12	2	4	3	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	4	5	4	3	16	6	6	12	14	8	3	3	7	1	16	4	2	8	2	16	14	14			
	飾ST	4	2	1	1	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2			
網干	網干小計	4	2	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
	白砥	4	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
	白原	4	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
網干小計	広畑	4	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	1	2	1	1	0	1	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2			
	大的	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	1	0	2	0	3	2	2			
	家島	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	2	1	1	0	1	1	1	4	1	1	0	2	0	0	2	2			
網干小計	坊勢	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	1	1	2	1	0	1	1	4	1	1	0	2	0	0	0	2	2			
	飾磨小計	19	13	5	4	12	2	4	5	4	1	1	2	2	1	1	0	6	1	5	6	5	6	31	9	10	18	18	12	4	6	11	1	31	7	2	5	6	10	0	19	22		
	網T	4	2	1	1	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2				
中播	網ST	4	2	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
	網機	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
	網化高	0	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	4	0	4		
中播小計	勝T	2	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	1	0	4	0	4	0	2	2		
	中T	11	9	4	3	10	1	2	3	2	1	1	1	1	1	1	0	2	1	3	4	3	2	13	5	5	10	11	7	2	2	6	1	13	3	2	3	2	6	4	13	12		
	中ST	4	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
中播小計	中機	4	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	1	0	2	0	5	2	2		
	中化	0	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	4	0	4			
	香ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	3	1	0	1	1	1	3	1	1	0	2	0	3	2	2			
中播小計	夢前	2	2	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	1	0	2	0	3	2	2			
	北部	2	2	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	1	0	2	0	3	2	2			
	中播小計	15	13	7	5	14	2	3	6	5	2	0	0	0	0	0	2	4	2	2	5	6	5	4	19	7	7	14	15	9	3	4	8	2	19	5	4	5	2	10	4	19	16	
中播小計	75	59	28	21	62	8	13	24	19	6	3	4	3	4	3	20	6	6	6	23	28	23	20	101	34	35	68	71	45	14	20	40	6	101	25	12	23	14	46	10	89	80		

注1：ガンタイプノズル 注2：ダブルコンポートノズル
 ※ このほか、無人放水水銃(大)を飾磨消防署・網干消防署に各1台、無人放水水銃(小)を5消防署に各1台配備しています。

4 消防水利の現況

消防水利は、人員及び機械とともに消防力の三要素の一つであり、その基幹をなすものです。姫路市消防局管内における消防水利の状況は、総数23,386（内受託町3,439）で、その内容は、消火栓94.8%、防火水槽及び防火井戸4.1%、その他の水利が1.1%の割合になっています。

（令和8年3月末現在）

区分 署別	合計	消 火 栓			防 火 水 槽 及 び 防 火 井 戸						そ の 他		
		小 計	公 設	私 設	小 計		公 設		私 設		プ ー ル	そ の 他	
					水 槽	井 戸	水 槽	井 戸	水 槽	井 戸			
姫 路 東	4,824	4,546	4,422	124	198	44	156	43	42	1	35	1	
姫 路 西	5,072	4,882	4,761	121	130	32	107	32	23	—	25	3	
飾 磨	5,363	5,060	4,493	567	186	91	146	83	40	8	21	5	
網 干	2,778	2,631	2,155	476	88	46	74	46	14	—	12	1	
中 播	小 計	5,349	5,051	5,023	28	152	—	131	—	21	—	36	110
	姫路市	1,910	1,878	1,871	7	14	—	6	—	8	—	16	2
	受託町	3,439	3,173	3,152	21	138	—	125	—	13	—	20	108
総 数	23,386	22,170	20,854	1,316	754	213	614	204	140	9	129	120	
姫 路 市	19,947	18,997	17,702	1,295	616	213	489	204	127	9	109	12	
受 託 町	3,439	3,173	3,152	21	138	—	125	—	13	—	20	108	

5 消防水利の整備状況

消防水利の整備は、主に消火栓を国から示された「消防水利の基準」（昭和39年12月10日消防庁告示第7号）に基づき整備しています。（消防水利から建物までの距離は、市街地、準市街地については100m又は120m以内、その他の地域は140m以内）消火栓は、水道法等により上下水道事業管理者が設置し、年々充実されています。

しかし、消火栓は容易に使用できる反面、地震等発生時には使用不能となる場合もありますので、本市の公園を中心に40㎡の耐震性防火水槽も計画的に整備しています。

区分 年度	消 火 栓		防 火 水 槽	
	水利整備事業	その他の事業	水利整備事業	その他の事業
平成27年	90	135	1	—
平成28年	120	117	1	—
平成29年	105	85	2	—
平成30年	120	95	2	—
令和元年	106	119	2	—
令和2年	107	101	1	—
令和3年	100	110	1	—
令和4年	128	124	1	—
令和5年	125	50	1	—
令和6年	124	56	1	—
令和7年	109	91	1	—

6 開発行為による設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「姫路市開発事業における手続および基準等に関する条例」及び「消防水利の基準」に基づき消防水利の指導を行っています。

区分 年度	消 火 栓		防 火 水 槽	
	帰 属	私 設	帰 属	私 設
平成27年	32	—	1	1
平成28年	23	—	4	1
平成29年	18	—	3	2
平成30年	18	—	3	—
令和元年	24	—	1	1
令和2年	15	—	1	3
令和3年	22	—	—	4
令和4年	10	—	2	6
令和5年	5	—	2	2
令和6年	12	—	4	2
令和7年	19	—	2	3

7 泡消火薬剤の備蓄状況

(令和8年3月末現在)

区分 保管場所 (消防署)	泡消火薬剤 合計 (kℓ)	石油類用 (kℓ)		水溶性液体用 (kℓ)	
		蛋白質加水 分解系	界面活性剤系	界面活性剤系	
		フッ素 蛋白泡系	炭化水素系界 面活性剤泡系	フッ素界面 活性剤泡系	炭化水素系界 面活性剤泡系
		水成膜を形成 しないもの		高分子ゲルを 形成するもの	
フッ素蛋白泡 F P	炭化水素系界 面活性剤泡 S	高分子ゲル生成 フッ素界面活性剤耐 アルコール泡 AGFF [石油類にも使用可]	フッ素界面活 性剤を添加し たもの		
合計	82.54	2.60	10.36	59.36	10.22
姫路市	46.10	—	6.56	36.86	2.68
兵庫県	8.54	2.60	—	—	5.94
共同備蓄	27.90	—	3.80	22.50	1.60
警防課	0.10	—	—	0.10	—
姫路市	—	—	—	—	—
兵庫県	—	—	—	—	—
共同備蓄	—	—	—	—	—
姫路東	5.94	—	3.40	2.08	0.46
姫路市	1.20	—	—	—	1.20
兵庫県	2.60	—	1.60	1.00	—
共同備蓄	5.18	—	1.00	4.18	—
姫路西	1.74	—	—	—	1.74
姫路市	3.00	—	2.20	0.80	—
兵庫県	25.74	—	—	25.74	—
飾磨	1.80	0.60	—	—	1.20
姫路市	21.70	—	—	20.70	1.00
兵庫県	6.94	—	1.00	3.94	2.00
網干	3.80	2.00	—	—	1.80
姫路市	0.60	—	—	—	0.60
兵庫県	2.20	—	1.16	0.82	0.22
中播	—	—	—	—	—
姫路市	—	—	—	—	—
兵庫県	—	—	—	—	—
共同備蓄	—	—	—	—	—

※ 共同備蓄は、危険物を保有する市内22の関係事業所が共同して泡消火薬剤を備蓄しています。

8 出動基準表

種別	分類		用途	階層	第1出動										第2出動					第3出動								
	大分類	小分類			C	T・S・T	梯子	化学	R	W	A	消防艇	搬送	水槽	C	T・S・T	梯子	化学	R	W	A	C	T・S・T	梯子	化学	R	W	A
火災	建物	一般住宅火災	—	5 項ロ	3階以下	2	4			2	1				2						2							
		共同住宅火災	低層		4階以上	2	4			2	1				2							2						
			中高層	非特定用途	3階以下	2	4			2	1				2							2						
		非特定建物火災	低層		4階以上	2	5	1		2	1				2							2						
			中高層	特定用途	3階以下	2	4			2	1				2							2						
		工場・倉庫火災	—		4階以上	2	5	1		2	1				2							2						
			特定建物火災	低層	6 項イロハ	3階以下	2	4			2	1			2							2						
			中高層	4階以上		2	5	1		2	1				2							2						
		病院福祉施設火災	低層	—	3階以下	2	4			2	1			2							2							
		中高層	4階以上		2	5	1		2	1				2							2							
		危険物施設火災	—			2	5	1		2	1			2							2							
	車両	一般	一般(閉じ込めあり)	—		1	2			1	1			2							2							
			一般(閉じ込めなし)	—		2					1			1	2						2							
			トンネル内	—		2	4			1	1			2							2							
		高速道車両火災	一般	—		1	3		1	1	1			1	1	2					2							
			トンネル内	—		2	3		1	2	1			1	1	2					2							
鉄道火災		一般	—		2	4			1	1			2							2								
		高架	—		2	5	1		2	1			2							2								
	トンネル内	—		2	4			2	1			1	2						2									
林野	林野火災	—		1	6				1			1	3						3									
船舶	船舶火災	—		1	2			1	1	1	1	1	2						2									
航空機	航空機火災	—		2	3		1	1	1			2							2									
その他	その他の火災	—		2								1	2						2									
警防計画	警防計画火災	各種		警防計画出動(部署別、車両・車種別指定)																								
石油コンビナート災害		特定事業所		石油コンビナート警防計画出動(車種別指定)																								
救急	救急	各種																										
	高速道救急	各種																										
	救急支援	各種																										
	PA	各種																										
	集団災害救急	各種		2	2								5															
救助	限定救助	低層		2階以下	1				1	1																		
		中高層		3階以上	2				1	1																		
	一般救助	—			1	1			1	1																		
		一般道交通救助	一般		1	1			1	1																		
		トンネル内	—		1	1			1	1																		
	高速道交通救助	一般	—		1	1			1	1																		
		トンネル内	—		1	2			2	1																		
	高所救助	—		1	1	1		1	1																			
	山岳救助	—		1	2			2	1																			
	水難救助	海上	—		1	2			2	1	1																	
		河川	—		1	3			2	1	1																	
		池等	—		1	2			2	1	1																	
	鉄道災害救助	一般	—		1	3			2	1																		
		高架	—		2	3			2	1																		
トンネル内		—		2	3			2	1																			
土砂災害救助	—		1	4			2	1																				
特殊災害救助	—		1	4			2	1			1																	
警戒	自火報鳴動	—			1																							
	怪煙上昇	—			1																							
	交通事故油漏洩	—			1																							
	ヘリ支援	—			1																							
	事後聞知火災	—			1																							
	その他	—			1																							
水防	—			1																								

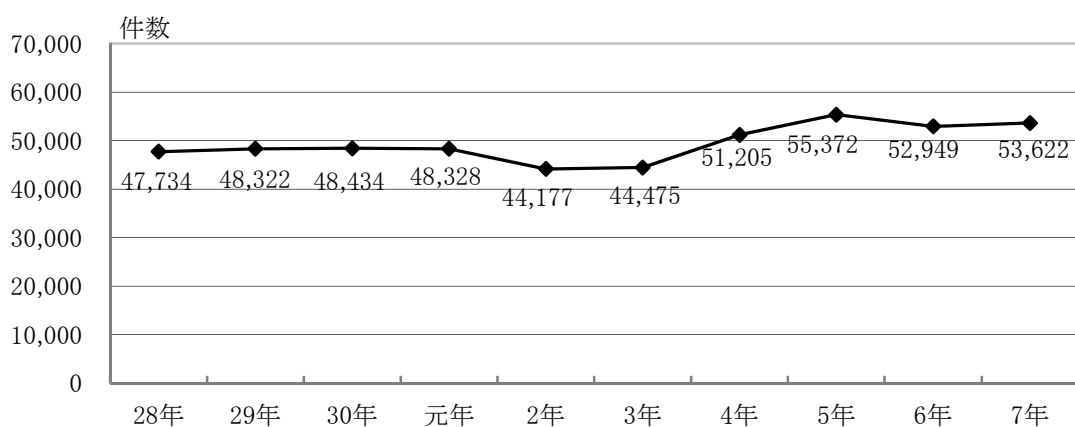
- ※1 消防艇が接岸不可の場合、待機車両がない場合等、状況によって情報指令課長の判断により出動を調整する。
- ※2 特定事業所とは、石油コンビナート等災害防止法に定めるものをいう。
- ※3 網掛けのT・S・Tのうち、1台は災害点を管轄する消防署(本署)の車両から優先的に選別する。
- ※4 限定救助とは、建物内の閉込事案をいう。
- ※5 地震等により広域的に災害が発生し、消防対応能力を超える被害が予想される場合に、本基準に関わらず情報指令課長判断により出動車両の選別を判断する場合がある。
- ※6 Rの車両選別運用】救助工作車又は本署タンク車(準救助工作車)から直近車両を選別する場合は、次のとおりとする。
 - ①「限定救助」のうち低層の事案
 - ②救助工作車2台出動中に発生した事案で、情報指令課長が必要と認める場合
 - ③救助工作車3台出動中に発生した事案

このページは空白です。

消 防 指 令

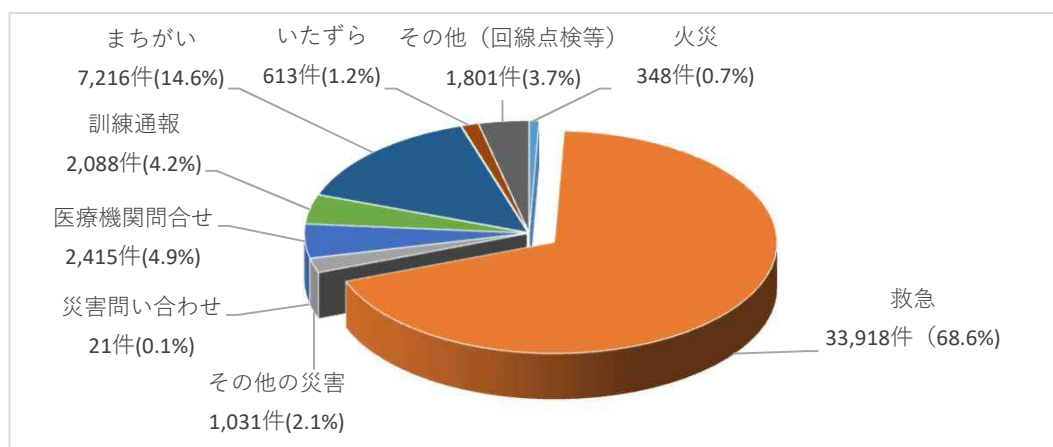
1 総受信状況の推移

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
119番	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828	46,299	50,835	48,629	49,451
警察電話	395	410	423	312	269	40	-	-	-	-
加入電話	502	536	555	574	595	1,037	1,275	842	679	539
駆け付け	222	231	209	239	186	178	201	220	195	193
自己覚知	149	163	152	147	65	62	83	80	94	102
ホットライン	3,302	3,246	3,179	3,181	3,198	3,115	3,152	3,230	3,189	3,139
緊急通報サービス	1,207	934	1,064	518	192	141	154	116	117	94
FAX119	115	80	70	57	63	38	9	22	9	4
NET119	35	43	45	26	9	36	32	27	37	100
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	47,734	48,322	48,434	48,328	44,177	44,475	51,205	55,372	52,949	53,622
1日あたりの受付件数	130.4	132.4	132.7	132.4	120.7	121.8	140.3	151.7	144.7	146.9
1時間あたりの受付件数	5.4	5.5	5.5	5.5	5.0	5.1	5.8	6.3	6.0	6.1



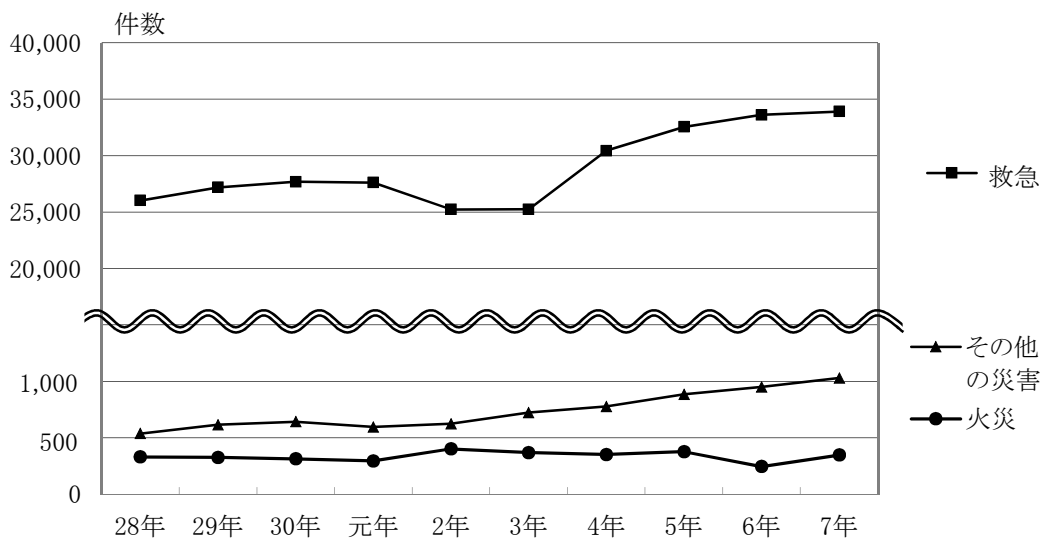
2 119番受信状況

区分	年次	令和7年 (件)	構成比 (%)	令和6年 (件)	構成比 (%)	対前年比	
						増減数(件)	増減率(%)
火災		348	0.7	246	0.5	102	41.5
救急		33,918	68.6	33,614	69.1	304	0.9
その他の災害		1,031	2.1	951	2.0	80	8.4
災害問い合わせ		21	0.1	40	0.1	▲19	▲47.5
医療機関問合せ		2,415	4.9	2,905	6.0	▲490	▲16.9
訓練通報		2,088	4.2	2,100	4.3	▲12	▲0.6
まちがい		7,216	14.6	6,952	14.3	264	3.8
いたずら		613	1.2	171	0.4	442	258.5
その他(回線点検等)		1,801	3.6	1,650	3.3	151	9.2
合計		49,451	100.0	48,629	100.0	822	1.7



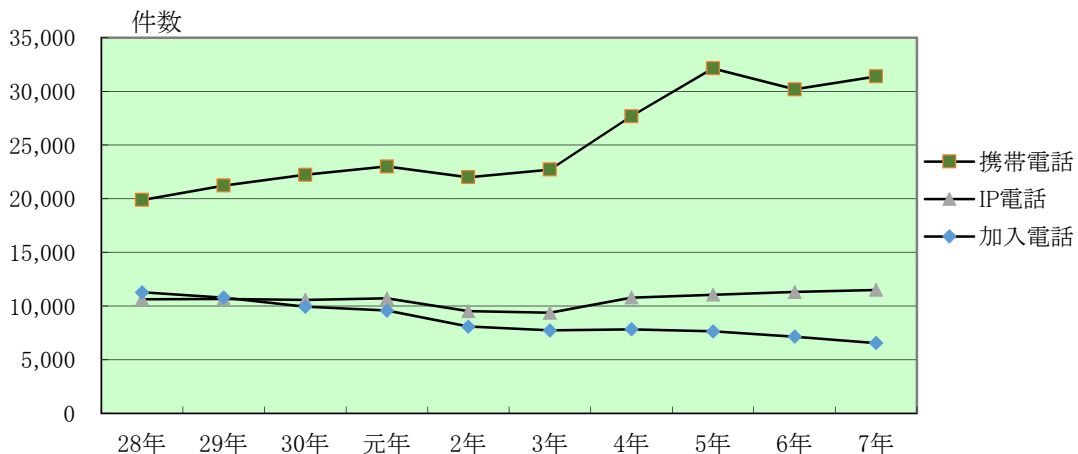
3 119番受信状況の推移

区分	年次	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災		331	328	314	296	403	368	351	379	246	348
救急		26,029	27,191	27,681	27,623	25,242	25,247	30,443	32,553	33,614	33,918
その他の災害		539	617	643	596	625	723	777	886	951	1,031
災害問合せ		477	675	387	192	190	131	97	62	40	21
医療機関問合せ		5,992	5,731	5,486	5,435	4,206	3,901	4,215	3,973	2,905	2,415
訓練通報		1,712	1,769	1,699	1,977	1,708	1,905	1,942	2,069	2,100	2,088
まちがい		4,120	4,018	3,958	4,768	4,848	5,145	6,541	8,596	6,952	7,216
いたずら		572	578	740	691	739	716	302	602	171	613
その他(回線点検等)		2,035	1,772	1,829	1,696	1,639	1,692	1,631	1,715	1,650	1,801
合計		41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828	46,299	50,835	48,629	49,451
1日あたりの受付件数		114.2	116.9	117.1	118.6	108.2	109.1	126.8	139.3	132.9	135.5
1時間あたりの受付件数		4.8	4.9	4.9	4.9	4.5	4.5	5.3	5.8	5.5	5.6



4 119番通報形態(通報手段)の推移

区分	年次	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
加入電話		11,281	10,782	9,936	9,573	8,085	7,733	7,829	7,632	7,144	6,545
I P 電話		10,640	10,667	10,576	10,705	9,508	9,373	10,785	11,057	11,298	11,502
携帯電話		19,886	21,230	22,225	22,996	22,007	22,722	27,685	32,146	30,187	31,404
合計		41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828	46,299	50,835	48,629	49,451



5 FAX119受信状況の推移

年次 区分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
緊急受信	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
テスト等	115	80	69	56	63	38	9	21	9	4
合計	115	80	70	57	63	38	9	22	9	4

6 NET119受信状況の推移

年次 区分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
緊急受信	-	3	1	1	9	9	12	6	10	8
テスト等	35	40	44	25	45	27	20	21	27	92
合計	35	43	45	26	54	36	32	27	37	100

※平成28年4月からWeb119に代わり、NET119の受信を開始しました。

7 外国語同時通訳機能利用状況の推移

年次 区分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
緊急受信	4	2	3	2	5	1	3	2	9	5
テスト等	4	4	3	2	-	-	-	1	-	-
合計	8	6	6	4	5	1	3	3	9	5

※平成28年4月から外国語同時通訳サービスを開始しました。

8 テレホンガイド(災害案内)受信状況の推移

年次 区分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
受信件数	95,104	99,627	92,302	85,161	99,051	91,443	83,495	79,701	56,238	57,673

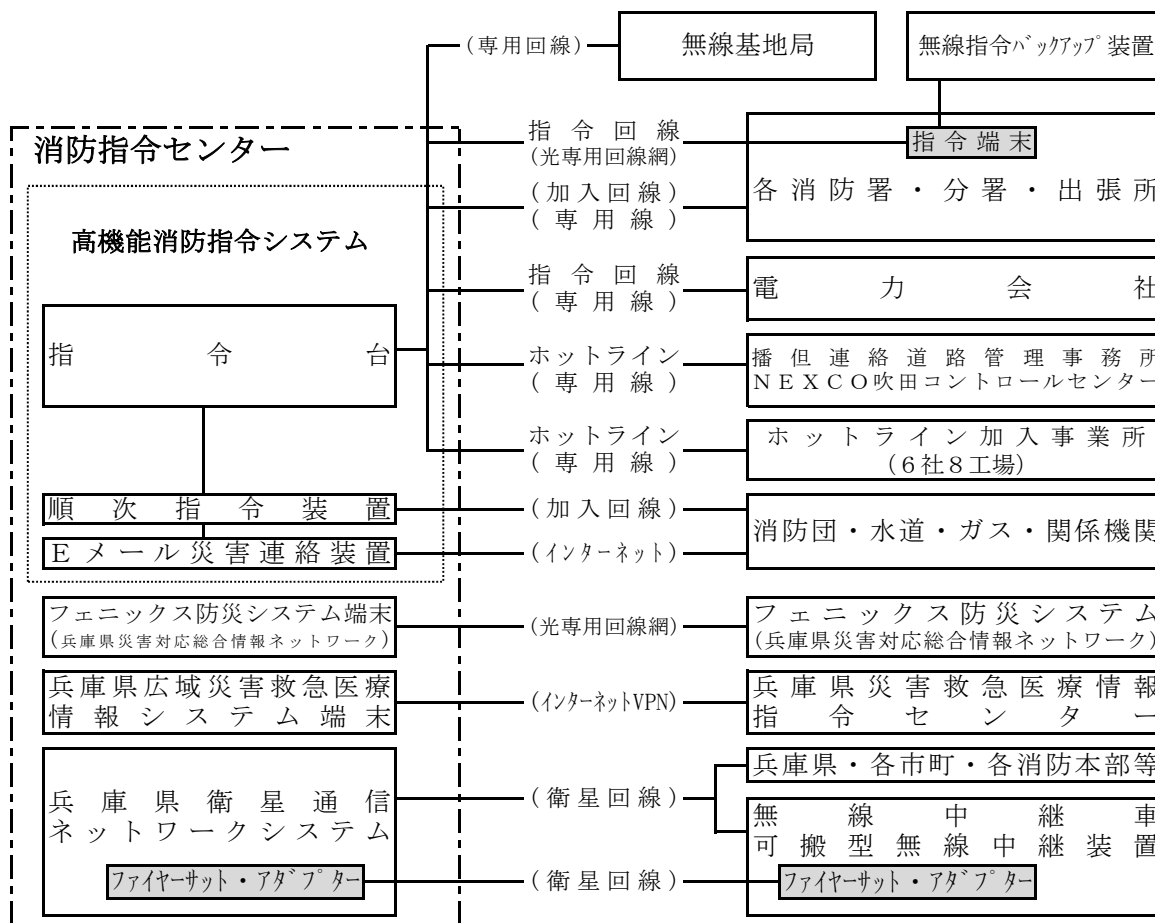
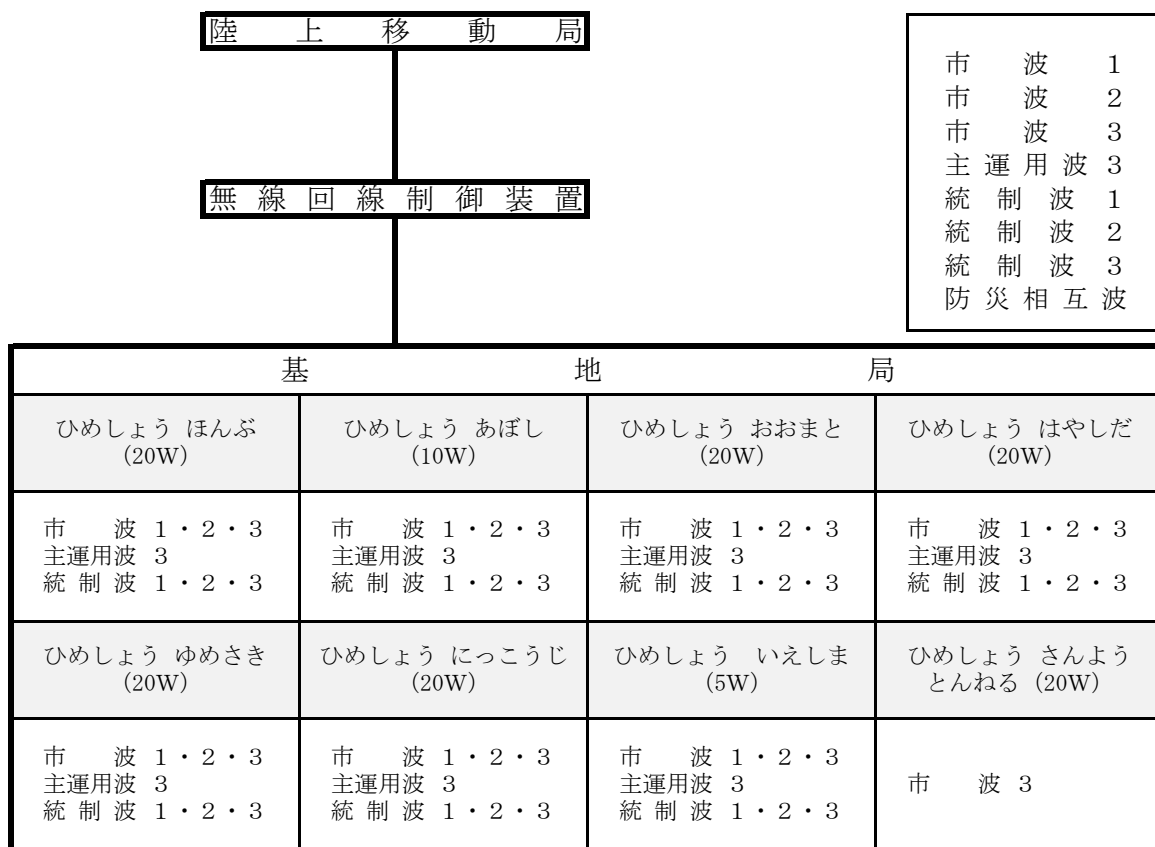
※令和5年4月から電話番号が050-1807-2119に変わりました。

9 医療機関問合せ状況の推移

年次 区分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
119番	5,992	5,731	5,486	5,435	4,206	3,901	4,215	3,973	2,905	2,415
119番以外	4,307	3,650	2,496	2,970	2,103	2,003	1,754	1,519	698	355
合計	10,299	9,381	7,982	8,405	6,309	5,904	5,969	5,492	3,603	2,770

10 消防通信系統図

消 防 通 信 系 統 図



このページは空白です。

予 防 ・ 防 災

1 火災予防に関する届出及び申請状況

消防法や火災予防条例では、火災予防に関する管理、設備、少量危険物等の届出を義務づけています。これによって消防機関は、事前にこれらの状況を把握し、効果的な指導を行って適正な予防行政の執行を図っています。

(令和7年度)

区 分		署 別		合 計 (うち受託町)	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中播消防署 (うち受託町)
		選 任	解 任						
消 防 法 に よ る 届 出	防火管理者	選 任		943 (51)	300	257	230	66	90 (51)
		解 任		665 (43)	220	146	167	55	77 (43)
	消防計画	作 成		562 (45)	162	48	214	57	81 (45)
		変 更		404 (5)	139	196	34	25	10 (5)
	工事整備対象設備等着工届			343 (25)	75	106	88	37	37 (25)
	消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届			1,878 (143)	557	450	437	227	207 (143)
	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告			9,018 (968)	2,413	2,471	1,852	825	1,457 (968)
	防火対象物点検結果報告			538 (45)	206	107	113	41	71 (45)
	圧縮アセチレンガス等の貯蔵(廃止)届			107 (8)	29	23	22	15	18 (8)
	火 災 予 防 条 例 に よ る 届 出	消防用設備等工事計画書			511 (24)	150	141	121	61
防火対象物使用開始届			679 (43)	173	148	200	90	68 (43)	
火を使用する設備等の設置届			91 (8)	13	20	27	12	19 (8)	
変電設備、発電設備、蓄電池設備設置届			277 (19)	61	66	70	49	31 (19)	
ネオン管灯設備設置届			- (-)	-	-	-	-	- (-)	
水素ガスを充てんする気球の設置届			- (-)	-	-	-	-	- (-)	
煙火打上げ等の届出			8 (-)	-	4	4	-	- (-)	
演劇等の催物開催届			- (-)	-	-	-	-	- (-)	
文化財等催物開催届			3 (-)	-	3	-	-	- (-)	
指定洞道等届出			3 (-)	1	2	-	-	- (-)	
少量危険物貯蔵(変更・廃止)届			125 (5)	8	10	42	57	8 (5)	
指定可燃物(変更・廃止)届			39 (2)	9	4	13	11	2 (2)	
放射性同位元素等貯蔵(変更・廃止)届			14 (1)	-	3	6	4	1 (1)	

2 防火対象物定期点検報告制度等に係る届出状況

(令和7年度)

区 分		点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数	
		収容人員 300人以上のもの	特定1階段 のもの	収容人員 300人以上のもの	特定1階段 のもの
1	イ	14 (-)	- (-)	7 (-)	- (-)
	ロ	185 (28)	1 (-)	138 (20)	1 (-)
2	イ	1 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)
	ロ	18 (2)	- (-)	13 (2)	- (-)
	ハ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ	- (-)	2 (-)	- (-)	2 (-)
3	イ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ	3 (-)	17 (-)	3 (-)	8 (-)
4		102 (9)	15 (-)	65 (8)	10 (-)
5	イ	11 (1)	17 (1)	8 (1)	8 (-)
6	イ	19 (2)	13 (-)	13 (2)	12 (-)
	ロ	4 (-)	10 (-)	2 (-)	10 (-)
	ハ	3 (-)	4 (-)	2 (-)	4 (-)
	ニ	2 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)
9	イ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16	イ	117 (4)	46 (-)	71 (3)	16 (-)
16の2		1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合 計		480 (46)	125 (1)	324 (36)	71 (0)
		605 (47)		395 (36)	

※ ()内は受託町 (内数)

3 液化石油ガス施設等の推移

消防活動が著しく困難な液化石油ガス等を貯蔵し又は取り扱うものには、消防法及び火災予防条例等に基づき消防署長に届出を義務づけています。

(令和7年度末現在)

年度 区分	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
液化石油ガス	1,931 (139)	1,975 (141)	2,044 (139)	2,101 (149)	2,171 (178)	2,227 (152)	2,277 (155)	2,392 (158)	2,428 (162)	2,464 (166)
高圧ガス	97 (-)	98 (-)	98 (-)	98 (-)	98 (-)	109 (-)	119 (-)	124 (-)	124 (-)	129 (1)
毒物・劇物等	325 (19)	331 (19)	337 (19)	340 (22)	341 (22)	333 (18)	334 (18)	337 (18)	339 (18)	327 (18)
合計	2,353 (158)	2,404 (160)	2,479 (158)	2,539 (171)	2,610 (200)	2,669 (170)	2,730 (173)	2,853 (176)	2,891 (180)	2,920 (185)

※ ()内は受託町(内数)

(注) 液化石油ガス(供給設備)の一部については、県からの事務移譲分を含む。

4 指定査察対象物の推移

(令和7年度末現在)

年度 署別	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
姫路東消防署	5,173	5,223	5,244	5,419	5,739	5,614	5,670	5,723	5,676	5,700
姫路西消防署	4,821	4,822	4,868	4,940	5,412	5,332	5,377	5,467	5,530	5,577
飾磨消防署	5,165	5,129	5,129	5,254	5,888	5,817	5,910	5,934	5,932	5,957
網干消防署	2,146	2,258	2,261	2,279	2,475	2,450	2,445	2,469	2,468	2,501
中播消防署	1,802 (1,164)	1,833 (1,169)	1,908 (1,209)	1,956 (1,247)	2,155 (1,388)	2,135 (1,382)	2,160 (1,400)	2,223 (1,432)	2,241 (1,453)	2,228 (1,419)
合計	19,107 (1,164)	19,265 (1,169)	19,410 (1,209)	19,848 (1,247)	21,669 (1,388)	21,348 (1,382)	21,562 (1,400)	21,816 (1,432)	21,847 (1,453)	21,963 (1,419)

※ ()内は受託町(内数)

5 消防法等違反の実態と措置状況

(令和7年度)

区分	違反対象物数	指示件数
警告件数	1	8
命令件数	2	6

6 指定査察対象物の立入検査等実施状況

消防法第4条の規定により、あらゆる仕事場、工場若しくは公共の出入りする場所その他関係のある場所に立ち入り、防火対象物の位置、構造、設備及び管理の状況を検査し、火災予防上の法令違反及びその他の不備火險事項について、関係者に対して是正指導等を行っています。

用途別	査察区分		合計		特種査察対象物		第1種査察対象物		第2種査察対象物		第3種査察対象物		第4種査察対象物		第5種査察対象物										
	対象数	立入検査等数	違反対象数	指示件数	対象数	立入違反検査数	指示件数	対象数	立入違反検査数	指示件数	対象数	立入違反検査数	指示件数	対象数	立入違反検査数	指示件数	巡回調査実施数								
イ 劇場・映画館・演芸場	21,963	2,657	1,142	2,772	843	310	199	567	1,124	369	128	353	398	4,926	557	239	630	824	4,008	97					
ロ 観覧場	5	3	2	3	-	-	-	-	4	3	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-					
イ 公会堂・集會場	18	3	2	4	-	-	-	-	13	3	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-					
ロ キャンペーン・カフェ・ナイトクラブ	300	56	29	43	2	2	2	1	64	12	10	18	-	161	34	14	17	71	8	2					
ロ 遊技場・ダンスホール	51	4	-	4	-	-	-	-	1	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-					
ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	-	-	-	9	-	-	-	-	26	3	3	8	-	11	1	1	1	-	-	-					
ニ カラオケボックス等	14	5	4	5	14	5	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
イ 待合・料理店	8	1	1	1	1	1	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロ 飲食店	886	148	98	209	17	13	13	35	26	6	1	1	-	133	19	10	35	707	110	74	138				
イ 百貨店・メーカー	6	1	1	3	-	-	-	-	4	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロ 店舗・展示場	1,059	274	141	286	15	11	10	21	325	102	47	118	-	168	26	14	37	545	135	70	110				
イ 旅館・ホテル・宿泊所	204	61	35	96	203	61	35	96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ロ 寄居・下宿	197	14	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ロ 共同住宅	4,786	225	86	202	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,655	153	81	190	232	14	5	12	2,899			
イ 病院	46	18	9	33	38	15	8	30	6	2	1	3	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-			
イ 診療所	354	78	40	103	31	23	16	60	36	1	-	-	-	77	16	6	9	209	38	18	34	1			
ロ 特別養護老人ホーム等	260	73	48	103	257	73	48	103	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
ハ 老人デイサービスセンター等	671	142	54	140	103	27	13	52	102	23	12	32	-	171	38	11	22	294	54	18	34	1			
ニ 幼稚園	80	14	1	2	-	-	-	-	13	4	1	2	-	37	6	-	-	30	4	-	-	-	-		
ニ 特別支援学校	13	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
小 小学校	273	76	20	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	167	47	17	25	48	13	3	3	48	16		
中 中学校	181	64	19	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	35	14	27	48	19	4	5	37	9		
高 高等学校	119	29	6	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	14	4	17	25	5	2	23	10	2		
大 大学	72	7	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	3	1	1	21	4	3	3	10	-		
各 各種学校	77	28	18	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	18	12	17	15	5	3	5	14	5		
イ 図書館・博物館・美術館	19	7	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2	2	3	4	3	-	-	1	2		
イ 蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ロ イ以外の浴場	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	7	-	-	-	-	2	
ロ 車両の停車場等	17	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	6	2	-	5	2	3	
神 神社	23	11	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	3	2	1	2	13	8	2	
イ 寺院・教会の類	185	38	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	23	3	2	1	137	33	12	
イ 工場・作業場	3,021	271	133	374	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,010	75	39	192	627	54	25	59	1,320	140	69	
ロ 映画スタジオ・レビスタジオ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123	
イ 自動車車庫・駐車場	475	38	15	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	3	-	-	170	15	6	12	217	20	9	
ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72
倉 倉庫	2,495	195	77	171	-	-	-	-	-	-	-	-	-	461	21	10	47	481	42	15	61	1,344	125	52	
イ 事務所	1,291	95	33	97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	218	9	2	19	113	11	4	16	781	72	27	
銀行・信用金庫等	137	20	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	18	1	44	6	1	3	57	
発電所・変電所	68	7	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	9	-	-	-	26	5	2	
官 公署	130	12	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	2	-	7	9	-	-	-	61	10	2	
その他	1,775	195	49	99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	221	21	5	12	169	23	7	22	1,004	132	37	
イ 特定複合用途防火対象物	1,718	236	136	468	162	79	49	161	336	60	31	135	-	459	36	19	83	756	61	37	89	381	65		
ロ イ以外の複合用途防火対象物	757	66	28	106	-	-	-	-	11	11	1	2	-	143	7	3	29	125	9	5	33	450	39		
16の2 地下街	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16の3 準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17 文化財	141	138	16	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18 延長50m以上のアーケード	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(令和7年度中)

7 指定査察対象物の状況

用途別	総計					姫路東消防署					姫路西消防署					飾磨消防署					網干消防署					中橋消防署					受託町(中橋消防署)									
	総数	1種	2種	3種	4種	5種	総数	1種	2種	3種	4種	5種	総数	1種	2種	3種	4種	5種	総数	1種	2種	3種	4種	5種	総数	1種	2種	3種	4種	5種	総数	1種	2種	3種	4種	5種				
イ 消防署・消防団	5	-	4	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ロ 公会堂・集会所	300	2	64	-	161	71	2	83	-	19	-	41	22	1	62	-	26	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ハ 児童館・児童センター	6	-	1	-	1	4	-	6	-	1	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ニ 遊技場・ゲームセンター	51	-	26	-	11	14	-	25	-	7	-	11	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ホ 市民センター・公民館	14	14	-	-	-	-	-	6	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 飲食店	8	1	3	-	4	-	3	350	14	11	-	60	264	1	180	1	10	27	142	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 百貨店・デパート	6	-	4	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 店舗・商店	1,059	15	325	-	168	545	6	295	9	87	-	54	144	1	278	1	90	48	138	1	255	5	74	-	36	139	1	107	-	28	-	15	64	-	-	-	-			
ヘ 旅館・ホテル・宿泊所	204	203	-	-	-	-	-	1	34	34	-	-	-	-	48	47	-	-	-	-	1	48	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 事務所・支店	197	-	-	-	96	9	92	40	-	-	21	3	16	47	-	-	19	2	26	56	-	-	-	24	3	29	25	-	-	16	1	8	29	-	-	-	-			
ヘ 公民館住宅	4,786	-	-	-	1,655	232	2,899	1,221	-	-	350	140	741	1,436	-	-	697	42	697	1,401	-	-	-	459	38	904	507	-	-	99	12	396	211	-	-	-	-	-		
ヘ 病院	46	38	6	-	1	1	-	15	7	6	-	1	1	-	15	15	-	-	-	-	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ヘ 診療所	354	31	36	-	77	209	1	92	7	11	-	21	53	-	109	11	13	22	62	1	78	7	5	-	18	48	-	-	24	6	10	5	47	-	-	-	-			
ヘ 特別養老ホーム等	260	257	2	-	1	-	69	67	2	-	-	-	-	-	66	65	-	-	-	-	55	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ヘ 老人デイサービスセンター等	671	103	102	-	171	294	1	164	16	21	-	55	71	1	193	38	29	40	86	-	149	27	26	-	28	68	-	-	77	13	10	17	37	-	-	-	-			
ヘ 幼稚園	80	-	13	-	37	30	-	25	-	2	-	11	12	-	19	-	3	-	11	5	-	25	-	6	-	9	10	-	9	-	1	-	5	3	-	-	-			
ヘ 特別支援学校	13	-	10	-	2	1	-	6	-	5	-	1	-	-	7	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 小学校	273	-	167	48	48	10	61	-	39	18	4	-	69	-	37	10	19	3	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 中学校	181	-	90	48	37	6	39	-	22	17	-	-	38	-	20	8	10	12	3	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 高等学校	119	-	71	25	23	-	15	-	10	3	2	-	39	-	22	8	9	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 大学	72	-	41	21	10	-	24	-	11	11	2	-	19	-	12	5	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 各種学校	77	-	47	15	14	1	45	-	26	10	9	-	23	-	18	4	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 図書館・博物館・美術館	19	-	12	4	1	2	8	-	6	1	-	1	6	-	4	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 温泉・保養所	11	-	1	1	7	2	2	-	2	-	-	-	2	-	4	-	-	-	1	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 市民の体育場等	17	-	3	6	5	3	2	-	-	-	-	2	-	-	4	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 神社	23	-	1	3	13	6	7	-	-	-	-	3	1	3	2	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 寺院・教会の類	185	-	20	23	137	5	64	-	6	10	47	1	42	-	5	7	28	2	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 工場・作業場	3,021	-	-	1,040	627	1,320	64	751	-	231	158	352	10	540	-	163	123	236	18	928	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 映画館・劇場・演劇会場	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 自動車庫・駐車場	475	-	16	170	217	72	123	-	2	63	50	8	156	-	2	74	54	26	112	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 銀行・信用金庫等	2,495	-	461	481	1,344	209	520	-	91	111	282	36	498	-	81	91	276	50	811	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘ 官公署	1,775	-	221	169	1,004	381	259	-	25	32	135	67	324	-	21	33	213	57	686	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
その他	1,718	162	336	-	459	756	5	654	87	152	-	169	244	2	475	36	96	-	137	205	1	350	23	67	-	95	165	-	132	8	8	-	27	88	1	107	8	13	-	-
イ 特定用途の火気発生物	757	-	11	143	125	450	28	204	-	-	38	35	122	9	273	-	-	-	62	40	160	11	160	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ロ 危険物の取扱いが主たる業務	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ロ 地下街	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ロ 地下街	141	-	141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ロ 文化財	12	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ロ 延長50m以上のアーケード	12	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(注) 総計数値は受託町を含む。(注) 中橋消防署内の数値は受託町を含む。

8 中高層建築物・地下を有する建築物の状況

(令和7年度末現在)

用途別	階別	階																地上階合計のうち地階を有するもの			
		合計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	合計	地下1階	地下2階	地下3階		
総計		3,031	1,192	721	350	182	169	110	140	68	23	25	21	29	1	291	280	10	1		
1	イ 劇場・映画館・演芸場	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-		
	イ 観覧場	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-		
	ロ 公会堂・集会場	11	6	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-		
2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ 遊技場・ダンスホール	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ニ カラオケボックス等	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3	イ 待合・料理店	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-		
	ロ 飲食店	44	26	7	9	1	-	1	-	-	-	-	-	-	11	11	-	-			
4	百貨店・マーケット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	店舗・展示場	39	25	10	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	9	-	-			
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	47	13	9	5	4	3	4	1	3	2	-	2	1	-	16	16	-	-		
	ロ 寄宿舎・下宿	47	23	20	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ 共同住宅	1,324	316	319	163	95	101	74	118	57	14	24	16	27	-	43	43	-	-		
6	イ 病院	11	3	4	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5	4	1	-		
	イ 診療所	48	24	11	12	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-			
	ロ 特別養護老人ホーム等	40	22	10	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-			
	ハ 老人デイサービスセンター等	7	5	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-			
	ニ 幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ニ 特別支援学校	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
7	小学校	60	58	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	中学校	23	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	高等学校	27	21	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-		
	大学	18	8	3	3	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-		
	各種学校	31	16	5	4	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	9	9	-	-		
8	図書館・博物館・美術館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ イ以外の浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10	車両の停車場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
11	神社	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	寺院・教会の類	5	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-			
12	イ 工場・作業場	117	74	20	12	7	2	2	-	-	-	-	-	-	5	5	-	-			
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13	イ 自動車車庫・駐車場	17	11	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-			
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
14	倉庫	44	35	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-			
15	事務所	225	118	50	22	13	13	5	3	1	-	-	-	-	27	26	1	-			
	銀行・信用金庫等	21	8	3	2	-	4	2	-	-	2	-	-	-	9	8	1	-			
	発電所・変電所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	官公署	20	10	5	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	3	3	-	-			
	その他	66	36	14	8	5	1	2	-	-	-	-	-	-	6	5	1	-			
16	イ 特定複合用途防火対象物	482	184	144	61	35	31	12	5	4	1	1	2	1	104	98	5	1			
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	239	112	59	27	11	9	5	9	3	3	-	1	-	18	18	-	-			
16の2	地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
16の3	準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
17	文化財	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-			
18	延長50m以上のアーケード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

10 防火管理者・消防計画を必要とする防火対象物の届出状況

(令和7年度)

用途別	区分	防火管理義務 対象物数	防火管理者選任対象物数		消防計画届出対象物数	
				選任率		届出率
総計		5,149	4,465	87%	4,380	85%
1	イ 劇場・映画館・演芸場	3	3	100%	3	100%
	イ 観覧場	12	12	100%	12	100%
	ロ 公会堂・集会場	259	247	95%	241	93%
2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	6	4	67%	4	67%
	ロ 遊技場・ダンスホール	29	27	93%	27	93%
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	-	-	-	-	-
3	ニ カラオケボックス等	12	11	92%	11	92%
	イ 待合・料理店	4	4	100%	4	100%
4	ロ 飲食店	464	379	82%	364	78%
	イ 百貨店・マーケット	7	7	100%	7	100%
5	ロ 店舗・展示場	690	620	90%	610	88%
	イ 旅館・ホテル・宿泊所	91	88	97%	88	97%
	ロ 寄宿舎・下宿	16	14	88%	14	88%
6	ロ 共同住宅	844	636	75%	632	75%
	イ 病院	10	10	100%	10	100%
	イ 診療所	84	78	93%	78	93%
	ロ 特別養護老人ホーム等	195	186	95%	184	94%
	ハ 老人デイサービスセンター等	234	224	96%	224	96%
7	ニ 幼稚園	31	31	100%	31	100%
	ニ 特別支援学校	4	4	100%	4	100%
	小 小学校	79	79	100%	79	100%
	中 中学校	37	37	100%	36	97%
	大 高等学校	20	20	100%	20	100%
8	大 各種学校	6	6	100%	6	100%
9	各 各種学校	39	35	90%	34	87%
	8 図書館・博物館・美術館	11	11	100%	11	100%
10	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-
	ロ イ以外の浴場	4	3	75%	3	75%
11	10 車両の停車場等	-	-	-	-	-
12	イ 神社	6	6	100%	6	100%
	ロ 寺院・教会の類	83	66	80%	64	77%
13	イ 工場・作業場	210	199	95%	196	93%
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-
14	イ 自動車車庫・駐車場	4	4	100%	4	100%
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	-	-	-	-
15	14 倉庫	38	35	92%	35	92%
	イ 事務所	164	140	85%	135	82%
	ロ 銀行・信用金庫等	65	62	95%	62	95%
	イ 発電所・変電所	3	3	100%	3	100%
	ロ 官公署	41	41	100%	41	100%
16	その他の	250	212	85%	207	83%
16の2	イ 特定複合用途防火対象物	956	813	85%	784	82%
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	123	93	76%	91	74%
16の3	16の2 地下街	1	1	100%	1	100%
17	16の3 準地下街	-	-	-	-	-
18	17 文化財	14	14	100%	14	100%
18	18 延長50m以上のアーケード	-	-	-	-	-

11 消防同意等の推移

区分 \ 年度	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
消防同意	896 (41)	895 (4)	871 (45)	770 (50)	719 (44)	699 (41)	753 (36)	679 (19)	635 (22)	560 (21)
計画通知	37 (-)	24 (-)	33 (-)	32 (-)	36 (1)	24 (-)	25 (-)	27 (2)	26 (1)	22 (1)

※ ()内は受託町 (内数)

12 民間防火組織等の指導育成状況

保育園、幼稚園、学校、事業所等に対し、消火・通報・避難訓練の実施に立ち会い、訓練指導を実施しています。

区分 \ 年度	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
実施対象数	86	154	215	220	211
実施人数	7,161	15,410	19,192	20,836	16,649

13 自主防災組織の結成状況

自主防災組織は、水害、地震等の災害から地域を守るため、自治会が主体となり自主的に結成された組織です。平常時は防火防災知識の習得や訓練を実施し、災害時には地域が一体となって、人命や財産等の被害の軽減にあたります。

令和8年4月1日現在、780組織が結成されています。

全自治会数は924で、複数の自治会が合同で結成している地域もあり結成率は100%です。

(令和8年4月1日現在)

署別	地区	結成組織数	結成自治会数	
合計	72	780	924	
小計	20	275	291	
姫路東消防署	城東	23	23	
	城東	26	26	
	城巽	23	31	
	城南	18	18	
	野里	26	29	
	城北	17	17	
	城乾	8	8	
	広峰	12	12	
	水上	12	12	
	増位	12	12	
姫路西消防署	花田	9	9	
	別所	9	9	
	御国野	6	6	
	四郷	11	11	
	谷内	9	9	
	谷外	11	11	
	砥堀	5	5	
	豊富	22	27	
	山田	7	7	
	船津	9	9	
小計	18	236	238	
姫路西消防署	船場	38	38	
	城西	32	32	
	安室	5	5	
	安室東	7	7	
	高岡	17	17	
	高岡西	14	14	
	荒川	15	15	
	手柄	9	9	
	城陽	15	15	
	曾左	18	18	
姫路西消防署	白鳥	10	10	
	青山	10	10	
	峰相	6	6	
	太市	8	8	
	林田	14	14	
	伊勢	1	3	
	安富南	13	13	
	安富北	4	4	
	小計	16	131	239
	飾磨消防署	高浜	14	14
飾磨橋東		10	10	
飾磨橋西		10	10	
津田		4	4	
英賀保		20	20	
広畑		11	11	
広畑第二		13	13	
八幡		23	23	
妻鹿		1	17	
白浜		3	38	
網干消防署	八木	1	10	
	糸引	1	6	
	的形	12	12	
	大塩	4	4	
	家島	3	31	
	坊勢	1	16	
	小計	8	55	72
	中播消防署	大津	6	6
		南大津	5	5
		大津茂	11	13
網干		5	17	
網干西		4	7	
旭陽		10	10	
勝原		10	10	
余部		4	4	
小計		10	83	84
中播消防署		置塩	10	11
	古知	6	6	
	前之庄	9	9	
	山之内	8	8	
	菅生	15	15	
	上菅	6	6	
	筋野	4	4	
	中寺	11	11	
	香呂	10	10	
	香呂南	4	4	
全自治会数 924 (結成率 100%)				

《自主防災組織の訓練回数の推移》

地域で行う防災訓練は、自主防災組織における活用の中心のひとつです。自主防災組織が適正に活動できるよう消火、避難通報、器具取扱、応急手当訓練指導をはじめ、講習会、映画会、施設見学会の研修を積極的に進めています。

(令和8年3月末)

年度	対象数	参加人員	訓 練										研 修		その他
			消火訓練	消火栓取扱訓練	避難訓練	救出訓練	応急処置訓練	情報連絡訓練	心肺蘇生法	炊出し訓練	避難所運営訓練	災害図上訓練	防災ビデオ映画会	防災講習	
令和3年	524	8,294	161	49	112	1	68	14	85	80	111	80	42	56	135
			4,270	2,486	2,448	11	1,478	230	1,649	1,401	972	346	563	725	813
令和4年	654	15,750	246	80	384	98	108	2	197	204	298	24	47	133	198
			8,806	4,343	8,990	2,560	2,102	280	4,285	3,773	2,603	160	1,120	3,771	3,484
令和5年	753	21,560	127	91	54	8	27	6	60	39	13	2	18	25	45
			13,006	6,711	9,874	1,535	4,405	1375	7,050	5,098	2,639	75	1,389	3,326	6,595
令和6年	730	20,683	380	191	337	39	97	22	217	219	162	8	87	262	199
			12,067	7,325	9,385	1,130	2,887	1760	5,229	6,926	3,106	54	1,118	4,250	5,968
令和7年	662	22,245	368	119	309	38	135	57	262	243	165	25	58	168	131
			13,041	6,793	10,033	1,131	3,615	2128	8,646	6,599	3,854	200	873	4,329	3,661

※訓練、研修及びその他欄について、年度毎の上段は延べ実施回数、下段は延べ参加人数。

危 險 物

1 危険物事務の処理状況

(令和7年度)

区 分	製 造 所 等				
	合 計	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所	
合 計	2,095	360	679	1,056	
許可	19	1	14	4	
設置変更	369	81	94	194	
検査	設置完了	48	1	27	20
	変更完了	319	70	70	179
	保安	-	-	-	-
届出	保安監督者	325	13	189	123
	品名数量	80	19	45	16
	廃止	48	-	35	13
	その他	523	93	140	290
認可	予防程制変更	-	-	-	-
	規格	43	3	4	36
仮使用承認	321	79	61	181	

2 完成検査前検査の状況

(令和7年度)

水圧検査	6	基礎・地盤	-
水張検査	53	溶接部	2

3 仮貯蔵・仮取扱承認件数の状況

(令和7年度)

仮貯蔵	268	仮取扱	39
-----	-----	-----	----

4 危険物施設の状況

(令和7年度)

署別 施設区分	合 計	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾磨 消防署	網干 消防署	中播 消防署	
合 計	2,092	274	242	758	476	342	(282)
製 造 所	45	1	3	4	29	8	(8)
屋 内 貯 蔵 所	328	69	52	96	51	60	(51)
屋外タンク貯蔵所	476	10	23	189	190	64	(61)
屋内タンク貯蔵所	20	3	3	8	5	1	(1)
地下タンク貯蔵所	212	46	37	52	15	62	(50)
簡易タンク貯蔵所	3	-	-	1	-	2	(-)
移動タンク貯蔵所	304	44	30	137	62	31	(19)
屋 外 貯 蔵 所	56	5	15	12	8	16	(16)
給油取扱所	278	63	39	95	29	52	(36)
販売取扱所	17	5	11	1	-	-	(-)
移送取扱所	7	-	-	3	4	-	(-)
一 般 取 扱 所	346	28	29	160	83	46	(40)

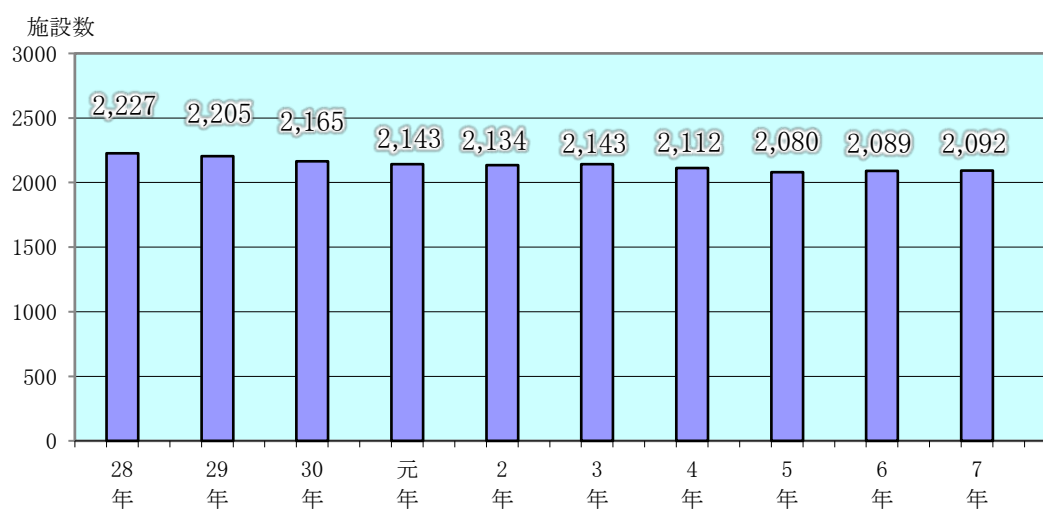
※ ()内は受託町(内数)

5 危険物施設の推移

(令和7年度)

年度 署別	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
姫路東消防署	292	289	289	281	280	284	280	275	287	274
姫路西消防署	262	250	243	243	248	257	256	253	245	242
飾磨消防署	797	793	779	765	757	748	735	720	733	758
網干消防署	508	510	498	504	504	504	497	490	486	476
中播消防署	368 (314)	363 (307)	356 (305)	350 (299)	345 (296)	350 (297)	344 (291)	342 (285)	338 (282)	342 (282)
合計	2,227 (314)	2,205 (307)	2,165 (305)	2,143 (299)	2,134 (296)	2,143 (297)	2,112 (291)	2,080 (285)	2,089 (282)	2,092 (282)

※ ()内は受託町(内数)



6 危険物施設立入検査実施状況

(令和7年度)

区分	立入検査計画数	立入検査施設数
合計	1,319	1,367
製造所	45	41
屋内貯蔵所	176	190
屋外タンク貯蔵所	347	393
屋内タンク貯蔵所	16	14
地下タンク貯蔵所	116	119
簡易タンク貯蔵所	2	2
移動タンク貯蔵所	96	113
屋外貯蔵所	36	44
給油取扱所	182	164
販売取扱所	8	10
移送取扱所	7	7
一般取扱所	288	270

実施率	103.6%
-----	--------

7 特定・準特定屋外タンクの容量別・品名別状況

(令和7年度)

容量	品名	合計	原油	ナフサ	ガソリン	灯油	軽油	重油	アルコール類	その他
合計		97	-	-	3	2	2	5	7	78
準特定屋外タンク	計	53	-	-	1	1	-	4	2	45
	500kL以上 1,000kL未満	53	-	-	1	1	-	4	2	45
特定屋外タンク	計	44	-	-	2	1	2	1	5	33
	1,000kL以上 5,000kL未満	36	-	-	2	1	2	1	2	28
	5,000kL以上 10,000kL未満	6	-	-	-	-	-	-	1	5
	10,000kL以上 50,000kL未満	2	-	-	-	-	-	-	2	-
	50,000kL以上 70,000kL未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-

8 特定事業所の危険物等貯蔵取扱量の状況

(令和7年度)

区分	石油の貯蔵取扱量	高压ガスの処理量	第4類危険物(石油以外)貯蔵取扱量	第4類以外危険物貯蔵取扱量
	(kL)	(Nm ³)	(kL)	(t・kL)
合計	255,473	92,723,136	117,529	5,062
第1種事業所	235,698	91,981,421	25,941	5,050
第2種事業所	19,775	741,715	91,588	12

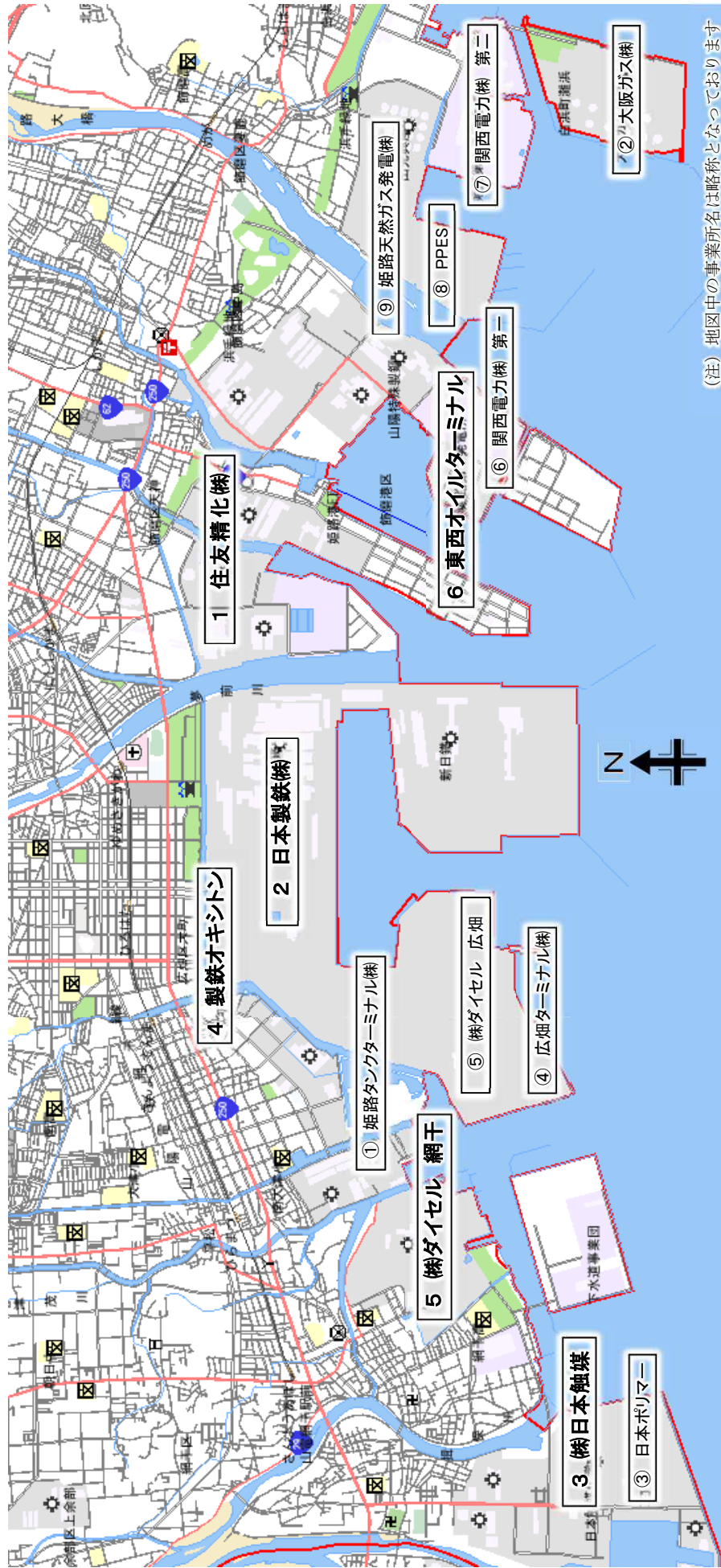
区分	可燃性固体等		高压ガス以外の可燃性ガス	毒物		劇物	
	固体(t)	液体(m ³)		石災法(t)	毒劇法(t)	石災法(t)	毒劇法(t)
			(Nm ³)				
合計	23,750	681	64,745,041	7	270	3,608	102,801
第1種事業所	23,663	580	670,170	7	269	61	32,688
第2種事業所	87	101	64,074,871	-	1	3,547	70,113

9 特定事業所の危険物施設の状況

(令和7年度)

区分	合計	第1種事業所	第2種事業所
合計	517	402	115
製造所	31	28	3
屋内貯蔵所	53	38	15
屋外タンク貯蔵所	266	207	59
屋内タンク貯蔵所	4	-	4
地下タンク貯蔵所	1	1	-
簡易タンク貯蔵所	-	-	-
移動タンク貯蔵所	-	-	-
屋外貯蔵所	8	5	3
給油取扱所	10	10	-
販売取扱所	-	-	-
移送取扱所	7	3	4
一般取扱所	137	110	27

10 姫路臨海地区特別防災区域の現況(令和8年4月1日現在)



特定事業所名

第1種事業所	
1	住友精化(株)姫路工場
2	日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所広畑地区
3	(株)日本触媒(株)姫路製造所
4	製鉄オキシル(株)広畑工場
5	(株)ダイセル(株)姫路製造所網干工場
6	(株)東西オイルターミナル(株)姫路油槽所
レイアウト規制事業所	
その他	

第2種事業所	
①	姫路ターミナル(株)姫路製造所
②	大阪ガス(株)姫路工場
③	住友精化(株)姫路工場
④	製鉄オキシル(株)広畑工場
⑤	(株)ダイセル(株)姫路製造所
⑥	(株)東西オイルターミナル(株)姫路製造所
⑦	(株)関西電力(株)第一
⑧	(株)関西電力(株)第二
⑨	姫路天然ガス発電(株)姫路天然ガス発電所

11 危険物防災体制の推進状況

名 称	設置年月日	推 進 事 項 等
姫路化学消火薬剤 共同備蓄事業会	昭和43年 4月 9日	油火災等特殊災害に備え、多量の消火薬剤が迅速に集中できるよう、関係23事業所が共同して薬剤を備蓄し、有事に対処できる体制を確保しています。
災 害 防 止 協 定	昭和50年10月 6日	事業所の防災体制の整備促進、大規模災害の予防及び拡大防止、地域住民の安全確保を目的として、姫路市と関係事業所とが個別に協定を締結、防災体制の確立を期しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・関西電力(株)〔姫路第一・姫路第二〕 ・住友精化(株)姫路工場 ・日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所 広畑地区 ・(株)ダイセル 姫路製造所網干工場 ・(株)ダイセル 姫路製造所広畑工場 ・(株)日本触媒姫路製造所
L N G 基地建設に 伴う災害防止協定	昭和51年10月 4日 昭和55年12月17日	姫路液化天然ガス基地の建設及び操業するにあたり、災害の発生及び拡大を防止するため、姫路市と基地事業所が災害防止協定を締結しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・関西電力(株) ・大阪ガス(株)
姫 路 臨 海 地 区 防 災 協 議 会	昭和52年 4月 1日	姫路臨海地区特別防災区域に係る保安、防災に関し協議、連絡、研究等を行い、災害の発生及び拡大の防止を図るため、15 特定事業所が加入、有事に対処しています。
特 定 事 業 所 間 の 相 互 応 援 協 定	昭和52年 4月 1日	特定防災区域内に所在する15事業所で、消防業務等相互応援に関し協定を締結、消防連絡会議等によって協力体制を確立しています。
大 阪 湾 ・ 播 磨 灘 排 出 油 等 防 除 協 議 会	平成16年 4月 1日	大阪湾・播磨灘において大量の油が排出した場合の防除活動に必要な事項を協議し、かつ、その実施を推進することを目的として設立され加入しています。

消 防 団

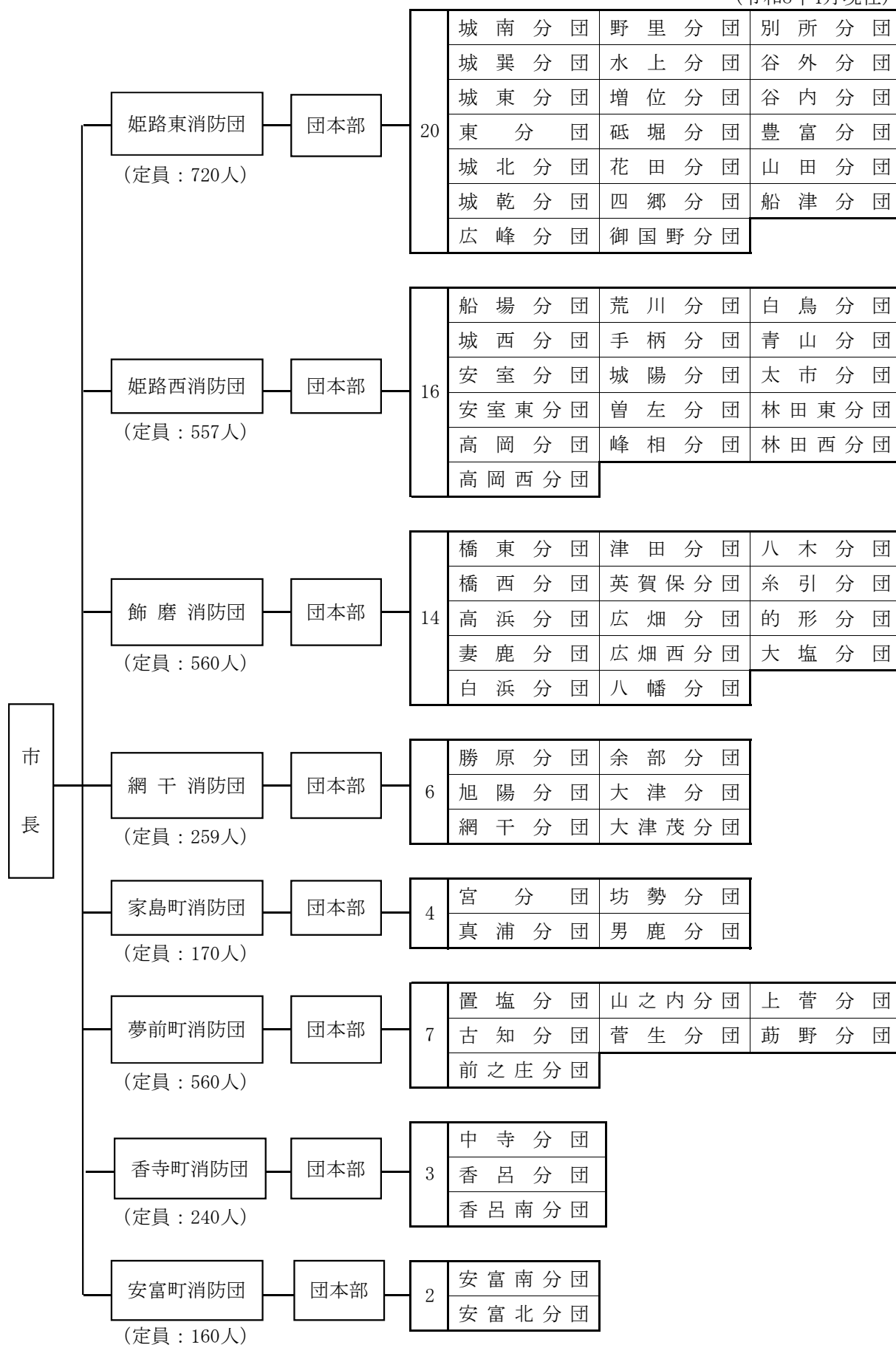
1 消防団の沿革

- 明治17年 3月 ・船場本徳寺に私設寺消防組が発足した。人員80人
28年 1月 ・消防組規則【明治27年2月勅令第15号】公布により、私設寺消防をそのまま移管、公設姫路消防組として発足した。
- 45年 4月 ・飾磨郡国衛村（京口付近）及び市殿村（京口付近）の各一部が編入、5部制とした。
- 大正14年 4月 ・飾磨郡城北村の合併により、7部制とした。
- 昭和 8年 1月 ・姫路消防組常備部を設置した。
8年 4月 ・飾磨郡水上村、神崎郡砥堀村の合併により、それぞれ組制とした。
10年10月 ・飾磨郡城南村、同高岡村の合併により、それぞれ組制とした。
11年 4月 ・飾磨郡安室村、同荒川村、同手柄村の合併により、それぞれ消防組を設け9組とした。
- 14年 4月 ・警防団令【昭和14年1月勅令第20号】公布に伴い、消防組と自治防護団が合併、警防団と改称、組制を廃止して分団制とし、13分団を設け、姫路市本町85番地、姫路警察署内に警防団本部を設置した。
- 21年 3月 ・飾磨市、飾磨郡白浜町、同広畑町、揖保郡網干町、同大津町、同勝原町、同余部村が合併、警防団を7団制とした。
- 22年10月 ・消防団令【昭和22年5月勅令第185号】公布に伴い、旧市内警防団と上記1市5町1村の合併地域の消防団を改編改組した。1市1団制とし、姫路市消防団と改め、旧市に15分団、旧飾磨市に7分団、旧網干町に3分団、旧白浜町、旧勝原町、旧余部村に各1分団を設け、計29分団、団員3,345人の県下最大の消防団とした。
- 23年 3月 ・消防団令により警察署長の管轄から、消防長又は消防署長の所轄の下に行動することとなり、団本部を消防本部内に移転した。
- 23年 7月 ・消防組織法の一部改正（昭和23年法令第187号）により、消防団は同法に根拠をおき、消防団令は廃止された。
- 25年 7月 ・消防委員会で審議の結果、3,345人の団員を2,000人に減員した。
- 25年 9月 ・水防法の公布により、洪水、高潮等の水害から住民を守るため、消防団をもって当たることとし、第1回水防訓練を実施、以後毎年水防訓練を実施することにした。
- 26年 4月 ・広畑分団から八幡分団が分離、30分団、団員数2,000人とした。
- 29年 7月 ・飾磨郡八木村、同糸引村、同余部村、同曾左村、揖保郡太市村の合併に伴い、5分団480人を加え、35分団、団員数2,480人とした。
- 32年10月 ・飾磨郡四郷村、同花田村、同御国野村、印南郡別所村の合併に伴い、4分団355人を加え、39分団、団員数2,835人とした。
- 33年 1月 ・飾磨郡飾東村、印南郡的形村、神崎郡神南村の合併に伴い、飾東、豊富、山田、船津、的形の5分団435人を加え、44分団、団員数3,270人とした。
- 34年 4月 ・印南郡大塩村の合併に伴い、1分団100人を加え、45分団、団員数3,370人とした。
- 40年 4月 ・消防団事務を消防局に移管し、姫路東、姫路西、飾磨、網干の支部制を設けた。
- 42年 3月 ・揖保郡林田町の合併に伴い、林田東120人、林田西120人の2分団を加え、47分団、団員数3,610人とした。
- 44年 4月 ・従来の1市1団制を1市4団【姫路東消防団、姫路西消防団、飾磨消防団、網干消防団】制とし、広畑分団から広畑西分団を分離して、48分団、団員数3,610人とした。
- 45年 6月 ・飾東分団を谷内分団、谷外分団に分割、49分団、団員数3,610人とした。
・団本部の定員【団長1・副団長2・分団長1・部長2】を定めた。
- 48年 9月 ・城北分団から広峰分団を分離して、50分団、団員数3,610人とした。
- 49年 4月 ・港分団を橋西分団に吸収して、49分団、団員数3,610人とした。
- 50年 4月 ・飾西分団を名称変更、白鳥分団に改めた。
- 51年 4月 ・姫路市消防審議会条例を制定し、消防審議会を設置した。

- 昭和51年 5月 ・「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置は如何にあるべきか」について諮問した。
- 52年 2月 ・「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置」に関して、姫路市消防審議会から答申された。
- 53年 4月 ・姫路市消防審議会から答申に基づき姫路市消防団適正化実施計画により、消防団条例及び同規則を改正し、組織、団員報酬等及び施設整備を整備することにした。
- 54年 4月 ・上記に基づき消防団定員3,610人を3,251人とした。
- 55年 4月 ・安室分団から安室東分団を分離して、50分団、団員数3,251人とした。
- 56年 6月 ・姫路西消防署の新設に伴い、姫路西消防団本部を同署内に移転した。
- 60年 6月 ・姫路市消防審議会から答申に基づき姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員3,251人から2,096人を目標に3年間で減員することにした。
- 60年 9月 ・消防団員教育の指針を示すため、姫路市消防団員教育訓練実施要綱を定めた。
- 60年10月 ・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員3,251人から2,870人とした。
- 61年10月 ・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員2,870人から2,486人とした。
- 62年10月 ・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員2,486人から2,096人とした。
- 平成 5年 4月 ・姫路市消防団適正化実施計画を一部改正し、定数、施設、装備等の見直しをすることにした。
- 7年 4月 ・網干消防団に大津茂分団を新設して、51分団、団員数2,096人とした。
- 8年 4月 ・姫路西消防団に高岡西分団を新設して、52分団、団員数2,096人とした。
- 9年 7月 ・消防団員福祉共済制度に加入した。(消防団員全員)
- 10年 4月 ・姫路西消防団に峰相分団、青山分団を新設して、54分団、団員数2,096人とした。
- 11年 6月 ・姫路市消防団活性化研究会要綱を制定し、消防団活性化研究会を設置した。
- 12年12月 ・姫路市消防団活性化推進研究会要綱を制定し、消防団活性化推進研究会を設置した。
- 13年 4月 ・姫路東消防団に増位分団を新設して、55分団、団員数2,096人とした。
- 14年 4月 ・姫路市消防団条例を改正し、消防団員の定年を定めた。
- 16年 4月 ・姫路東消防団に城乾分団を新設して、56分団、団員数2,096人とした。
- 18年 3月 ・家島町、夢前町、香寺町、安富町の合併に伴い、4団80分団1,742人を加え、8団136分団3,838人とした。
- 19年 9月 ・姫路市消防団協力事業所表示制度交付要綱を制定した。
- 20年 4月 ・夢前町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団104分団、団員数3,598人とした。
- 22年 4月 ・安富町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団91分団、団員数3,506人とした。
- 23年 4月 ・香寺町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団72分団、団員3,226人とした。
- 24年 2月 ・姫路市消防団規則を改正し、姫路東消防団、姫路西消防団、飾磨消防団の団本部及び分団の一部の階級別定員を改めた。
- 24年 3月 ・姫路市の消防団制度の中で、初めて女性消防団員を採用した。(姫路東消防団5人、姫路西消防団5人、飾磨消防団5人)
- 28年 3月 ・姫路市消防団条例を改正し、消防団員の入団年齢と定年年齢を引き上げた。
- 29年 3月 ・姫路市消防団条例を改正し、市内在勤者の入団制度、休団制度等を設けた。
- 令和 4年 4月 ・姫路市消防団条例を改正し、年額の報酬を見直し、新たに災害出動報酬を支給することとした。
- 5年 4月 ・姫路市消防団条例を改正し、災害出動手当を引き上げた。
- 6年 4月 ・姫路市消防団条例を改正し、家島町消防団の報酬を見直した。

2 消防団の組織

(令和8年4月現在)



3 階級別の定員 (8団72分団)

(令和8年4月現在)

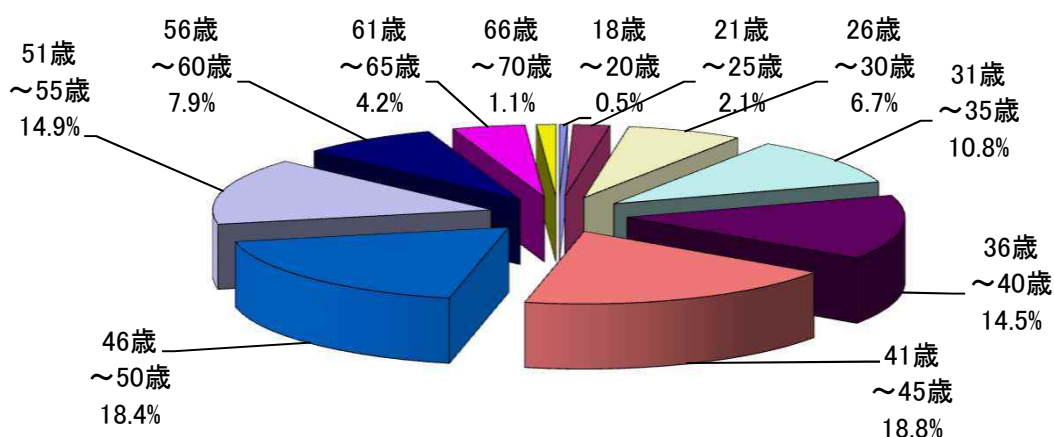
階級 分団名	合計	団	副	分	副	部	班	団	
		長	長	団	分	長	長	員	
合計	3,226	8	16	88	72	146	697	2,199	
姫路東消防団	小計	720	1	2	22	20	40	172	463
	団本部	10	1	2	2	—	—	—	5
	城南	12	—	—	1	1	2	3	5
	城巽	13	—	—	1	1	2	3	6
	城東	26	—	—	1	1	2	7	15
	東	30	—	—	1	1	2	7	19
	城北	18	—	—	1	1	2	4	10
	城乾	19	—	—	1	1	2	4	11
	広峰	20	—	—	1	1	2	5	11
	野里	23	—	—	1	1	2	7	12
	水上	26	—	—	1	1	2	6	16
	増位	17	—	—	1	1	2	4	9
	砥堀	42	—	—	1	1	2	10	28
	花田	64	—	—	1	1	2	15	45
	四郷	76	—	—	1	1	2	18	54
	御国野	40	—	—	1	1	2	10	26
	別所	46	—	—	1	1	2	11	31
	谷内	31	—	—	1	1	2	8	19
	谷外	37	—	—	1	1	2	9	24
	豊富	66	—	—	1	1	2	16	46
山田	46	—	—	1	1	2	11	31	
船津	58	—	—	1	1	2	14	40	
姫路西消防団	小計	557	1	2	18	16	32	139	349
	団本部	10	1	2	2	—	—	—	5
	船場	26	—	—	1	1	2	6	16
	城西	27	—	—	1	1	2	7	16
	安室	27	—	—	1	1	2	7	16
	安室東	27	—	—	1	1	2	7	16
	高岡	27	—	—	1	1	2	7	16
	高岡西	26	—	—	1	1	2	7	15
	荒川	38	—	—	1	1	2	10	24
	手柄	39	—	—	1	1	2	10	25
	城陽	39	—	—	1	1	2	10	25
	曾左	44	—	—	1	1	2	11	29
	峰相	32	—	—	1	1	2	8	20
	白鳥	27	—	—	1	1	2	7	16
	青山	27	—	—	1	1	2	7	16
	太市	45	—	—	1	1	2	11	30
	林田東	49	—	—	1	1	2	12	33
林田西	47	—	—	1	1	2	12	31	

階級 分団名	合計	団	副	分	副	部	班	団
		長	長	団	分	長	長	員
小計	560	1	2	16	14	28	135	364
団本部	10	1	2	2	—	—	—	5
橋東	40	—	—	1	1	2	10	26
橋西	38	—	—	1	1	2	10	25
高浜	39	—	—	1	1	2	9	26
妻鹿	39	—	—	1	1	2	9	25
白浜	40	—	—	1	1	2	10	26
津田	40	—	—	1	1	2	10	26
英賀保	40	—	—	1	1	2	10	26
広畑	39	—	—	1	1	2	9	26
広畑西	37	—	—	1	1	2	9	24
八幡	40	—	—	1	1	2	10	26
八木	39	—	—	1	1	2	9	26
糸引	40	—	—	1	1	2	10	26
的形	39	—	—	1	1	2	10	25
大塩	40	—	—	1	1	2	10	26
小計	259	1	2	8	6	14	64	164
団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
勝原	45	—	—	1	1	2	12	29
旭陽	51	—	—	1	1	2	13	34
網干	43	—	—	1	1	3	11	27
余部	38	—	—	1	1	2	10	24
大津	49	—	—	1	1	3	12	32
大津茂	28	—	—	1	1	2	6	18
小計	170	1	2	6	4	8	38	111
団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
宮	40	—	—	1	1	2	9	27
真浦	55	—	—	1	1	2	13	38
坊勢	55	—	—	1	1	2	13	38
男鹿	15	—	—	1	1	2	3	8
小計	560	1	2	9	7	14	74	453
団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
置塩	74	—	—	1	1	2	11	59
古知	73	—	—	1	1	2	6	63
前之庄	117	—	—	1	1	2	8	105
山之内	45	—	—	1	1	2	8	33
菅生	100	—	—	1	1	2	19	77
上菅	73	—	—	1	1	2	14	55
筋野	73	—	—	1	1	2	8	61
小計	240	1	2	5	3	6	55	168
団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
中寺	95	—	—	1	1	2	22	69
香呂	100	—	—	1	1	2	25	71
香呂南	40	—	—	1	1	2	8	28
小計	160	1	2	4	2	4	20	127
団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
安富南	115	—	—	1	1	2	15	96
安富北	40	—	—	1	1	2	5	31

4 年齢別団員数

(令和8年4月現在)

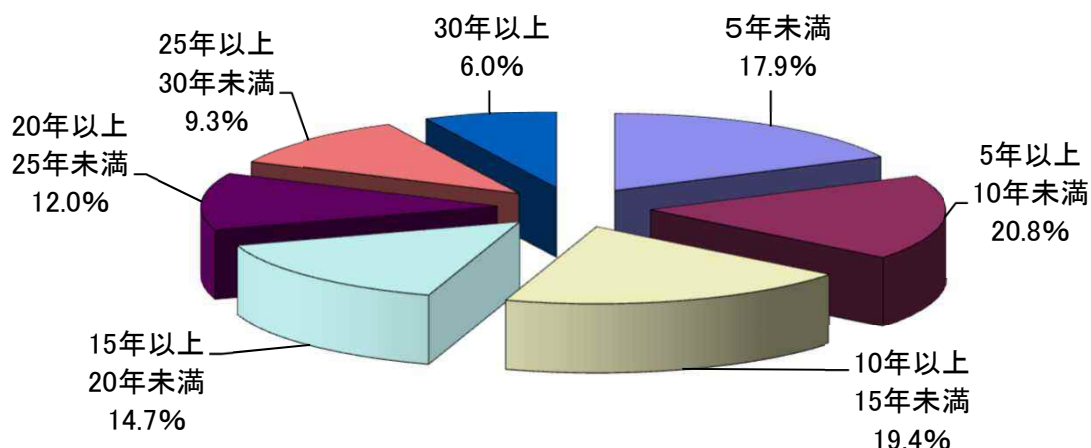
年 齢	合 計	18歳	21歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳	51歳	56歳	61歳	66歳
		20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳
合 計	2,777	13	59	187	299	402	523	511	415	220	117	31
姫路東消防団	632	3	9	48	63	85	101	107	100	67	38	11
姫路西消防団	512	1	10	18	33	40	83	110	107	64	38	8
飾 磨消防団	528	-	4	21	61	83	97	76	99	59	22	6
網 干消防団	256	1	5	30	31	45	52	35	26	19	9	3
家島町消防団	137	-	5	12	23	19	21	31	15	5	5	1
夢前町消防団	400	4	5	15	46	68	103	104	47	4	3	1
香寺町消防団	229	3	14	37	35	50	45	24	16	2	2	1
安富町消防団	83	1	7	6	7	12	21	24	5	-	-	-



5 在職年数別団員数

(令和8年4月現在)

年 数	合 計	5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
		10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満		
合 計	2,777	494	496	536	418	333	298	202
姫路東消防団	632	155	122	103	91	64	51	46
姫路西消防団	512	79	90	106	74	67	51	45
飾 磨消防団	528	89	93	102	66	68	59	51
網 干消防団	256	62	59	53	31	21	21	9
家島町消防団	137	11	19	17	29	13	27	21
夢前町消防団	400	31	50	85	72	70	73	19
香寺町消防団	229	51	53	50	45	18	7	5
安富町消防団	83	16	10	20	10	12	9	6



6 報酬及び出動手当

消防団員の報酬及び出動手当は、「姫路市消防団条例」に基づき支給しています。

報酬 (年額)	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
姫路市消防団 (家島町除く)	88,400円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	37,000円	36,500円
姫路市家島町消防団	154,000円	126,400円	126,400円	75,000円	75,000円	75,000円	75,000円
出動手当	水 火 災 出 動 1 人 1 回 4,000円を支給 (家島町消防団は、6,000円) (7時間45分を超える場合、8,000円) 巡 回 広 報 1 人 1 回 1,000円を支給 年 末 警 戒 業 務 1 人 1 回 2,000円を支給 訓 練 1 人 1 回 1,000円を支給 (出初式・水防訓練等)						

7 公務災害補償等の発生状況の推移

消防団員等が公務により死亡し、又は負傷した場合、「姫路市消防団員等公務災害補償条例」により損害補償費を支給しています。

年度 区分	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		区分	受給者(人)
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員		
合計	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	合計	2		
消火活動中	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	遺族補償年	1		
出動途中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害補償年	1		
訓練中	2	2	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	1		
その他	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

8 退職報償金の支給状況の推移

一定年数以上勤務した消防団員に対して、「姫路市消防団員退職報償金支給条例」に基づき退職報償金を支給しています。

年度 区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
支給対象人員	133	123	98	156	121	221	100	143	124	119
(総退職者数)	(153)	(142)	(109)	(198)	(129)	(250)	(114)	(157)	(139)	(128)
支給金額(千円)	49,207	45,042	35,084	58,443	42,935	77,364	41,386	64,326	49,078	50,722

9 団員表彰の推移

消防団及び消防団員に対する表彰は、叙位、叙勲、褒章をはじめ、消防庁長官、県知事、市長及び団長の行う各種表彰のほか、日本消防協会長及び兵庫県消防協会長の行う各種の表彰制度が確立されています。(カッコ内数字は団体表彰数)

年度 区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
叙位・叙勲・褒章等	7	4	2	4	6	4	4	5	5	4
消防庁長官表彰	(1)4	4	5	5	4	4	4	4	4	4
兵庫県知事表彰	(1)21	(1)21	24	21	26	28	29	30	32	31
日本消防協会長表彰	20	(1)19	(1)32	(1)32	36	36	35	(1)46	(1)39	46
兵庫県消防協会長表彰	105	(1)96	103	117	(1)112	(1)161	(2)123	(1)127	123	132
市長表彰	(4)71	(4)71	(4)85	(4)76	(4)92	(4)100	(4)89	(4)118	(5)90	(4)98
団長表彰	(13)207	(13)207	(20)207	(13)207	(10)207	(6)207	(18)207	(19)207	(20)206	(22)207

10 教養訓練の実施状況の推移

区分	年度	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
新入団員教養		177	162	147	138	146	246	122	230	236	216
幹部教養		72	72	72	72	-	36	69	67	64	71
県消防学校 (指揮幹部科)		16	16	14	16	8	-	16	16	16	15
局(署)合同訓練		2,467	2,693	3,164	2,465	145	713	1,258	3,074	2,029	2,212

11 分団詰所(車庫)及び消防ポンプ自動車の整備状況

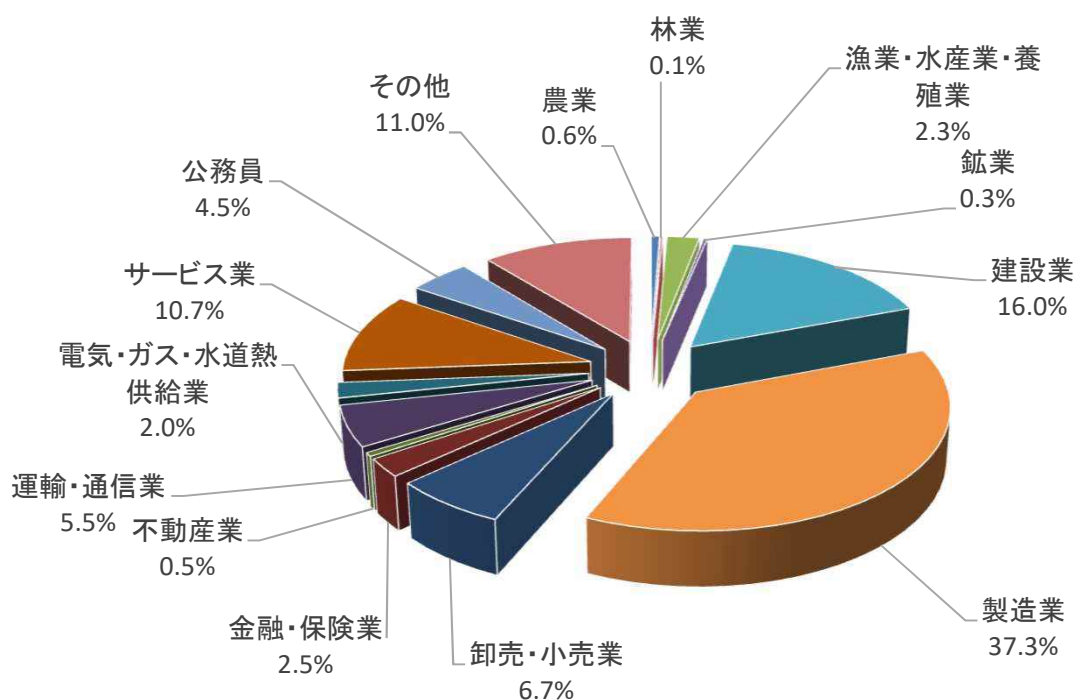
分団詰所(車庫)については、老朽化等を考慮し、計画的に改修や更新を進めています。
ポンプ自動車等については、耐用年数等を定め、計画的に更新しています。

区分 年度	分団詰所(車庫)	消防ポンプ自動車
S58年	—	3台(豊富・太市・八幡)
S59年	1箇所(野里)	2台(船津・橋東)
S60年	3箇所(東・山田・船津)	2台(妻鹿・的形)
S61年	3箇所(城南・四郷・大塩)	3台(砥堀・山田・大塩)
S62年	2箇所(勝原・大津)	2台(橋西・広畑)
S63年	5箇所(城東・野里・水上・別所・白浜) 野里については更新	3台(水上・四郷・手柄)
H元年	1箇所(御国野)	4台(御国野・別所・高浜・八木)
H2年	1箇所(林田東)更新	3台(東・城北・広畑西)
H3年	3箇所(高浜・城北・大津) 大津については更新	3台(花田・船場・英賀保)
H4年	2箇所(城巽・高岡)	2台(野里・余部)
H5年	—	6台(城巽・城南・城東・城西・林田東・勝原)
H6年	2箇所(安室・大津茂)	7台(広峰・安室・城陽・白鳥・林田西・大津・大津茂)
H7年	3箇所(花田・砥堀・高岡西)	6台(谷内・谷外・安室東・高岡西・糸引・旭陽)
H8年	2箇所(城西・橋東)	3台(高岡・荒川・曾左)
H9年	2箇所(青山・峰相)	5台(網干・白浜・津田・青山・峰相)
H10年	2箇所(荒川・妻鹿)	3台(豊富・太市・八幡)
H11年	2箇所(英賀保・広畑)	2台(船津・橋東)
H12年	2箇所(増位・余部)	3台(増位・妻鹿・的形)
H13年	2箇所(手柄・津田)	3台(砥堀・山田・大塩)
H14年	2箇所(橋西・網干)	2台(橋西・広畑)
H15年	2箇所(城乾・曾左)	4台(城乾・水上・四郷・手柄)
H16年	1箇所(船場)	4台(御国野・別所・高浜・八木)
H17年	1箇所(白鳥)	3台(東・城北・広畑西)
H18年	—	6台(花田・船場・英賀保・野里・余部・宮)
H19年	3箇所(前之庄・山之内・蒔野)	8台(城南・城巽・城東・城西・林田東・前之庄・山之内・蒔野)
H20年	3箇所(置塩・古知・上菅)	7台(広峰・勝原・大津・大津茂・置塩・古知・上菅)
H21年	3箇所(菅生・安富北・安富南)	8台(安室・白鳥・城陽・林田西・旭陽・菅生・安富南・安富北)
H22年	3箇所(中寺・香呂・香呂南)	8台(谷内・谷外・安室東・高岡西・糸引・中寺・香呂・香呂南)
H23年	—	3台(高岡・荒川・曾左)
H24年	—	5台(峰相・青山・白浜・津田・網干)
H25年	3箇所(糸引・勝原・坊勢カヌラ車庫) 勝原は小学校用地拡張のため新築移転	3台(豊富・太市・八幡)、軽2台(宮・真浦)
H26年	—	軽3台(宮・真浦・坊勢)
H27年	—	軽3台(宮・真浦・坊勢)
H28年	—	軽3台(宮・真浦・坊勢)
H29年	—	2台(船津・橋東)、軽2台(宮・坊勢)
H30年	1箇所(八木)	3台(増位・妻鹿・的形)、軽1台(真浦)
R元年	1箇所(大塩)	3台(砥堀・山田・大塩)
R 2年	1箇所(荒川)	2台(橋西・広畑)
R 3年	—	4台(城乾・水上・四郷・手柄)
R 4年	1箇所(的形)	5台(御国野・別所・高浜・八木・真浦)、軽1台(坊勢)
R 5年	3箇所(広峰・安室東・林田西)	軽1台(男鹿)
R 6年	2箇所(谷外・旭陽)	4台(東・城北・広畑西・坊勢)
R 7年	2箇所(谷内・太市)	6台(野里・花田・船場・英賀保・余部・宮)

12 団員の職業状況

(令和8年4月現在)

区分	合計	勤務地			
		市内		市外	県外
		分団内	分団外		
合計	2,731	844	1,305	537	45
農業	16	11	3	2	-
林業	4	2	1	1	-
漁業・水産業・養殖業	64	63	1	-	-
鉱業	7	2	5	-	-
建設業	438	213	158	63	4
製造業	1,019	195	536	267	21
卸売・小売業	182	74	86	19	3
金融・保険業	67	13	39	12	3
不動産業	14	8	5	1	-
運輸・通信業	149	31	79	35	4
電気・ガス・水道熱供給業	55	15	25	11	4
サービス業	292	88	154	47	3
公務員	124	18	83	21	2
その他	300	111	130	58	1



13 分団別火災状況

分団	区分	火災 件数	火災種別					焼損面積	
			建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
姫 路 東 消 防 団	城南	3	1	-	-	-	2	-	-
	城巽	5	3	-	-	-	2	-	-
	城東	3	3	-	-	-	-	74.0	-
	東	3	3	-	-	-	-	204.0	-
	城北	-	-	-	-	-	-	-	-
	城乾	-	-	-	-	-	-	-	-
	広峰	2	1	-	-	-	1	1.0	-
	野里	-	-	-	-	-	-	-	-
	水上	3	2	-	-	-	1	85.0	-
	増位	3	2	-	1	-	-	122.0	-
	砥堀	2	1	-	-	-	1	41.0	4.0
	花田	5	3	-	1	-	1	-	-
	四郷	4	-	-	-	-	4	-	1.0
	御国野	2	1	-	-	-	1	115.0	-
	別所	2	1	-	-	-	1	-	-
	谷外	3	-	1	-	-	2	-	2.0
	谷内	3	1	-	-	-	2	418.0	-
	豊富	4	1	-	-	-	3	-	-
	山田	-	-	-	-	-	-	-	-
	船津	-	-	-	-	-	-	-	-
小計		47	23	1	2	-	21	1,060.0	7.0
姫 路 西 消 防 団	船場	2	1	-	-	-	1	180.0	-
	城西	1	1	-	-	-	-	-	-
	安室	2	1	-	1	-	-	2.0	-
	安室東	3	3	-	-	-	-	57.0	-
	高岡	2	1	-	-	-	1	-	-
	高岡西	3	2	-	-	-	1	34.0	-
	荒川	1	1	-	-	-	-	8.0	-
	手柄	1	1	-	-	-	-	103.0	-
	城陽	3	2	-	-	-	1	224.0	-
	曾左	1	-	-	-	-	1	-	-
	峰相	1	-	-	-	-	1	-	-
	白鳥	-	-	-	-	-	-	-	-
	青山	1	1	-	-	-	-	-	-
	太市	5	-	2	2	-	1	-	36.0
林田東	2	1	-	-	-	1	224.0	-	
林田西	-	-	-	-	-	-	-	-	
小計		28	15	2	3	-	8	832.0	36.0

分団	区分	火災 件数	火災種別					焼損面積		
			建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)	
飾 磨 消 防 団	橋東	7	6	-	-	-	1	34.0	-	
	橋西	3	2	-	-	-	1	-	-	
	高浜	-	-	-	-	-	-	-	-	
	妻鹿	2	-	-	-	-	2	-	-	
	白浜	4	1	-	1	-	2	54.0	-	
	津田	2	-	-	-	-	2	-	-	
	英賀保	3	3	-	-	-	-	101.0	-	
	広畑	-	-	-	-	-	-	-	-	
	広畑西	2	1	-	-	-	1	139.0	-	
	八幡	4	2	-	1	-	1	1,977.0	-	
	八木	1	1	-	-	-	-	-	-	
	糸引	1	1	-	-	-	-	4.0	-	
	的形	1	-	-	1	-	-	-	-	
	大塩	2	1	-	1	-	-	-	-	
	小計		32	18	-	4	-	10	2,309.0	-
	網 干 消 防 団	勝原	3	2	-	-	-	1	15.0	-
旭陽		1	-	-	-	-	1	-	-	
網干		11	2	-	-	-	9	-	-	
余部		-	-	-	-	-	-	-	-	
大津		3	-	-	-	-	3	-	-	
大津茂		-	-	-	-	-	-	-	-	
小計			18	4	-	-	-	14	15.0	-
消 家 防 島 町 団	宮	-	-	-	-	-	-	-	-	
	真浦	3	1	-	-	-	2	93.0	-	
	坊勢	2	1	-	-	-	1	-	-	
	男鹿	-	-	-	-	-	-	-	-	
小計		5	2	-	-	-	3	93.0	-	
夢 前 町 消 防 団	置塩	2	2	-	-	-	-	12.0	-	
	古知	2	-	-	-	-	2	-	-	
	前之庄	3	2	-	-	-	1	346.0	-	
	山之内	-	-	-	-	-	-	-	-	
	菅生	3	2	-	-	-	1	200.0	-	
	上菅	-	-	-	-	-	-	-	-	
	筋野	-	-	-	-	-	-	-	-	
小計		10	6	-	-	-	4	558.0	-	
消 香 防 寺 町 団	中寺	-	-	-	-	-	-	-	-	
	香呂	2	1	-	-	-	1	-	-	
	香呂南	1	1	-	-	-	-	112.0	-	
小計		3	2	-	-	-	1	112.0	-	
消 安 防 富 町 団	安富南	1	1	-	-	-	-	37.0	-	
	安富北	-	-	-	-	-	-	-	-	
小計		1	1	-	-	-	-	37.0	-	
合計		144	71	3	9	-	61	5,016.0	43.0	

14 消防団の装備・資機材

消防団員が安全確実に活動を行えるよう、消防団に様々な装備や資機材を配備しています。

新入団時に個人貸与されるもの

- ・ 活動服（冬用、夏用）
- ・ 救助用半長靴
- ・ ヘルメット
- ・ アポロキャップ
- ・ 革手袋
- ・ 耐切創性手袋
- ・ 荒天用活動衣

各分団に配備している資機材

- ・ 水防活動用のライフジャケット（救命胴衣）及びフローティングロープ
- ・ 夜間用活動用の投光器（メタルハライドライト）及び強力ライト
- ・ 応急手当用の救急セット（包帯・ガーゼ等）
- ・ 現場指揮及び広報用の拡声器（トランジスタメガホン）
- ・ 車載無線機、署活系無線機
- ・ A E D
- ・ 防塵メガネ・防塵マスク
- ・ 防火服



投光器



強力ライト



ライフジャケット



拡声器



救急セット



救助用半長靴



防火服

このページは空白です。

各種災害の状況

このページは空白です。

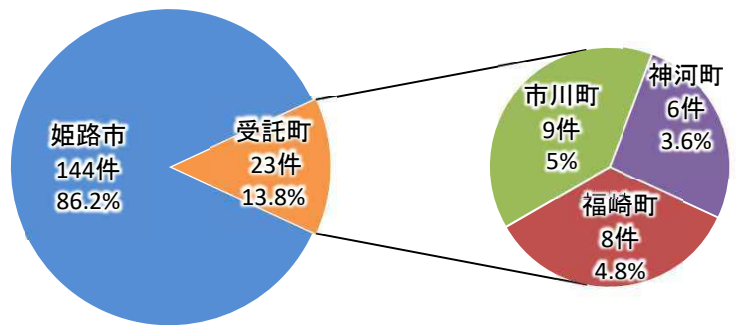
令和7年中の災害の状況

・火災の状況

令和7年中の火災件数は167件で、その内受託町域の火災件数は23件(13.8%)でした。

火災による損害額は4億7,188万円、死者は8人、負傷者は30人、建物焼損面積は5,442.0㎡、林野焼損面積は47a、り災世帯及びり災人員は80世帯・164人でした。

火災種別では、建物火災が82件(49.1%)、林野火災6件(3.5%)、車両火災10件(5.9%)、その他の火災(空地や河川敷の枯草等)69件(41.3%)となっています。

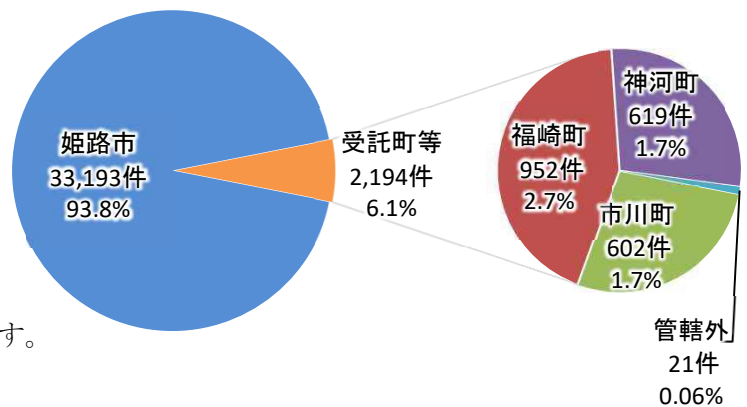


・救急の状況

令和7年中の救急出場件数は35,387件で、その内受託域等の救急出場件数は2,194件(6.2%)でした。一日平均97件、14.9分に1件の割合で出場し、管轄内住民約19人に1人を搬送したことになります。

救急出場件数が最も多いのは、急病で22,754件(64.3%)次いで一般負傷5,626件(15.9%)、転院搬送3,635件(10.3%)となっており、これら3種別だけで全体の90.5%を占めています。

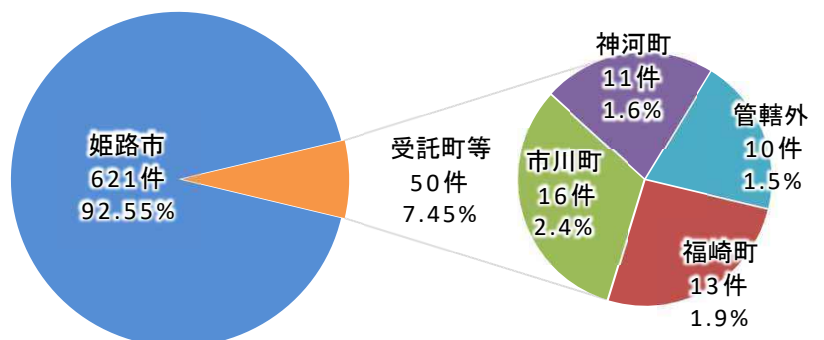
1件あたりの平均所要時間は、指令から現場到着まで7分56秒、現場到着から病院まで32分31秒となっています。



・救助の状況

令和7年中の救助出動件数は671件で、その内受託町域等の救助件数は40件(6%)でした。

救助出動したうち、人命検索を含む救助活動を実施した件数は408件、救助した人員は262人でした。



【火 災】

1 火災状況

火災件数は前年と比較すると9件増加しています。火災種別では林野火災が5件、その他の火災が13件増加しているのに対し、車両火災が7件、船舶火災が2件減少しています。

区 分		単位	姫路市消防局			姫 路 市		
			令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数
火 災 件 数	建 物	件	82	82	-	71	74	▲3
	林 野		6	1	5	3	1	2
	車 両		10	17	▲7	9	16	▲7
	船 舶		-	2	▲2	-	2	▲2
	そ の 他		69	56	13	61	46	15
	合 計		167	158	9	144	139	5
損 害 額	建 物	千円	463,177	329,515	133,662	440,232	309,964	130,268
	林 野		-	-	-	-	-	-
	車 両		7,862	9,753	▲1,891	7,812	9,663	▲1,851
	船 舶		-	245	▲245	-	245	▲245
	そ の 他		841	21,932	▲21,091	835	21,687	▲20,852
	合 計		471,880	361,445	110,435	448,879	341,559	107,320
焼 損 面 積	建 物	m ²	5,442.0	3,266.8	2,175.2	5,016.0	3,003.1	2,012.9
	林 野	a	47.0	4.9	42.1	43.0	2.9	40.1
焼 損 棟 数	全 焼	棟	29	23	6	25	18	7
	半 焼		5	12	▲7	3	11	▲8
	部 分 焼		46	25	21	35	23	12
	ぼ や		42	43	▲1	41	39	2
	合 計		122	103	19	104	91	13
り 災 世 帯	全 損	世帯	12	10	2	11	10	1
	半 損		4	6	▲2	3	6	▲3
	小 損		64	37	27	60	37	23
	合 計		80	53	27	74	53	21
り 災 人 員	全 損	人	22	27	▲5	20	27	▲7
	半 損		11	15	▲4	8	15	▲7
	小 損		131	75	56	122	75	47
	合 計		164	117	47	150	117	33
死 傷 者	死 者	人	8	5	3	7	4	3
	負 重 症		4	4	-	4	3	1
	中 等 症		9	13	▲4	8	13	▲5
	軽 症		17	8	9	15	8	7
	者 (うち30日死者)		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	合 計		38	30	8	34	28	6
管 轄 人 口	人	560,191	563,930	▲3,739	521,074	524,149	▲3,075	
出 火 率	件/万人	3.0	2.8	0.2	2.8	2.7	0.1	
火災1件当たりの損害額	千円	2,826	2,288	538	3,117	2,457	660	
建 物 火 災	損 害 額	千円	5,649	4,018	1,631	6,200	4,189	2,011
	1件当たりの 焼 損 面 積	m ²	66.4	39.8	26.6	70.6	40.6	30.0
林 野 火 災	損 害 額	千円	-	-	-	-	-	-
	1件当たりの 焼 損 面 積	a	7.8	4.9	2.9	14.3	2.9	11.4
住民1人当たりの損害額	円	842	641	201	861	652	209	
1日当たりの火災件数	件	0.46	0.43	0.03	0.39	0.38	0.01	

(注)火災種別が複数にわたった場合の火災件数は、火災報告取扱要領に基づき計上しています。

(注)管轄人口は、統計年の3月31日現在の住民基本台帳人口を記載しています。

区 分		単位	市 川 町			福 崎 町			神 河 町		
			令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数
火 災 件 数	建 物	件	5	1	4	3	7	▲4	3	-	3
	林 野		-	-	-	1	-	1	2	-	2
	車 両		1	1	-	-	-	-	-	-	-
	船 舶		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他		3	1	2	4	6	▲2	1	3	▲2
	合 計		9	3	6	8	13	▲5	6	3	3
損 害 額	建 物	千円	5,736	311	5,425	172	19,240	▲19,068	17,037	-	17,037
	林 野		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車 両		50	90	▲40	-	-	-	-	-	-
	船 舶		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他		1	198	▲197	5	1	4	-	46	▲46
	合 計		5,787	599	5,188	177	19,241	▲19,064	17,037	46	16,991
焼 損 面 積	建 物	m ²	169.0	70.0	99.0	27.0	193.7	▲166.7	230.0	-	230.0
	林 野	a	-	-	-	1.0	-	1.0	3.0	2.0	1.0
焼 損 棟 数	全 焼	棟	1	2	▲1	-	3	▲3	3	-	3
	半 焼		1	-	1	1	1	-	-	-	-
	部 分 焼		4	-	4	2	2	-	5	-	5
	ぼ や		1	2	▲1	-	2	▲2	-	-	-
	合 計		7	4	3	3	8	▲5	8	-	8
り 災 世 帯	全 損	世帯	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	半 損		1	-	1	-	-	-	-	-	-
	小 損		2	-	2	-	-	-	2	-	2
	合 計		3	-	3	-	-	-	3	-	3
り 災 人 員	全 損	人	-	-	-	-	-	-	2	-	2
	半 損		3	-	3	-	-	-	-	-	-
	小 損		5	-	5	-	-	-	4	-	4
	合 計		8	-	8	-	-	-	6	-	6
死 傷 者	死 者	人	-	-	-	1	-	1	-	1	▲1
	負 重 症		-	-	-	-	-	-	-	1	▲1
	中 等 症		1	-	1	-	-	-	-	-	-
	軽 症		2	-	2	-	-	-	-	-	-
	者 (うち30日死者)		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
合 計	3	-	3	1	-	1	-	2	▲2		
管 轄 人 口	人	10,585	10,803	▲218	18,476	18,688	▲212	10,056	10,290	▲234	
出 火 率	件/万人	8.5	2.8	5.7	4.3	7.0	▲2.7	6.0	2.9	3.1	
火災1件当たりの損害額	千円	643	200	443	22	1,480	▲1,458	2,840	15	2,825	
建 物 火 災 1件当たりの	損 害 額	千円	1,147	311	836	57	2,749	▲2,692	5,679	-	5,679
	焼 損 面 積	m ²	33.8	70.0	▲36.2	9.0	27.7	▲18.7	76.7	-	76.7
林 野 火 災 1件当たりの	損 害 額	千円	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	焼 損 面 積	a	-	-	-	1.0	-	1.0	1.5	-	1.5
住民1人当たりの損害額	円	547	55	492	10	1,030	▲1,020	1,694	4	1,690	
1日当たりの火災件数	件	0.02	0.01	0.01	0.02	0.04	▲0.02	0.02	0.01	0.01	

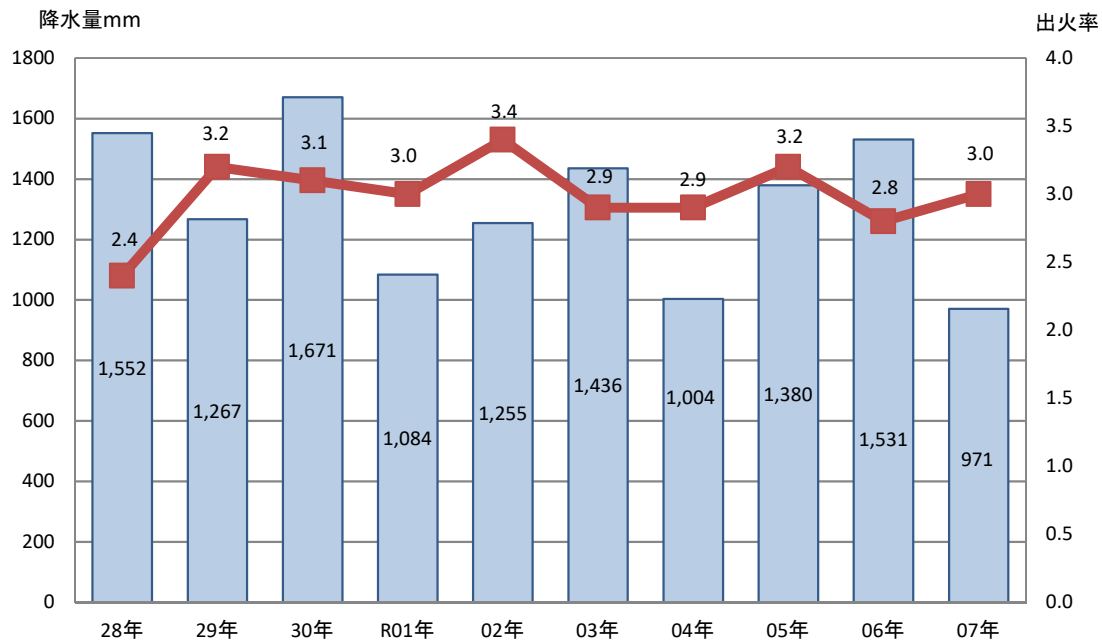
(注)火災種別が複数にわたった場合の火災件数は、火災報告取扱要領に基づき計上しています。

(注)管轄人口は、統計年の3月31日現在の住民基本台帳人口を記載しています。

2 火災状況の推移

区分		年別	単位										
			平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年	
火件	災数	建物	83	83	86	96	101	98	86	100	82	82	
		林野	5	9	12	9	13	7	8	7	1	6	
		車両	9	19	16	12	20	16	15	20	17	10	
		船舶	1	-	-	-	1	-	-	1	2	-	
		その他	40	76	66	59	62	43	58	53	56	69	
		合計	138	187	180	176	197	164	167	181	158	167	
損害額	千円	建物	299,880	283,187	303,100	95,899	477,826	252,420	319,253	432,688	329,515	461,506	
		林野	-	182	-	121	1	18	18	-	-	-	
		車両	4,575	9,939	5,037	25,539	8,221	2,975	4,087	17,323	9,753	7,384	
		船舶	39	-	-	-	3,685	-	-	33	245	-	
		その他	180	460	181	20,591	3,774	349	1,060	4,684	21,932	839	
		合計	304,674	293,768	308,318	142,150	493,507	255,762	324,418	454,728	361,445	469,729	
焼面	損積	建物	4,115.9	2,329.6	2,810.4	2,547.6	6,779.9	3,922.7	3,799.8	3,725.7	3,266.8	5,442.0	
		林野	16.4	249.4	46.3	43.4	3,443.2	11.4	44.6	22.6	4.9	47.0	
焼棟	損数	棟	全焼	19	12	23	18	35	28	18	33	23	29
			半焼	6	8	7	9	7	5	10	10	12	5
			部分焼	34	36	30	25	37	39	33	56	25	46
			ぼや	43	45	63	65	75	76	55	54	43	42
			合計	102	101	123	117	154	148	116	153	103	122
り世	災帯	世帯	全損	15	13	13	7	31	19	12	17	10	12
			半損	4	2	6	4	6	-	4	7	6	4
			小損	51	62	43	46	74	57	44	64	37	64
			合計	70	77	62	57	111	76	60	88	53	80
り人	災員	人	全損	26	15	26	13	46	36	29	29	27	22
			半損	3	7	12	6	11	-	10	11	15	11
			小損	126	101	81	119	138	138	113	129	75	131
			合計	155	123	119	138	195	174	152	169	117	164
死傷者	人	死者	3	3	10	5	8	7	8	4	5	8	
		重症	-	5	7	7	7	9	4	5	4	4	
		中等症	10	7	8	8	16	5	7	7	13	9	
		軽症	8	12	16	14	15	11	14	11	8	17	
		合計	21	27	41	34	46	32	33	27	30	38	
出火率	件/万人	2.4	3.2	3.1	3.0	3.4	2.9	2.9	3.2	2.8	3.0		
年間降水量	mm	1,552	1,267	1,671	1,084	1,255	1,436	1,004	1,380	1,531	971		

3 降水量と出火率の推移



4 署別火災件数

区分	署別	消防局管内			姫路東消防署	姫路西消防署	飾磨消防署	網干消防署	中播消防署		
		姫路市	受託町	合計					姫路市	受託町	小計
火災件数		144	23	167	47	29	37	18	-	23	23
出火率		2.8	5.9	3.0	3.6	2.0	2.6	2.6	-	5.9	3.2
火種	建物	71	11	82	23	16	20	4	-	11	11
	林野	3	3	6	1	2	-	-	-	3	3
	車両	9	1	10	2	3	4	-	-	1	1
	船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	61	8	69	21	8	13	14	-	8	8

5 月別火災状況

月別の火災件数は、2月が最も多く22件で、最も少ない月は、6月の7件となっています。

区分 月別	合計	火災種別						死傷者		主な出火原因				
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	1位	2位	3位	4位	5位
1月	17 (13)	11 (8)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	4 (3)	- (-)	- (-)	たき火・焼却火 5 (3)	放火(疑含む) 1 (1)	たばこ 1 (1)	-	-
2月	22 (16)	4 (3)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	17 (13)	3 (2)	3 (3)	たき火・焼却火 12 (8)	放火(疑含む) 3 (2)	電気関係 1 (1)	たばこ 1 (1)	ストーブ 1 (1)
3月	18 (17)	10 (10)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	6 (5)	1 (1)	4 (4)	たき火・焼却火 4 (3)	電気関係 4 (4)	放火(疑含む) 1 (1)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)
4月	9 (8)	3 (2)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	5 (5)	- (-)	1 (1)	たき火・焼却火 3 (3)	放火(疑含む) 1 (1)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)	灯火 1 (1)
5月	8 (8)	3 (3)	- (-)	3 (3)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	1 (1)	電気関係 1 (1)	炉・焼却炉 1 (1)	溶接機・切断機 1 (1)	-	-
6月	7 (5)	4 (3)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	たき火・焼却火 2 (1)	放火(疑含む) 1 (1)	電気関係 1 (-)	-	-
7月	16 (15)	8 (8)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	8 (7)	- (-)	3 (3)	電気関係 4 (4)	たき火・焼却火 3 (2)	たばこ 3 (3)	こんろ 1 (1)	炉・焼却炉 1 (1)
8月	16 (14)	8 (7)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	6 (6)	1 (1)	11 (11)	たき火・焼却火 2 (2)	電気関係 2 (1)	放火(疑含む) 1 (1)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)
9月	9 (8)	5 (4)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (4)	1 (1)	1 (-)	たき火・焼却火 2 (2)	電気関係 2 (2)	放火(疑含む) 1 (1)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)
10月	17 (15)	9 (8)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (7)	1 (1)	2 (2)	たき火・焼却火 5 (4)	放火(疑含む) 2 (2)	電気関係 2 (2)	たばこ 2 (2)	こんろ 1 (1)
11月	13 (11)	7 (6)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	放火(疑含む) 3 (3)	たき火・焼却火 2 (1)	電気関係 1 (1)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)
12月	15 (14)	10 (9)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	4 (4)	- (-)	3 (1)	電気関係 3 (2)	たき火・焼却火 2 (2)	こんろ 2 (2)	たばこ 1 (1)	内燃機関 1 (1)
合計	167 (144)	82 (71)	6 (3)	10 (9)	- (-)	- (-)	69 (61)	8 (7)	30 (27)	たき火・焼却火 42 (31)	電気関係 21 (18)	放火(疑含む) 14 (13)	たばこ 13 (13)	こんろ 9 (9)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 主な出火原因からは、「不明」「その他」は除いています。

6 四季別火災状況

季 節	令 和 7 年			令 和 6 年		
	火災件数	割 合 (%)	損害額 (千円)	火災件数	割 合 (%)	損害額 (千円)
春 季 (3月～5月)	35 (33)	21.0 (22.9)	21,903 (21,849)	55 (47)	34.8 (33.8)	181,401 (164,051)
夏 季 (6月～8月)	39 (34)	23.4 (23.6)	130,873 (127,987)	33 (33)	20.9 (23.7)	49,415 (49,415)
秋 季 (9月～11月)	39 (34)	23.4 (23.6)	101,359 (82,810)	32 (28)	20.3 (20.1)	58,228 (56,518)
冬 季 (12月～2月)	54 (43)	32.3 (29.9)	217,745 (216,233)	38 (31)	24.1 (22.3)	72,401 (71,575)

(注) ()内は姫路市の数値

7 建物用途別火災状況

防火対象物の用途別でみると、一般住宅が38件で、全体の46.3%を占めています。

防火対象物の区分 (令別表)		令 和 7 年				令和6年 件 数	増減数
		件数	構成比 (%)	損害額 (千円)			
	一 般 住 宅	38 (34)	46.3 (47.9)	109,213 (90,336)		30 (29)	8 (5)
(五)	ロ 共 同 住 宅	8 (8)	9.8 (11.3)	25,823 (25,823)		11 (11)	▲3 (▲3)
	併 用 住 宅	- (-)	- (-)	-		1 (1)	▲1 (▲1)
(一)	イ 劇 場 等	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	ロ 公 会 堂 等	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	イ キ ャ バ レ ー 等	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(二)	ロ 遊 技 場 等	- (-)	- (-)	-		1 (1)	▲1 (▲1)
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	ニ カラオケボックス等	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(三)	イ 料 理 店 等	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	ロ 飲 食 店	3 (3)	3.7 (4.2)	9 (9)		4 (4)	▲1 (▲1)
(四)	物 品 販 売 店 舗	1 (1)	1.2 (1.4)	12 (12)		1 (1)	- (-)
(五)	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	イ 病 院 等	- (-)	- (-)	-		1 (-)	▲1 (-)
(六)	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	- (-)	- (-)	-		1 (1)	▲1 (▲1)
	ハ 老 人 デ イ ケ ア セ ン タ ー ・ 保 育 園	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(七)	学 校	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(八)	図 書 館 等	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(九)	イ 特 殊 浴 場	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	ロ 公 衆 浴 場	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(十)	停 車 場 等	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(十一)	神 社 ・ 寺 院 等	1 (-)	1.2 (-)	2,644 (-)		- (-)	1 (-)
(十二)	イ 工 場 ・ 作 業 場	13 (10)	15.9 (14.1)	153,002 (151,703)		13 (11)	- (▲1)
	ロ ス タ ジ オ	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(十三)	イ 駐 車 場	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	ロ 航 空 機 格 納 庫	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
(十四)	倉 庫	4 (4)	4.9 (5.6)	164,206 (164,206)		4 (2)	- (2)
(十五)	事 務 所 等	1 (1)	1.2 (1.4)	5 (5)		3 (2)	▲2 (▲1)
(十六)	イ 特 定 複 合 用 途	4 (4)	4.9 (5.6)	23 (23)		4 (4)	- (-)
	ロ 非 特 定 複 合 用 途	2 (2)	2.4 (2.8)	1,544 (1,544)		1 (1)	1 (1)
(十七)	文 化 財	- (-)	- (-)	-		- (-)	- (-)
	そ の 他	7 (4)	8.5 (5.6)	6,696 (6,571)		7 (6)	- (▲2)
	合 計	82 (71)	100 (100)	463,177 (440,232)		82 (74)	- (▲3)

(注) ()内は姫路市の数値

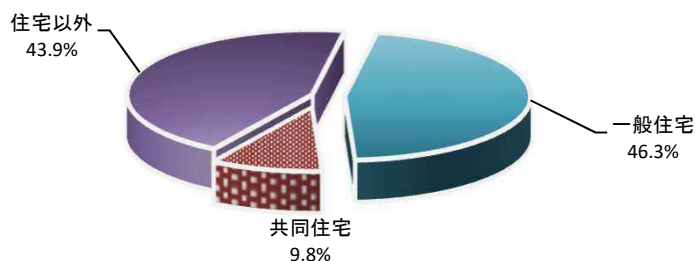
※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

8 建物火災に占める住宅火災の割合

建物火災82件のうち、住宅火災は46件発生し、建物火災全体の56.1%を占めています。

建物火災	住宅火災				住宅以外
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
82 (71)	46 (42)	38 (34)	8 (8)	- (-)	36 (29)

(注) ()内は姫路市の数値



※ 端数処理の関係上、グラフ中の計算が合わない場合があります。

9 火災の覚知方法

消防機関が火災をどのような方法で覚知しているかをみると、119専用電話が最も多く116件（69.5%）となっています。

種別	年次	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		
		火災件数	構成比(%)	火災件数	構成比(%)	火災件数	構成比(%)	火災件数	構成比(%)	火災件数	構成比(%)	構成比(%)
119 専用電話	固定電話	105	19 (14)	103	19 (17)	123	37 (31)	101	17 (16)	116	22 (20)	13.2 (13.9)
	携帯電話	(91)	86 (77)	(95)	84 (78)	(111)	86 (80)	(86)	84 (70)	(97)	94 (77)	56.3 (53.5)
加入電話	固定電話	9	5 (5)	8	6 (5)	8	5 (5)	7	5 (5)	4	4 (4)	2.4 (2.8)
	携帯電話	(9)	4 (4)	(6)	2 (1)	(7)	3 (2)	(6)	2 (1)	(4)	- (-)	- (-)
駆け付け通報		- (-)		1 (1)		1 (1)		- (1)		- (-)		- (-)
警察電話		1 (1)		- (-)		- (-)		- (-)		- (-)		- (-)
その他		1 (1)		12 (12)		7 (5)		8 (8)		7 (7)		4.2 (4.9)
事後聞知		48 (40)		43 (40)		42 (37)		42 (39)		40 (36)		24.0 (25.0)
合計		164 (142)		167 (154)		181 (161)		158 (140)		167 (144)		100 (100)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

10 初期消火実施状況

初期消火は、全火災件数のうち105件（62.9%）に対して実施され、56件（53.3%）が成功しています。

区 分		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他
初期消火あり	成功	簡易消火用具	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
		消 火 器	9 (9)	3 (3)	- (-)	- (-)	- (-)
		固定消火設備	2 (1)	1 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)
		そ の 他	45 (41)	24 (22)	2 (-)	1 (1)	- (-)
		小 計	56 (51)	28 (26)	3 (-)	1 (1)	- (-)
	失敗	簡易消火用具	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
		消 火 器	12 (11)	7 (6)	- (-)	2 (2)	- (-)
		固定消火設備	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
		そ の 他	37 (28)	16 (11)	1 (1)	4 (4)	- (-)
	小 計	49 (39)	23 (17)	1 (1)	6 (6)	- (-)	
合 計 (初期消火割合)		105 (90) 62.9% (62.5%)	51 (43) 62.2% (60.6%)	4 (1) 66.7% (33.3%)	7 (7) 70.0% (77.8%)	- (-)	43 (39) 62.3% (63.9%)
初 期 消 火 な し		62 (54)	31 (28)	2 (2)	3 (2)	- (-)	26 (22)
火 災 件 数		167 (144)	82 (71)	6 (3)	10 (9)	- (-)	69 (61)

(注) ()内は姫路市の数値
※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

11 初期消火失敗の理由

初期消火失敗の理由は、「初期消火の限界を超えていた」が最も多く、38件（77.6%）となっています。

合 計	初期消火の限界を超えていた	消火困難な場所	消火器具の数量不足	消火技術が悪かった	濃煙のため消火困難	その他
49 (39)	38 (28)	4 (4)	3 (3)	- (-)	- (-)	4 (4)

(注) ()内は姫路市の数値

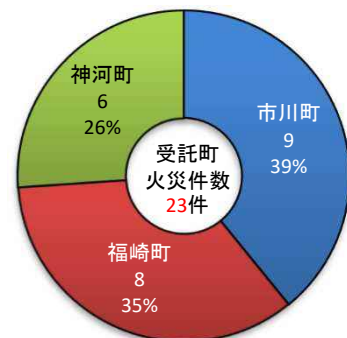
12 小学校区別火災状況

区分 校区	火災 件数	火災種別					焼損面積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
姫 路 東 消 防 署	白鷺	8	4	-	-	4	-	-
	野里	1	1	-	-	-	-	-
	城東	3	3	-	-	-	74.0	-
	東	2	2	-	-	-	204.0	-
	花田	5	3	-	1	1	-	-
	城北	-	-	-	-	-	-	-
	広峰	2	1	-	-	1	1.0	-
	水上	3	2	-	-	1	85.0	-
	砥堀	2	1	-	-	1	41.0	4.0
	城乾	-	-	-	-	-	-	-
	増位	3	2	-	1	-	122.0	-
	四郷	4	-	-	-	4	-	1.0
	御国野	2	1	-	-	1	115.0	-
	別所	2	1	-	-	1	-	-
	谷外	3	-	1	-	2	-	2.0
	谷内	3	1	-	-	2	418.0	-
豊富	4	1	-	-	3	-	-	
山田	-	-	-	-	-	-	-	
船津	-	-	-	-	-	-	-	
小計	47	23	1	2	-	1,060.0	7.0	
姫 路 西 消 防 署	城陽	3	2	-	-	1	224.0	-
	手柄	1	1	-	-	-	103.0	-
	船場	2	1	-	-	1	180.0	-
	荒川	1	1	-	-	-	8.0	-
	高岡	2	1	-	-	1	-	-
	安室	2	1	-	1	-	2.0	-
	城西	1	1	-	-	-	-	-
	安室東	3	3	-	-	-	57.0	-
	高岡西	3	2	-	-	1	34.0	-
	曾左	1	-	-	-	1	-	-
	白鳥	-	-	-	-	-	-	-
	太市	5	-	2	2	1	-	36.0
	林田	2	1	-	-	1	224.0	-
	伊勢	-	-	-	-	-	-	-
峰相	1	-	-	-	1	-	-	
青山	1	1	-	-	-	-	-	
安富南	1	1	-	-	-	37.0	-	
安富北	-	-	-	-	-	-	-	
小計	29	16	2	3	-	869.0	36.0	

区分 校区	火災 件数	火災種別					焼損面積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
飾 磨 消 防 署	飾磨	10	8	-	-	2	34.0	-
	津田	2	-	-	-	2	-	-
	英賀保	3	3	-	-	-	101.0	-
	高浜	-	-	-	-	-	-	-
	妻鹿	2	-	-	-	2	-	-
	広畑	-	-	-	-	-	-	-
	広畑第2	2	1	-	-	1	139.0	-
	八幡	4	2	-	1	1	1,977.0	-
	白浜	4	1	-	1	2	54.0	-
	八木	1	1	-	-	-	-	-
	糸引	1	1	-	-	-	4.0	-
	的形	1	-	-	1	-	-	-
	大塩	2	1	-	1	-	-	-
家島	3	1	-	-	2	93.0	-	
坊勢	2	1	-	-	1	-	-	
小計	37	20	-	4	-	2,402.0	-	
網 干 消 防 署	勝原	3	2	-	-	1	15.0	-
	旭陽	1	-	-	-	1	-	-
	網干	9	2	-	-	7	-	-
	大津	1	-	-	-	1	-	-
	南大津	2	-	-	-	2	-	-
	大津茂	-	-	-	-	-	-	-
	網干西	2	-	-	-	2	-	-
余部	-	-	-	-	-	-	-	
小計	18	4	-	-	-	15.0	-	
中 播 消 防 署	置塩	2	2	-	-	-	12.0	-
	古知	2	-	-	-	2	-	-
	前之庄	3	2	-	-	1	346.0	-
	苜野	-	-	-	-	-	-	-
	上菅	-	-	-	-	-	-	-
	菅生	3	2	-	-	1	200.0	-
	中寺	-	-	-	-	-	-	-
	香呂	2	1	-	-	1	-	-
	香呂南	1	1	-	-	-	112.0	-
	小計	13	8	-	-	-	670.0	-
受託町域 小計	23	11	3	1	-	8	426.0	4.0
合計	167	82	6	10	-	5,442.0	47.0	

13 事務受託町の火災状況

区分 町名	火災 件数	火災種別					焼損面積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
市川町	9	5	-	1	-	3	169.0	-
福崎町	8	3	1	-	-	4	27.0	1.0
神河町	6	3	2	-	-	1	230.0	3.0
合計	23	11	3	1	-	8	426.0	4.0



14 出火原因の推移

出火原因第1位は「たき火・焼却火」で、42件発生しています。

年次	主な出火原因					火災件数
	1位	2位	3位	4位	5位	
平成27年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	たばこ	電気関係	こんろ	193 (175)
	37(34) 19.2%	29(23) 15.0%	19(16) 9.8%	16(15) 8.3%	13(11) 6.7%	
平成28年	たばこ	たき火・焼却火	電気関係	放火(疑含む)	こんろ	138 (121)
	20(19) 14.5%	20(16) 14.5%	18(15) 13.0%	16(16) 11.6%	10(10) 7.2%	
平成29年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	こんろ	ストーブ	187 (168)
	47(36) 25.1%	29(29) 15.5%	21(18) 11.2%	10(10) 5.3%	9(8) 4.8%	
平成30年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	電気関係	たばこ	こんろ	180 (154)
	39(32) 21.7%	28(27) 15.6%	19(16) 10.6%	17(15) 9.4%	7(7) 3.9%	
令和元年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	たばこ	電気関係	こんろ	176 (150)
	42(30) 23.9%	27(27) 15.3%	18(18) 10.2%	18(17) 10.2%	10(10) 5.7%	
令和2年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	電気関係	たばこ	こんろ	197 (175)
	31(24) 15.7%	27(26) 13.7%	22(19) 11.2%	21(19) 10.7%	11(11) 5.6%	
令和3年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	電気関係	たばこ	こんろ	164 (142)
	30(29) 18.3%	22(18) 13.4%	20(17) 12.2%	17(16) 10.4%	10(10) 8.5%	
令和4年	たき火・焼却火	電気関係	放火(疑含む)	たばこ	こんろ	167 (154)
	36(31) 21.6%	19(19) 11.4%	18(18) 10.8%	17(16) 10.2%	11(11) 6.6%	
令和5年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	電気関係	こんろ	181 (161)
	29(19) 16.0%	28(27) 15.5%	27(24) 14.9%	23(20) 12.7%	7(7) 3.9%	
令和6年	たき火・焼却火	電気関係	放火(疑含む)	たばこ	こんろ	158 (139)
	27(22) 17.1%	23(21) 14.6%	19(17) 12.0%	11(8) 7.0%	11(11) 7.0%	
令和7年	たき火・焼却火	電気関係	放火(疑含む)	たばこ	こんろ	167 (144)
	42(31) 25.1%	21(18) 12.6%	14(13) 8.4%	13(13) 7.8%	9(9) 5.4%	

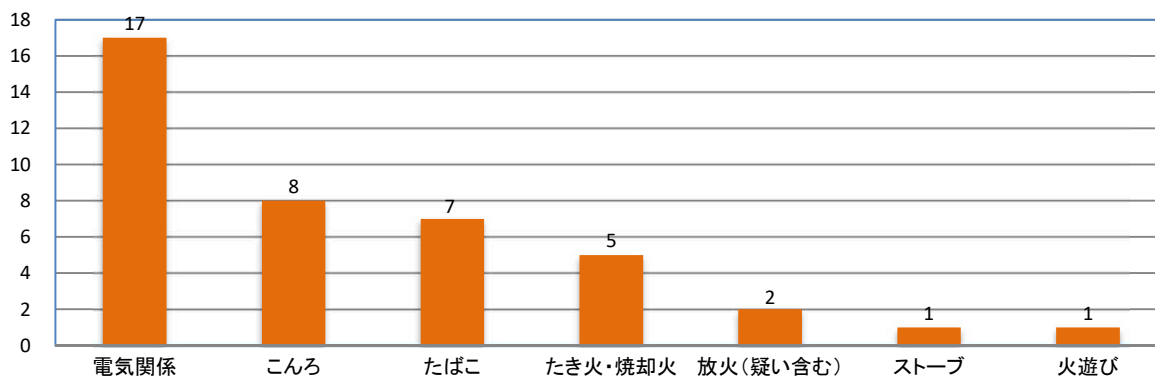
(注) ()内は姫路市の数値

15 建物用途別出火原因

出火原因は、「電気関係」が最も多く17件、続いて「こんろ」が8件、「たばこ」が7件となっています。

出火原因		合計	電気関係	こんろ	たばこ	たき火・焼却火	放火(疑い含む)	ストーブ	火遊び	その他	不明
	一般住宅	38 (34)	7 (6)	4 (4)	4 (4)	2 (-)	2 (2)	1 (1)	- (-)	9 (9)	9 (8)
(五)	ロ 共同住宅	8 (8)	2 (2)	1 (1)	3 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)
	併用住宅	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(一)	イ 劇場等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公会堂等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	イ キャバレー等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(二)	ロ 遊技場等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ カラオケボックス等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(三)	イ 料理店等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 飲食店	3 (3)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
(四)	物品販売店舗	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(五)	イ 旅館・ホテル等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	イ 病院等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(六)	ロ 老人短期入所施設等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ハ 老人デイサービスセンター・保育園	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ 幼稚園・特別支援学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(七)	学 校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(八)	図 書 館 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(九)	イ 特殊浴場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公衆浴場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十)	停 車 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十一)	神 社 ・ 寺 院 等	1 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十二)	イ 工場・作業場	13 (10)	2 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	11 (9)	- (-)
	ロ スタジオ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十三)	イ 駐 車 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 航空機格納庫	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十四)	倉 庫	4 (4)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	1 (1)
(十五)	事 務 所 等	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十六)	イ 特定複合用途	4 (4)	2 (2)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
	ロ 非特定複合用途	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	1 (1)
(十七)	文 化 財	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	7 (4)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	2 (1)
合 計		82 (71)	17 (14)	8 (8)	7 (7)	5 (3)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	28 (24)	13 (11)

(注) ()内は姫路市の数値



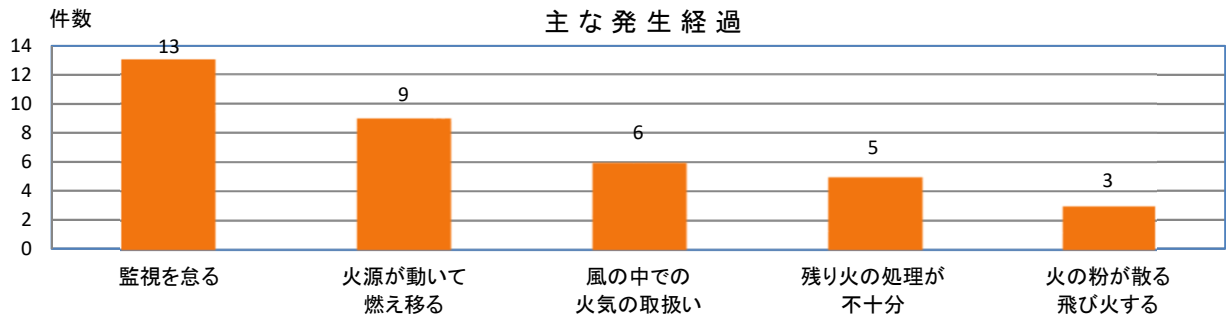
16 主な出火原因の状況

(1) たき火・焼却火

たき火・焼却火による火災は、全火災の約25%を占めています。
火災に至った経過は、「監視を怠る」が最も多くなっています。

区 分		年 次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災種別	合 計	(件)	22 (18)	36 (31)	29 (19)	27 (22)	42 (31)
	建 物	(件)	5 (3)	6 (6)	9 (7)	5 (5)	5 (3)
	林 野	(件)	4 (4)	7 (5)	2 (-)	1 (1)	4 (3)
	車 両	(件)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)
	船 舶	(件)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	(件)	13 (11)	23 (20)	18 (12)	21 (16)	32 (25)
建物焼損床面積		(㎡)	37.9 (8.9)	40.5 (40.5)	556.0 (530.0)	256.0 (256.0)	616.0 (391.0)
林野焼損面積		(a)	4.2 (4.2)	33.6 (25.0)	5.2 (-)	4.4 (2.4)	40.0 (39.0)
損 害 額		(千円)	108 (81)	1,176 (1,175)	55,111 (55,024)	4,148 (3,944)	22,462 (5,667)

(注) ()内は姫路市の数値

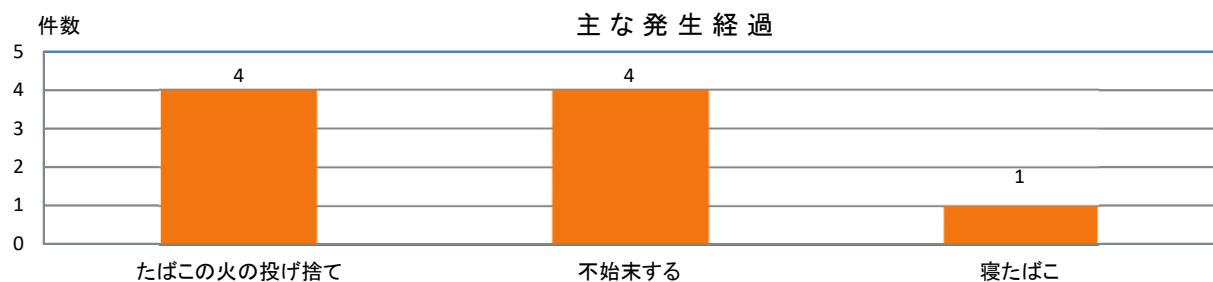


(2) たばこ

たばこによる火災は、全火災の約8%を占めています。
火災に至った経過は、投げ捨てと不始末が最も多くなっています。

区 分		年 次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災種別	合 計	(件)	17 (16)	17 (16)	28 (27)	11 (8)	13 (13)
	建 物	(件)	8 (7)	7 (7)	15 (14)	7 (5)	7 (7)
	林 野	(件)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
	車 両	(件)	1 (1)	- (-)	3 (3)	- (-)	- (-)
	船 舶	(件)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	(件)	8 (8)	9 (8)	10 (10)	4 (3)	6 (6)
建物焼損床面積		(㎡)	132.1 (27.1)	338.0 (281.0)	188.5 (188.5)	577.9 (485.9)	70.0 (70.0)
林野焼損面積		(a)	- (-)	- (-)	11.0 (11.0)	- (-)	- (-)
損 害 額		(千円)	5,285 (781)	42,197 (8,466)	8,678 (8,263)	92,428 (75,010)	11,740 (11,740)

(注) ()内は姫路市の数値



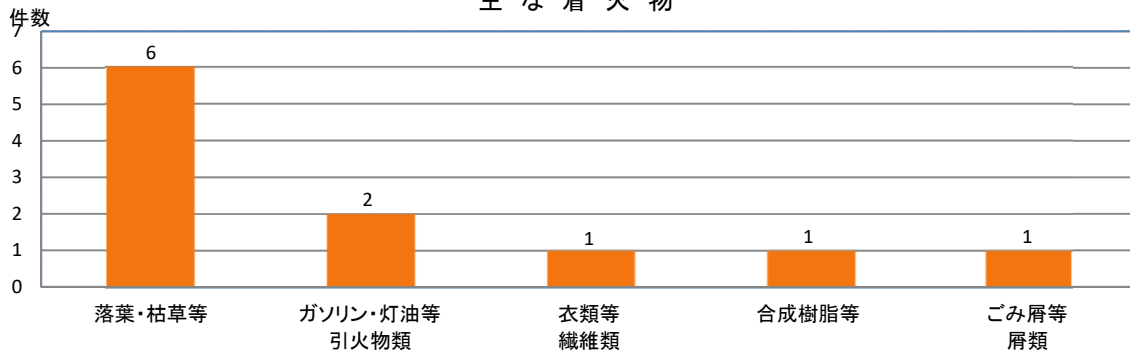
(3) 放火（疑いを含む）

放火（疑いを含む）による火災は、全火災の約8%を占めています。

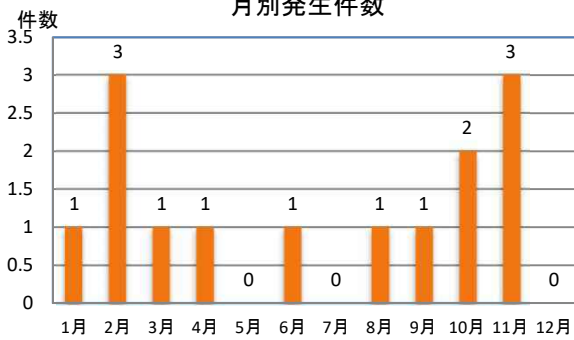
区 分		年 次		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年			
		合 計	()								
火災種別	建 物	19	(19)	7	(7)	13	(12)	7	(6)	2	(2)
	林 野	-	(-)	-	(-)	1	(1)	-	(-)	-	(-)
	車 両	2	(2)	-	(-)	1	(1)	1	(1)	-	(-)
	船 舶	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
	そ の 他	9	(8)	11	(11)	12	(10)	11	(10)	12	(11)
建物焼損床面積	(㎡)	195.0	(195.0)	288.0	(288.0)	1,024.1	(876.1)	44.0	(44.0)	106.0	(106.0)
林野焼損面積	(a)	-	(-)	-	(-)	2.7	(2.7)	-	(-)	-	(-)
損 害 額	(千円)	8,083	(8,082)	29,932	(29,932)	172,911	(148,126)	2,111	(2,109)	6,843	(6,840)

(注) ()内は姫路市の数値

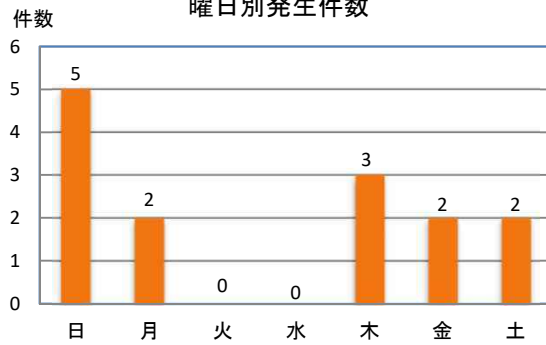
主な着火物



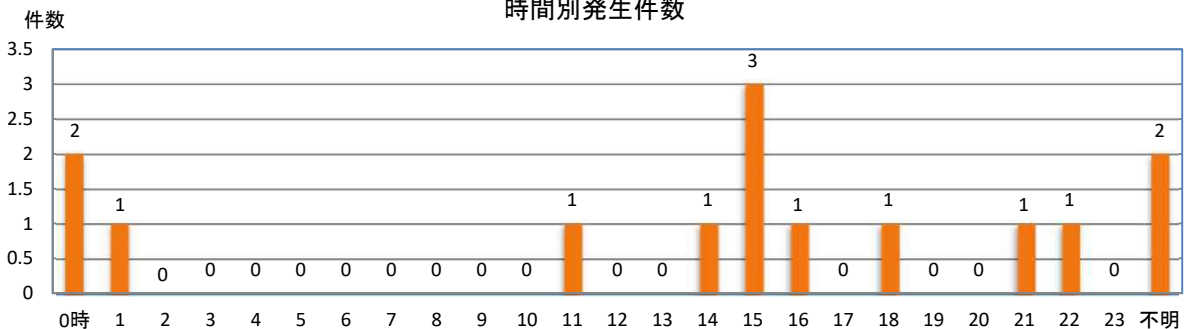
月別発生件数



曜日別発生件数



時間別発生件数



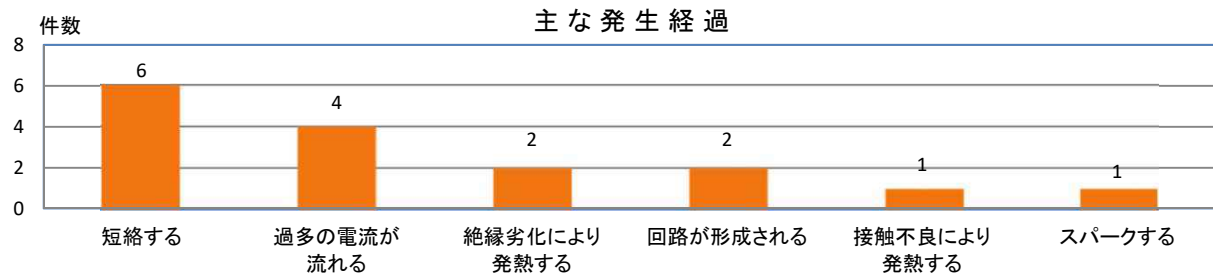
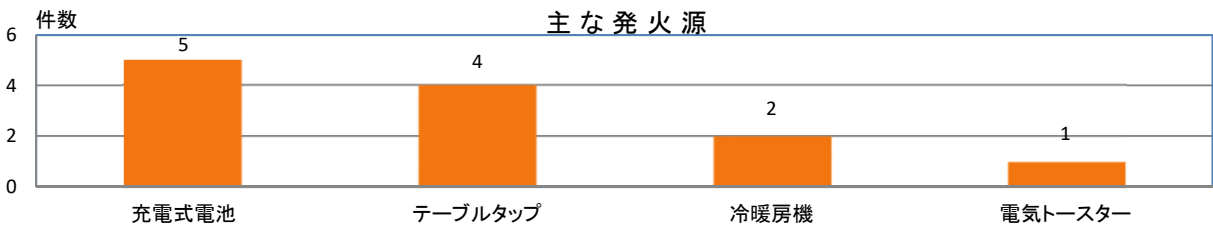
(4) 電気関係

電気関係による火災は、全火災の約13%を占めています。

発火源は、「充電式電池」が最も多く、「短絡」による発生原因が最も多くなっています。

区分		年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災種別	合計	(件)	20 (17)	19 (19)	23 (20)	23 (21)	21 (18)
	建物	(件)	18 (15)	14 (14)	16 (13)	15 (14)	17 (14)
	林野	(件)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	車両	(件)	- (-)	3 (3)	4 (4)	4 (3)	- (-)
	船舶	(件)	2 (2)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
その他	(件)	- (-)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	4 (4)	
建物焼損床面積	(㎡)	454.7 (406.0)	91.0 (91.0)	535.0 (346.0)	434.2 (434.2)	206.0 (149.0)	
林野焼損面積	(a)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
損害額	(千円)	37,585 (35,877)	9,372 (9,372)	96,888 (81,512)	65,969 (65,766)	86,854 (83,608)	

(注) ()内は姫路市の数値



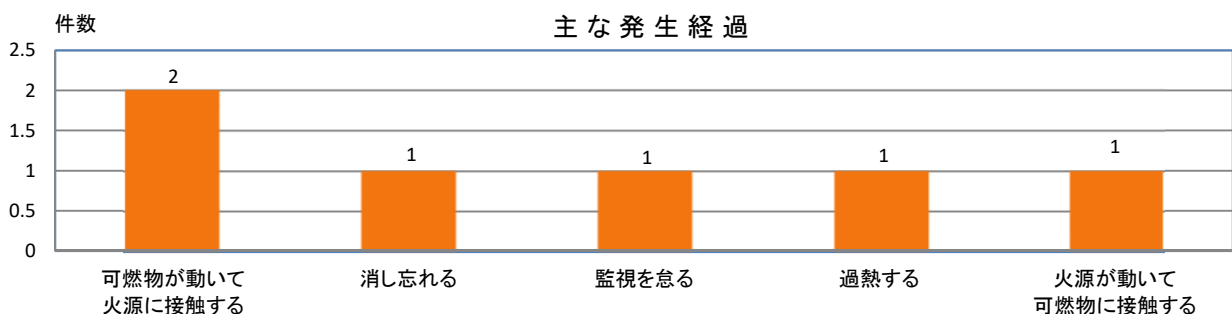
(5) こんろ

こんろによる火災は、全火災の約5%を占めています。

火災に至った経過は、「可燃物が動いて火源に接触する」が2件で最も多くなっています。

区分		年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災種別	合計	(件)	14 (12)	11 (11)	7 (7)	11 (11)	9 (9)
	建物	(件)	14 (12)	10 (10)	6 (6)	11 (11)	8 (8)
	林野	(件)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	車両	(件)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
	船舶	(件)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
その他	(件)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (1)	1 (1)	
建物焼損床面積	(㎡)	664.0 (545.0)	240.0 (240.0)	3.0 (3.0)	677.0 (677.0)	8.0 (8.0)	
林野焼損面積	(a)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
損害額	(千円)	19,276 (18,629)	17,332 (17,332)	393 (393)	26,002 (26,002)	178 (178)	

(注) ()内は姫路市の数値



17 火災による死者の推移

年次 年齢区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
5歳以下	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
6～10歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
11～15歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16～20歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
21～25歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
26～30歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
31～35歳	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
36～40歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
41～45歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
46～50歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
51～55歳	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	2 (2)
56～60歳	2 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)
61～64歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
65歳以上	5 (4)	6 (6)	4 (3)	5 (4)	5 (5)
合計	7 (5)	8 (8)	4 (3)	5 (4)	8 (7)

(注) ()内は姫路市の数値

18 火災による死者の発生状況

No.	年齢区分	性別	死因	火災種別	発生場所
1	65歳以上	男	火傷	建物	一般住宅
2	65歳以上	女	火傷	建物	共同住宅
3	65歳以上	男	火傷	建物	一般住宅
4	65歳以上	女	CO中毒・窒息	建物	一般住宅
5	65歳以上	男	自殺	その他	屋外
6	56～60歳	男	自殺	その他	屋外
7	51～55歳	女	CO中毒・窒息	建物	一般住宅
8	51～55歳	女	CO中毒・窒息	建物	共同住宅

19 火災による負傷者の推移

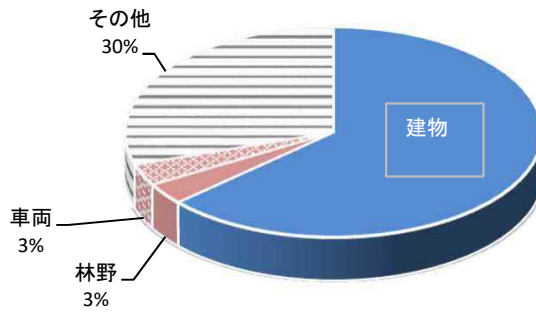
年次 年齢区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
5歳以下	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
6～10歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
11～15歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16～20歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
21～25歳	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	1 (1)
26～30歳	- (-)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	3 (2)
31～35歳	1 (1)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
36～40歳	4 (4)	2 (2)	- (-)	3 (3)	2 (2)
41～45歳	- (-)	2 (2)	- (-)	1 (1)	4 (4)
46～50歳	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (3)
51～55歳	3 (3)	3 (3)	2 (2)	4 (4)	3 (3)
56～60歳	4 (4)	2 (2)	1 (1)	- (-)	4 (3)
61～64歳	3 (2)	2 (2)	4 (3)	1 (1)	3 (3)
65歳以上	8 (8)	11 (10)	9 (9)	12 (11)	7 (6)
合計	25 (24)	25 (24)	23 (22)	25 (24)	30 (27)

(注) ()内は姫路市の数値

(1) 火災種別による負傷者

建 物 火 災	19 (16)
林 野 火 災	1 (1)
車 両 火 災	1 (1)
船 舶 火 災	- (-)
そ の 他 の 火 災	9 (9)
合 計	30 (27)

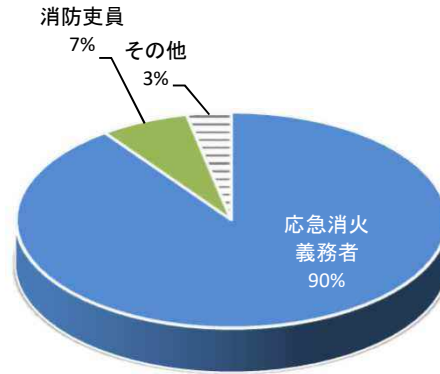
(注) ()内は姫路市の数値



(2) 負傷者の区分

応急消火義務者	27 (24)
消 防 団 員	- (-)
消 防 吏 員	2 (2)
そ の 他	1 (1)
合 計	30 (27)

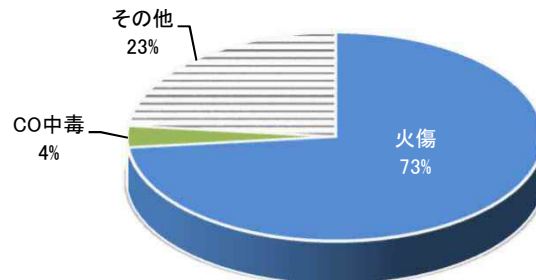
(注) ()内は姫路市の数値



(3) 負傷原因

火 傷	22 (19)
打 撲 ・ 骨 折	- (-)
C O 中 毒	1 (1)
そ の 他	7 (7)
合 計	30 (27)

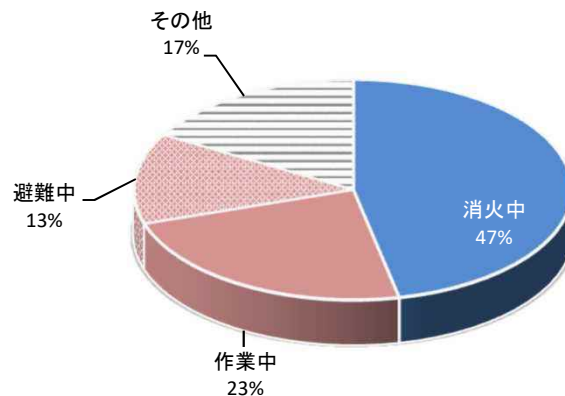
(注) ()内は姫路市の数値



(4) 負傷経過

消 火 中	14 (11)
作 業 中	7 (7)
避 難 中	4 (4)
就 寝 中	- (-)
そ の 他	5 (5)
合 計	30 (27)

(注) ()内は姫路市の数値



21 自治体消防発足以後の火災概要

■は最高記録

●は原因別第1位

年次	火災件数		死傷者		り災		焼損面積		損害額 (百万円)	主な出火原因					
	建物		死者	負傷者	世帯	人員	建物㎡	林野a		たき火 焼却火	たばこ	こんろ	火遊び	放火 (疑含む)	
昭和24	95	91	1	11	0	0	8,263	158	72	●	9	3	2	6	5
25	95	79	1	6	0	0	5,118	49	21	●	9	8	9	4	6
26	106	73	1	7	0	0	4,778	850	36		11	●	14	2	3
27	139	92	3	28	0	0	5,091	273	37	●	9	8	6	7	6
28	151	108	0	7	0	0	3,125	198	27		7	●	17	8	5
29	133	94	1	15	0	0	6,138	225	68		10	●	14	8	6
30	159	112	1	18	0	0	4,656	838	47	●	18	15	9	5	13
31	192	143	3	28	0	0	3,963	1,090	55	●	18	15	16	12	9
32	205	137	4	28	0	0	4,959	1,119	47		12	●	35	7	12
33	188	130	1	12	0	0	7,658	4,273	73		18	●	25	19	9
34	179	130	3	22	0	0	4,040	265	58	●	19	18	10	7	13
35	224	157	3	32	0	0	13,823	3,314	293	●	31	28	12	9	13
36	254	162	6	31	126	536	7,919	2,595	125	●	35	24	9	14	12
37	291	202	2	35	143	716	7,954	6,602	96		22	●	37	5	22
38	299	202	3	34	137	629	12,375	3,644	327		36	●	44	22	9
39	312	207	0	17	157	728	5,743	1,553	171		26	●	39	16	32
40	292	190	5	22	160	673	11,141	1,703	364		24	●	59	11	21
41	263	181	4	30	169	566	10,537	1,503	181		24	●	39	17	19
42	292	167	4	38	140	571	5,688	3,809	117		36	●	41	11	19
43	293	202	8	35	146	535	8,486	2,296	299		22	●	45	18	26
44	289	194	7	40	200	728	11,541	1,257	279		27	●	45	22	36
45	345	217	5	51	200	713	16,651	3,406	416		43	●	51	22	35
46	360	226	12	37	192	659	19,743	6,238	593		34	53	21	●	62
47	316	220	6	30	183	596	8,004	5,341	401		27	●	55	27	45
48	393	221	1	35	192	728	11,546	4,551	341		56	48	37	●	65
49	320	177	13	34	162	713	6,069	4,645	369		41	●	61	23	41
50	343	217	8	31	184	665	12,096	2,050	825		48	●	63	32	38
51	273	191	5	103	174	640	9,863	3,150	817		27	●	49	26	20
52	227	150	6	27	120	444	6,677	578	547		14	●	46	23	23
53	279	168	2	36	114	397	6,524	1,708	501		36	●	55	20	38
54	278	194	10	31	191	680	6,228	1,277	377		29	●	50	31	43
55	261	171	8	44	173	550	6,865	1,722	625		33	●	44	31	42
56	281	204	6	32	198	641	8,975	408	652		23	●	55	41	39
57	272	186	5	28	164	568	12,447	543	1,101		26	●	50	32	46
58	328	219	6	33	158	526	10,022	812	907		38	37	36	35	●
59	293	159	15	23	143	484	4,287	1,485	279	●	56	45	25	33	41
60	357	211	7	38	183	630	7,852	296	475		49	57	45	38	●
61	328	204	10	36	184	602	7,199	3,265	658		37	51	49	28	●
62	293	193	11	38	172	576	9,222	2,343	791		29	45	40	45	●
63	299	194	23	31	159	483	5,573	958	474		32	49	44	28	●
平成元	255	164	7	30	114	388	5,124	311	447		28	33	38	24	●
2	301	183	5	46	201	632	6,261	328	688		37	37	56	14	●
3	336	210	6	42	188	539	4,706	4,290	519		31	52	49	29	●
4	282	173	8	24	139	441	3,963	72	417		30	46	38	27	●
5	268	168	10	28	158	495	6,722	103	649		21	34	33	25	●
6	352	176	14	23	154	510	9,733	136	2,699	●	66	56	35	28	●
7	296	170	7	31	164	512	5,156	1,576	571		40	43	35	20	●
8	309	163	14	33	154	424	7,983	4,823	688		46	48	28	25	●
9	285	164	3	31	142	420	11,700	2,618	965		38	35	21	23	●
10	261	154	8	34	137	404	4,681	41	546		17	29	36	17	●
11	261	160	14	28	131	373	6,301	75	808		16	33	43	20	●
12	334	171	3	55	125	369	5,192	5,410	742		27	38	33	25	●
13	302	156	8	37	132	362	4,560	129	329		29	34	26	12	●
14	366	183	8	36	189	494	9,102	135	799		38	50	27	13	●
15	317	173	4	42	104	264	6,787	27	475		17	31	27	16	●
16	294	150	7	22	100	295	4,496	312	511		22	27	23	16	●
17	293	147	10	52	133	379	7,018	61	538		29	41	35	13	●
18	261	169	15	48	157	417	6,255	739	731		14	29	32	13	●
19	290	159	12	47	133	328	5,835	999	637		33	42	26	14	●
20	254	133	12	26	91	211	6,876	88	631		27	30	16	21	●
21	297	146	6	33	124	274	6,886	59	616		37	39	18	14	●
22	281	159	9	41	127	351	4,462	66	1,060		35	31	26	9	●
23	302	150	2	25	97	233	4,662	6,361	313		34	34	29	24	●
24	259	143	16	72	124	295	9,108	14	941		28	23	21	9	●
25	235	103	10	21	63	161	5,996	873	343	●	43	20	12	8	42
26	196	94	8	38	78	200	6,066	15	607	●	31	25	13	6	24
27	193	95	7	25	70	186	4,697	381	315		29	19	13	12	●
28	138	83	3	18	77	155	4,116	16	305	●	20	●	20	10	5
29	187	83	3	24	53	123	2,330	249	294	●	47	29	10	3	21
30	180	86	10	31	62	119	2,810	46	308	●	39	17	7	3	28
令和元	176	96	5	29	57	138	2,548	43	142	●	42	18	10	4	27
2	197	101	8	38	111	195	6,779	3,443	493	●	31	21	11	4	27
3	164	98	7	25	76	174	3,923	11	256		22	17	14	1	●
4	167	86	8	25	60	152	3,800	45	324	●	36	17	11	2	18
5	181	100	4	23	88	169	3,726	23	455	●	29	28	7	1	27
6	158	82	5	25	53	117	3,267	5	361	●	27	11	11	6	19
7	167	82	8	30	80	164	5,442	47	472	●	42	13	9	3	14

【救 急】

1 救急出場件数

区 分	姫路市消防局				姫路市			管轄外	
	出場件数	前年件数	前年比	構成比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年比
火 災	231	191	40	0.7	213	171	42	2	▲ 1
自然災害	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-
水 難	23	21	2	0.1	22	21	1	1	1
交通事故	2,088	2,234	▲ 146	5.9	1,972	2,119	▲ 147	14	9
労働災害	371	350	21	1.0	353	319	34	-	-
運動競技	178	177	1	0.5	168	168	-	-	-
一般負傷	5,626	5,683	▲ 57	15.9	5,263	5,318	▲ 55	-	-
加 害	117	142	▲ 25	0.3	113	138	▲ 25	-	-
自損行為	281	264	17	0.8	264	245	19	-	-
急 病	22,754	22,776	▲ 22	64.3	21,318	21,354	▲ 36	4	-
転院搬送	3,635	3,357	278	10.3	3,429	3,156	273	-	-
その他	83	83	-	0.2	78	78	-	-	-
合 計	35,387	35,278	109	100.0	33,193	33,087	106	21	9

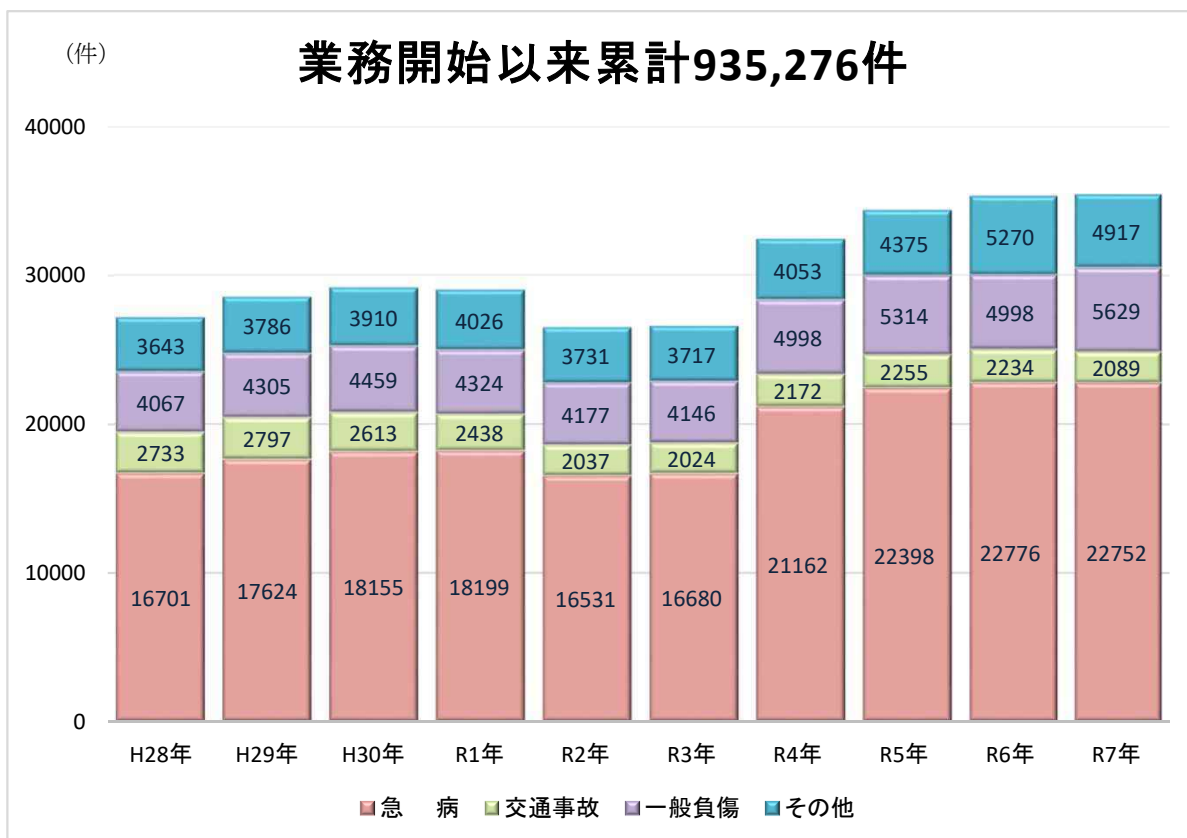
区 分 (受託町等)	受託町合計			市川町			福崎町			神河町		
	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比
火 災	16	17	▲ 1	6	3	3	5	12	▲ 7	5	2	3
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	102	110	▲ 8	24	34	▲ 10	60	47	13	18	29	▲ 11
労働災害	18	31	▲ 13	9	6	3	6	19	▲ 13	3	6	▲ 3
運動競技	10	9	1	4	4	-	2	5	▲ 3	4	-	4
一般負傷	363	365	▲ 2	112	108	4	150	137	13	101	120	▲ 19
加 害	4	4	-	-	1	▲ 1	3	3	-	1	-	1
自損行為	17	19	▲ 2	8	4	4	7	7	-	2	8	▲ 6
急 病	1,432	1,418	14	425	433	▲ 8	608	621	▲ 13	399	364	35
転院搬送	206	201	5	12	19	▲ 7	109	99	10	85	83	2
その他	5	5	-	2	1	1	2	3	▲ 1	1	1	-
合 計	2,173	2,179	▲ 6	602	613	▲ 11	952	953	▲ 1	619	613	6

2 救急出場件数の推移

業務開始以来、累計935,276件の救急に出場しています。

年次	件数	年次	件数	年次	件数	年次	件数
昭和33年	81	昭和50年	6,415	平成4年	10,010	平成21年	22,827
34年	91	51年	6,407	5年	10,492	22年	24,291
35年	257	52年	6,317	6年	10,761	23年	26,046
36年	494	53年	6,638	7年	12,063	24年	26,892
37年	698	54年	6,765	8年	12,321	25年	27,177
38年	1,114	55年	7,280	9年	12,813	26年	27,117
39年	1,817	56年	7,404	10年	13,331	27年	27,142
40年	2,214	57年	7,869	11年	14,144	28年	27,144
41年	2,837	58年	8,312	12年	15,428	29年	28,512
42年	3,062	59年	8,492	13年	16,195	30年	29,137
43年	3,181	60年	8,659	14年	16,955	令和元年	28,987
44年	3,972	61年	8,445	15年	17,739	2年	26,476
45年	4,918	62年	8,495	16年	18,802	3年	26,567
46年	5,499	63年	9,049	17年	19,671	4年	32,385
47年	6,172	平成元年	9,660	18年	19,340	5年	34,342
48年	6,412	平成2年	9,779	19年	22,679	6年	35,278
49年	6,021	3年	10,006	20年	21,993	7年	35,387
法制化				事務受託開始			

3 過去10年間の救急出場件数の推移



4 月別出場件数

1月が3,519件で最も多く、次いで12月(3,181件)、7月(3,139件)の順となっています。



5 曜日別出場件数

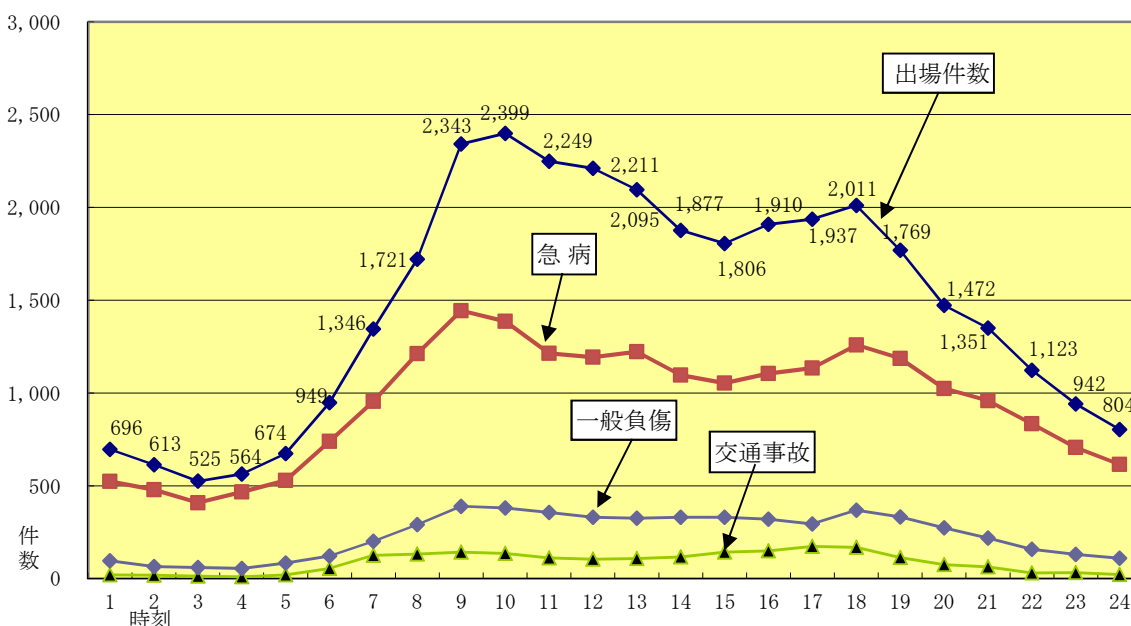
曜日別出場件数は、月曜日(103.8件)、土曜日(98.3件)の出場が多くなっています。

曜日	合計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
件数	35,387 (33,193)	5,103 (4,747)	5,395 (5,035)	4,915 (4,609)	5,071 (4,790)	4,831 (4,548)	4,959 (4,652)	5,113 (4,812)
1日平均	97.0 (90.9)	98.1 (91.3)	103.8 (96.8)	94.5 (88.6)	95.7 (90.4)	92.9 (87.5)	95.4 (89.5)	98.3 (92.5)
比率(%)	100.0	14.4	15.2	13.9	14.3	13.7	14.0	14.4
日数	365	52	52	52	53	52	52	52

(参考) 1日最高件数は、1月4(土)に162件を記録し、過去最多出場となりました。
()内は姫路市の数値です。

6 時間別出場件数

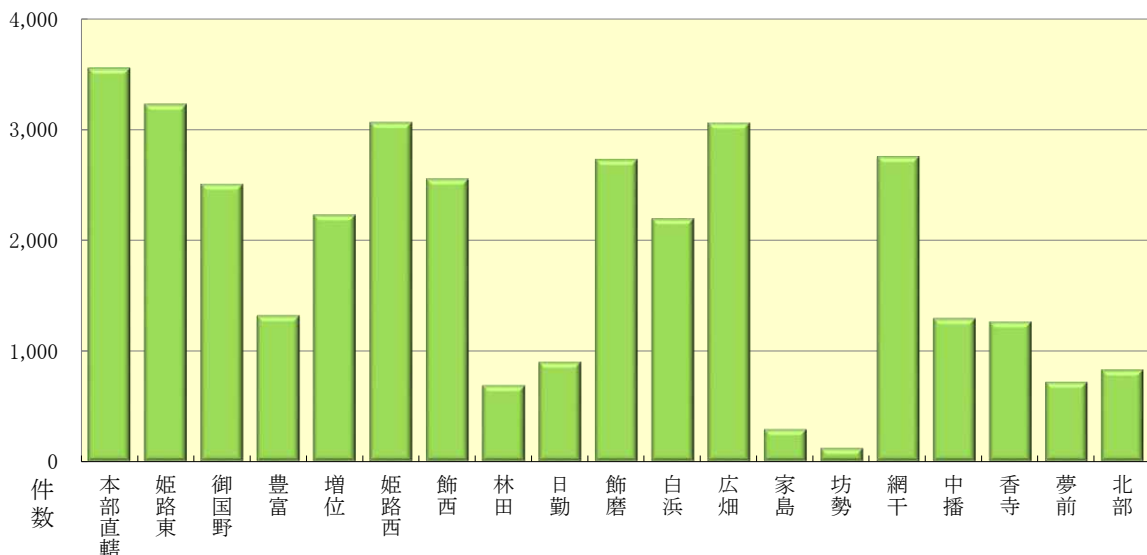
時間別出場件数は、10時台(6.57件)、9時台(6.42件)の出場が多くなっています。



7 隊別活動状況

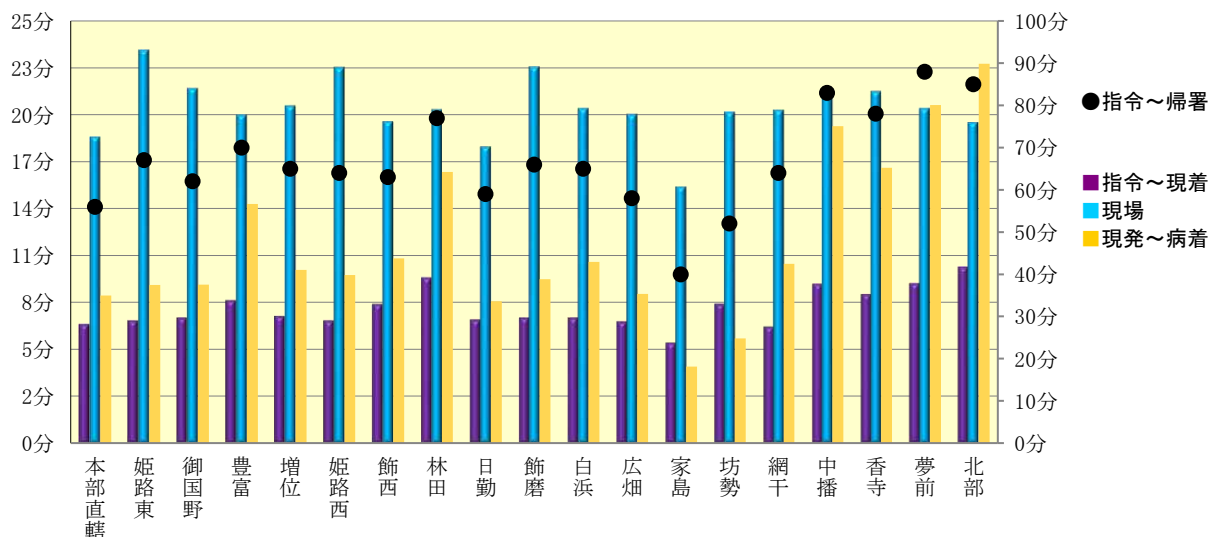
署・隊別 区 分		今年	前年数	前年比	消防局	姫路東消防署			
					本部直轄	姫路東	御国野	豊富	増位
出場状況	出場件数 (件)	35,387	35,278	109	3,561	3,233	2,513	1,325	2,235
	比率 (%)	100.0	—	—	10.1	9.1	7.1	3.7	6.3
	前年出場件数 (件)	35,278	—	—	3,505	3,285	2,652	1,252	2,308
	前年比 (件)	109	—	—	56	▲52	▲139	73	▲73
搬送人員 (人)	29,730	28,952	778	2,873	2,610	2,090	1,103	1,823	
不搬送件数 (件)	5,773	6,461	▲688	702	627	431	226	416	
1日平均 (件)	97.0	96.4	0.6	9.8	8.9	6.9	3.6	6.1	
1日最高 (件)	162	159	3	17	20	13	10	12	
急病の割合 (%)	64.3	64.6	▲0.3	63.8	63.8	65.0	62.4	67.8	
交通事故の割合 (%)	5.9	6.3	▲0.4	7.0	6.2	6.4	5.0	5.2	
一般負傷の割合 (%)	15.9	16.1	▲0.2	15.6	16.5	14.7	14.9	17.3	
転院搬送の割合 (%)	10.3	9.5	0.8	9.8	9.9	9.9	14.2	6.4	
常置場所以外からの出場件数 (件)	3,722	3,710	12	377	350	283	189	139	
連続出場 (件)	3,288	3,288	—	368	321	242	102	128	
ドクターカー連携 (件)	513	481	32	81	54	43	24	41	
ドクターヘリ連携 (件)	46	44	2	1	1	—	1	1	
1件当たりの 所要時間	受付～指令	1'58"	1'53"	0'05"	2'03"	1'56"	1'51"	1'54"	1'52"
	指令～現場	7'56"	7'53"	0'03"	7'18"	7'31"	7'41"	8'45"	7'47"
	現場	21'02"	22'26"	▲1'24"	18'48"	24'07"	21'45"	20'09"	20'42"
	現場～病院	11'28"	11'15"	0'13"	9'04"	9'43"	9'44"	14'41"	10'38"
	病院	13'18"	13'45"	▲0'27"	14'34"	16'38"	11'57"	11'07"	13'11"
	現着～病着	32'31"	33'41"	▲1'10"	27'52"	33'50"	31'29"	34'50"	31'20"
	指令～帰署	65'44"	66'43"	▲0'59"	56'32"	67'06"	62'12"	70'55"	65'12"
1件当たりの 走行距離 (km)	出場～現場	3.7	3.8	▲0.1	3.2	3.2	3.5	4.9	3.1
	現場～病院	8.0	7.9	0.1	5.6	5.8	6.3	10.7	6.5
	出場～帰署	19.7	19.7	—	14.1	14.6	15.8	27.2	16.7
全所要時間 (時間)	38,768	39,227	▲459	3,355	3,615	2,605	1,566	2,429	

・隊別出動件数の比較



姫路西消防署				飾磨消防署					網干署	中播消防署			
姫路西	飾西	林田	日勤	飾磨	白浜	広畑	家島	坊勢	網干	中播	香寺	夢前	北部
3,070	2,560	689	905	2,737	2,200	3,065	290	121	2,761	1,298	1,269	722	833
8.7	7.2	2.0	2.6	7.7	6.2	8.7	0.8	0.3	7.8	3.7	3.6	2.0	2.4
3,387	2,491	739	634	2,727	2,108	2,976	284	92	2,704	1,307	1,252	754	821
▲317	69	▲50	271	10	92	89	6	29	57	▲9	17	▲32	12
2,632	2,172	605	830	2,373	1,791	2,598	267	105	2,324	1,097	1,105	627	705
453	393	87	77	377	416	483	25	16	445	206	168	97	128
8.4	7.0	1.9	2.5	7.5	6.0	8.4	0.8	0.3	7.6	3.6	3.5	2.0	2.3
18	13	6	7	13	13	15	5	4	18	9	8	6	6
64.2	65.9	68.8	41.4	63.2	65.1	64.1	57.6	59.5	67.3	64.9	65.7	65.1	68.2
5.8	5.0	4.6	5.0	6.9	6.3	6.4	1.4	5.0	5.7	5.8	5.6	7.2	2.9
16.3	16.5	16.6	13.5	14.9	16.1	15.6	12.8	16.5	15.7	16.3	17.1	16.5	18.0
10.7	9.6	6.2	38.3	10.1	8.4	10.4	25.9	13.2	7.3	9.0	7.4	8.2	9.1
375	237	61	109	375	230	310	9	6	329	68	139	81	55
355	228	44	107	366	196	299	2	2	312	53	81	59	23
52	30	4	32	33	35	22	-	-	13	17	16	11	5
1	3	4	-	-	2	-	2	3	2	8	2	2	13
1'55"	1'48"	1'45"	1'51"	2'47"	2'03"	2'01"	1'43"	1'53"	1'52"	1'43"	1'54"	1'41"	1'40"
7'31"	8'31"	10'08"	7'34"	7'41"	7'41"	7'27"	6'09"	8'32"	7'08"	9'45"	9'07"	9'47"	10'48"
23'03"	19'44"	20'28"	18'11"	23'06"	20'33"	20'10"	15'43"	20'19"	20'26"	21'33"	21'35"	20'32"	19'41"
10'19"	11'21"	16'39"	8'42"	10'04"	11'07"	9'10"	4'42"	6'26"	11'00"	19'27"	16'54"	20'45"	23'17"
12'47"	10'47"	12'57"	14'24"	14'36"	13'46"	12'22"	9'33"	9'29"	14'06"	12'15"	13'10"	12'33"	11'59"
33'23"	31'06"	37'07"	26'53"	33'10"	31'40"	29'21"	20'25"	26'46"	31'25"	41'00"	38'29"	41'17"	42'57"
64'49"	63'31"	77'27"	59'01"	66'17"	65'25"	58'36"	40'21"	52'18"	64'05"	83'09"	78'59"	88'24"	85'57"
3.4	3.8	6.8	4.2	3.5	3.8	3.2	0.9	1.6	3.2	5.0	4.4	6.5	6.5
6.6	7.1	13.0	6.3	6.2	7.7	5.8	1.2	2.4	7.0	18.5	13.9	17.4	23.2
16.2	18.1	33.1	16.1	15.7	19.5	14.8	3.5	6.0	18.0	41.8	32.6	41.5	50.5
3,316	2,710	889	890	3,024	2,399	2,994	195	105	2,949	1,799	1,671	1,064	1,193

・隊別1件当たりの所要時間の比較



8 小学校区別出場状況

校区別出場件数は、前年に比べ勝原・手柄・大塩校区等が増加し、白鷺・城陽校区等が減少しています。

校区		区分	令和7年	令和6年	増減数
合計			35,387	35,278	109
姫路東消防署	小計		9,519	9,620	▲101
	白鷺		1,724	1,791	▲67
	野里		539	575	▲36
	城東		720	751	▲31
	東		648	618	30
	花田		633	634	▲1
	城北		331	370	▲39
	広峰		520	531	▲11
	水上		421	427	▲6
	砥堀		543	494	49
	城乾		290	274	16
	増位		457	485	▲28
	四郷		492	500	▲8
	御国野		592	563	29
	別所		444	422	22
	谷外		296	327	▲31
	谷内		114	105	9
	豊富		427	413	14
山田		124	103	21	
船津		204	237	▲33	
姫路西消防署	小計		9,500	9,403	97
	城陽		1,089	1,143	▲54
	手柄		916	863	53
	船場		620	582	38
	荒川		886	885	1
	高岡		1,088	1,062	26
	安室		574	552	22
	城西		469	480	▲11
	安室東		519	572	▲53
	高岡西		621	600	21
	曾左		640	650	▲10
	白鳥		600	591	9
	太市		143	120	23
	林田		219	234	▲15
	伊勢		56	57	▲1
	峰相		238	254	▲16
	青山		567	538	29
	安富南		232	201	31
安富北		23	19	4	
飾磨消防署	小計		8,563	8,487	76
	飾磨		1,357	1,363	▲6
	津田		625	600	25
	英賀保		1,049	1,057	▲8
	高浜		825	825	-
	妻鹿		237	257	▲20
	広畑		472	497	▲25
	広畑第二		541	541	-
八幡		884	886	▲2	

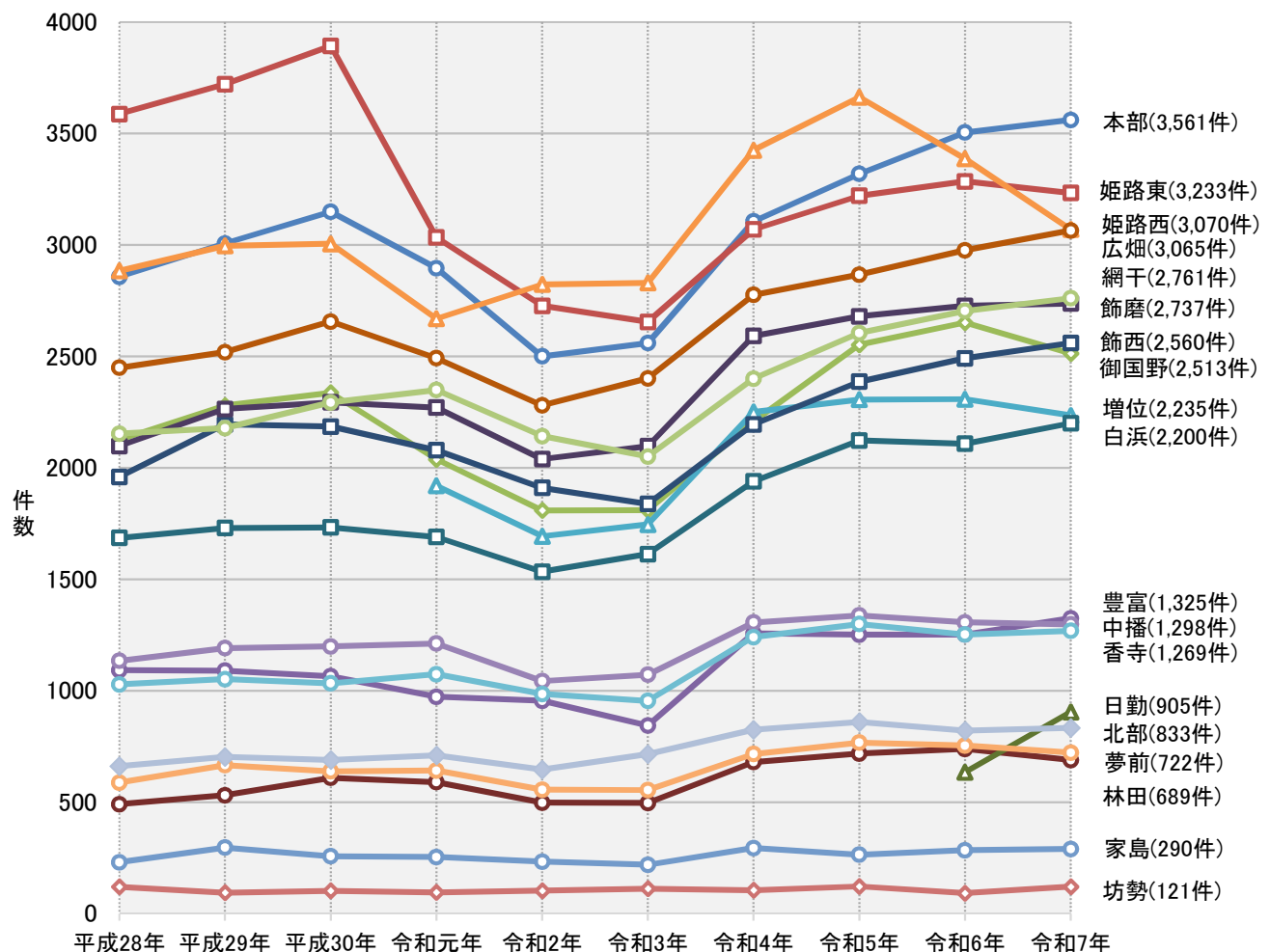
校区		区分	令和7年	令和6年	増減数
飾磨消防署	白浜		811	806	5
	八木		139	114	25
	糸引		487	490	▲3
	的形		264	266	▲2
	大塩		461	408	53
	家島		290	285	5
坊勢		121	92	29	
網干消防署	小計		3,761	3,685	76
	大津		655	695	▲40
	大津茂		190	199	▲9
	南大津		365	370	▲5
	網干		573	563	10
	旭陽		604	603	1
	勝原		718	640	78
	余部		244	241	3
網干西		412	374	38	
中播磨消防署	小計		4,023	4,071	▲48
	置塩		188	185	3
	古知		89	98	▲9
	前之庄		311	333	▲22
	苜野		60	60	-
	上菅		90	107	▲17
	菅生		184	211	▲27
	香呂		437	445	▲8
	香呂南		134	97	37
	中寺		357	356	1
	福崎		393	385	8
	高岡		58	60	▲2
	田原		376	387	▲11
	八千種		125	121	4
	川辺		179	195	▲16
甘地		153	168	▲15	
瀬加		122	104	18	
鶴居		148	146	2	
神崎		388	384	4	
寺前		186	180	6	
長谷		45	49	▲4	
管外※		21	12	9	

※管外とは、近隣市町へのお出でです。

9 隊別救急出場の推移

本部直轄救急隊が最も多く出場し、年間出場件数3,561件で1日平均9.8件となっております。

年次		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
区分	本部直轄	2,857	3,007	3,149	2,896	2,500	2,560	3,106	3,319	3,505	3,561
姫路東	姫路東	3,587	3,721	3,893	3,034	2,727	2,655	3,070	3,221	3,285	3,233
	御国野	2,126	2,279	2,337	2,038	1,809	1,810	2,208	2,552	2,652	2,513
	豊富	1,092	1,090	1,065	973	955	844	1,257	1,251	1,252	1,325
	増位	-	-	-	1,920	1,693	1,746	2,251	2,306	2,308	2,235
姫路西	姫路西	2,884	2,996	3,005	2,669	2,823	2,830	3,425	3,663	3,387	3,070
	飾西	1,959	2,195	2,185	2,079	1,910	1,838	2,195	2,387	2,491	2,560
	林田	491	531	609	590	498	496	680	718	739	689
	日勤	-	-	-	-	-	-	-	-	634	905
飾磨	飾磨	2,098	2,264	2,294	2,270	2,039	2,097	2,592	2,680	2,727	2,737
	白浜	1,686	1,730	1,733	1,690	1,534	1,613	1,939	2,123	2,108	2,200
	広畑	2,449	2,519	2,656	2,492	2,280	2,401	2,776	2,867	2,976	3,065
	家島	230	296	257	254	233	219	294	264	284	290
網干	網干	2,153	2,178	2,293	2,349	2,142	2,051	2,400	2,605	2,704	2,761
	中播	1,134	1,191	1,199	1,212	1,043	1,072	1,306	1,338	1,307	1,298
	香寺	1,028	1,052	1,033	1,074	985	954	1,240	1,299	1,252	1,269
	夢前	588	666	638	642	556	554	716	767	754	722
合計	北部	662	703	689	710	646	715	825	860	821	833
	合計	27,144	28,512	29,137	28,987	26,476	26,567	32,385	34,342	35,278	35,387



10 事故別・傷病程度別搬送人員

	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		前 年 人 数	前 年 比	
												転 院 搬 送	そ の 他			
合計	29,730 (100.0)	25 (0.1)	- (-)	6 (0.0)	1,785 (6.0)	351 (1.2)	169 (0.6)	4,875 (16.4)	82 (0.3)	177 (0.6)	18,659 (62.8)	3,598 (12.1)	3 (0.0)	28,952	778	
姫路市消防局	29,730 (100.0)	352	2	-	3	9	1	-	18	-	22	295	2	-	312	40
死亡		254	2	-	1	8	5	-	17	-	7	210	4	-	250	4
重篤		532	2	-	-	21	11	-	44	-	9	358	87	-	791	▲259
重症		16,719	7	-	2	464	163	36	2,203	20	93	10,345	3,384	2	15,879	840
中等症		11,873	12	-	-	1,283	171	133	2,593	62	46	7,451	121	1	11,720	153
軽症																
小計		322	2	-	3	9	-	-	16	-	20	270	2	-	286	36
姫路市	27,866 (93.7)	241	2	-	1	7	5	-	16	-	7	199	4	-	233	8
死亡		502	2	-	-	19	10	-	41	-	9	337	84	-	743	▲241
重篤		15,635	7	-	2	437	153	36	2,042	19	87	9,661	3,189	2	14,878	757
重症		11,166	12	-	-	1,208	165	124	2,444	60	41	6,997	114	1	11,015	151
中等症		27,866	25	-	6	1,680	333	160	4,559	79	164	17,464	3,393	3	27,155	711
軽症																
小計		10	-	-	-	-	1	-	1	-	-	8	-	-	4	6
市川町	491 (1.7)	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	4	▲1
死亡		11	-	-	-	-	-	-	2	-	-	9	-	-	16	▲5
重篤		278	-	-	-	7	6	-	48	-	4	202	11	-	270	8
重症		189	-	-	-	13	2	4	45	-	3	121	1	-	198	▲9
中等症		491	-	-	-	20	9	4	97	-	7	342	12	-	492	▲1
軽症																
小計		4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	9	▲5
福崎町	818 (2.8)	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	10	▲4
死亡		7	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	12	▲5
重篤		448	-	-	-	11	3	-	56	1	2	272	103	-	397	51
重症		353	-	-	-	42	3	2	74	1	2	224	5	-	351	2
中等症		818	-	-	-	56	6	2	130	2	5	509	108	-	779	39
軽症																
小計		16	-	-	-	-	-	-	1	-	1	14	-	-	13	3
神河町	539 (1.8)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	1
死亡		12	-	-	-	-	1	-	1	-	-	7	3	-	20	▲8
重篤		352	-	-	-	4	1	-	57	-	-	209	81	-	332	20
重症		155	-	-	-	12	1	3	30	1	-	107	1	-	151	4
中等症		539	-	-	-	16	3	3	89	1	1	341	85	-	519	20
軽症																
小計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
管外	16 (0.1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
死亡		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重篤		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重症		6	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	2	4
中等症		10	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	5	5
軽症		16	-	-	-	13	-	-	-	-	-	3	-	-	7	9
小計																

()内の数値は構成比 (%)

※ 重篤とは、生命の危険が切迫しているものをいう。
重症とは、3週間以上の入院加療を要するものをいう。
中等症とは、3週間未満の入院加療を要するものをいう。

11 年齢別・事故別搬送人員

年齢 事故別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	18,659 (62.8)	13 (0.0)	928 (3.1)	550 (1.8)	5,120 (17.2)	12,048 (40.5)
交通	1,785 (6.0)	- (-)	28 (0.1)	220 (0.7)	986 (3.3)	551 (1.9)
一般	4,875 (16.4)	2 (0.0)	342 (1.2)	207 (0.7)	813 (2.7)	3,511 (11.8)
その他	4,411 (14.8)	14 (0.0)	62 (0.2)	210 (0.7)	1,405 (4.7)	2,720 (9.1)
合計	29,730 (100.0)	29 (0.1)	1,360 (4.6)	1,187 (4.0)	8,324 (28.0)	18,830 (63.3)

年齢区分

※ ()内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者

成人:満18歳以上65歳未満の者

12 年齢別・傷病程度別搬送人員

年齢 程度別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
死亡	352 (1.2)	- (-)	1 (0.0)	3 (0.0)	47 (0.2)	301 (1.0)
重篤	254 (0.9)	- (-)	- (-)	4 (0.0)	49 (0.2)	201 (0.7)
重症	532 (1.8)	1 (0.0)	9 (0.0)	12 (0.0)	126 (0.4)	384 (1.3)
中等症	16,719 (56.2)	20 (0.1)	339 (1.1)	318 (1.1)	3,667 (12.3)	12,375 (41.6)
軽症	11,873 (39.9)	8 (0.0)	1,011 (3.4)	850 (2.9)	4,435 (14.9)	5,569 (18.7)
合計	29,730 (100.0)	29 (0.1)	1,360 (4.6)	1,187 (4.0)	8,324 (28.0)	18,830 (63.3)

年齢区分

※ ()内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者

成人:満18歳以上65歳未満の者

13 過去5年間の傷病程度構成比の推移

軽症・中等症が9割以上を占めています。



14 応急処置実施状況

区分	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
止血	882	115	129	527	111	
固定	1,008	39	488	350	131	
人工呼吸	141	118	3	8	12	
胸骨圧迫	26	24	-	2	-	
心肺蘇生	586	488	15	38	45	
酸素吸入	4,374	3,152	72	171	979	
気道確保(特定行為以外)	834	680	23	64	67	
保温	678	462	56	85	75	
被覆	2,168	132	486	1,315	235	
在宅療法	229	205	2	21	1	
除細動	45	42	-	1	2	
その他	42,104	28,116	2,309	6,563	5,116	
特定行為	気道確保	464	400	7	32	25
	(うち気管挿管)	26	9	-	15	2
	アドレナリン投与	186	156	2	16	12
	輸液	463	402	8	28	25
	(うち心肺停止前輸液)	125	115	3	3	4
	血糖測定	522	504	4	9	5
ブドウ糖投与	68	68	-	-	-	
合計	54,778	35,103	3,604	9,230	6,841	

※ 実施数(特定行為を除く)は、現場及び車内処置の合計です。
特定行為については、実施対象者数です。

15 救命率

救急隊が搬送した心肺停止患者578人で、30日以上生存者37人中16人が社会復帰されています。

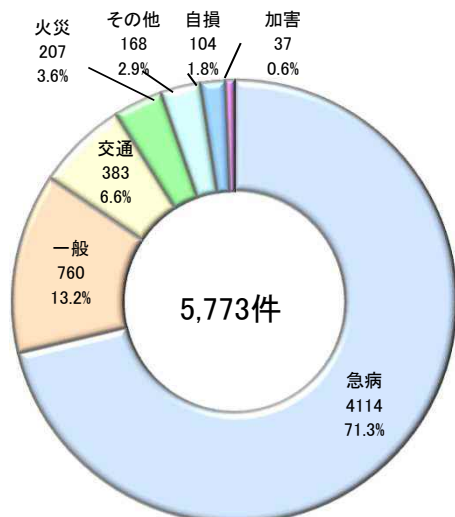
区 分		合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院
救急隊による心肺停止患者搬送者数		578	3	—	4	15	4	—	38	—	29	481	4
上記のうち市民による心肺蘇生法実施者数		249	—	—	1	4	1	—	22	—	9	210	2
1日以上7日未満生存		19	—	—	—	—	—	—	2	—	3	14	—
7日以上30日未満生存		13	—	—	—	1	—	—	2	—	1	9	—
30日以上生存		37	—	—	—	—	—	—	2	—	—	33	2
30日以上生存の内、社会復帰		16	—	—	—	—	—	—	1	—	—	13	2
発 生 場 所	個人住宅	327	1	—	—	—	—	—	22	—	19	285	—
	共同住宅	56	2	—	—	—	—	—	4	—	6	44	—
	福祉施設等	103	—	—	—	—	—	—	11	—	1	91	—
	一般道・高速道	32	—	—	—	12	—	—	—	—	1	19	—
	その他の屋外・屋内	3	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—
	ホテル・デパート等	17	—	—	—	—	—	—	1	—	—	16	—
	工場・作業場等	10	—	—	—	—	4	—	—	—	—	6	—
	病院・診療所等	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	JR姫路駅・構内	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1
	デモ	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	広場・遊園地・空地等	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2
	山・川・池・海等	11	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—	6
	その他	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
年 齢	3歳未満	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	4～6歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7～15歳	5	—	—	1	—	—	—	1	—	2	1	—
	16～19歳	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—
	20～29歳	6	—	—	—	2	1	—	—	—	2	1	—
	30～39歳	7	—	—	1	—	—	—	—	—	1	5	—
	40～49歳	14	—	—	—	2	—	—	—	—	1	9	2
	50～59歳	42	2	—	—	2	1	—	1	—	8	27	1
	60～69歳	54	—	—	—	2	2	—	1	—	4	45	—
	70～79歳	155	—	—	2	2	—	—	13	—	8	129	1
80～89歳	198	1	—	—	3	—	—	13	—	2	179	—	
90歳以上	93	—	—	—	1	—	—	9	—	1	82	—	

※ 市民処置は、傷病者の側にいた人が心肺蘇生法、または胸骨圧迫を実施した数です。

※ 生存者は、30日以上生存されている方です。

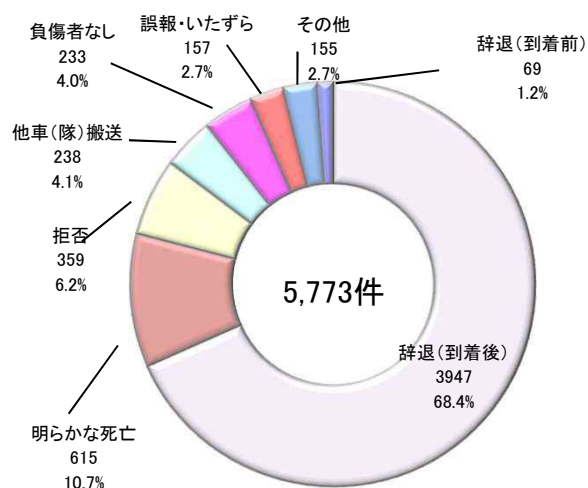
16 不搬送状況

出場件数35,387件に対する不搬送件数は5,773件(16.3%)です。



17 不搬送理由

不搬送理由のうち辞退及び拒否については、慎重な観察を行う必要があります。



18 市民処置状況

実施者区分 応急処置区分	合計	本人・ 家族	医療 従事 者	知人 ・ 同僚	職員 ・ 団員	教職員	警察官	実施 者 不明	その他	加害者
C P R	19	7	4	—	—	1	—	—	7	—
胸 骨 圧 迫	275	136	39	17	1	1	4	2	75	—
人 工 呼 吸	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
気 道 確 保	10	5	3	1	—	—	—	—	1	—
創傷・緊縛処置	30	18	—	5	1	2	—	—	4	—
移動体位管理	22	16	3	2	—	—	1	—	—	—
除 細 動	10	—	4	—	—	1	—	—	5	—
固 定 処 置	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
保 温	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	29	13	4	5	—	—	—	—	7	—
合 計	399	198	58	30	2	5	5	2	99	—

※ 救命率向上のためには、救急隊が現場到着するまでの間に付近の人が行う応急手当が最も重要です。

【救 助】

1 救助出動・活動状況

令和7年中における姫路市消防局の救助出動件数は、671件で前年より35件増加となり、活動件数は408件で8件増加となっています。

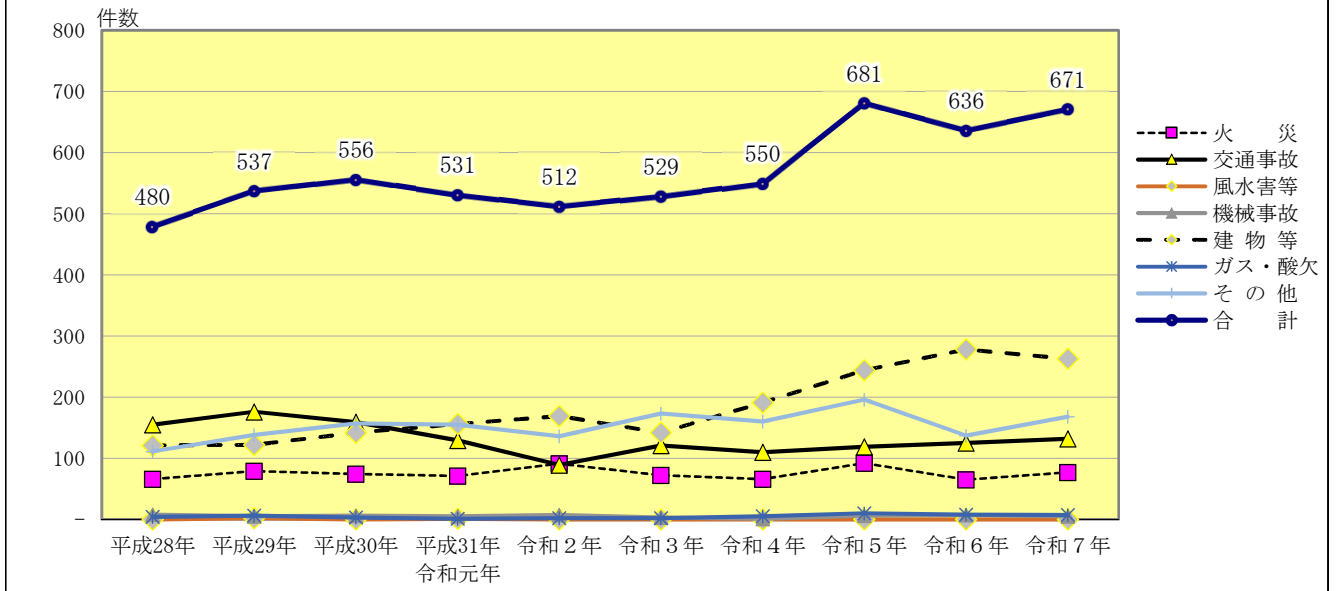
区 分		合計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他	
総 数	出動件数	671	77	132	19	-	5	263	7	168	
	前年出動件数	636	65	125	16	-	7	278	8	137	
	前年比	35	12	7	3	-	▲2	▲15	▲1	31	
	構 成 比 (%)	100.0	11.5	19.7	2.8	-	0.7	39.2	1.0	25.0	
	活動件数	408	18	68	17	-	4	248	6	47	
	前年活動件数	400	11	62	15	-	6	259	7	40	
	前年比	8	7	6	2	-	▲2	▲11	▲1	7	
	活 動 率 (%)	60.8	23.4	51.5	89.5	-	80.0	94.3	85.7	28.0	
	救助人員	274	6	57	13	-	4	144	9	41	
	前年救助人員	267	4	69	15	-	6	131	2	40	
	前年比	7	2	▲12	▲2	-	▲2	13	7	1	
	1件当たりの人員	1	0	1	1	-	1	1	2	1	
	活動人員	4,197	191	715	278	-	43	2325	59	586	
	前年活動人員	4,187	101	649	266	-	72	2494	120	485	
	前年比	10	90	66	12	-	▲29	▲169	▲61	101	
	1件当たりの人員	10	11	11	16	-	11	9	10	12	
	姫 路 市	出動件数	621	65	110	19	-	5	257	6	159
		前年比	33	11	3	3	-	▲1	▲12	▲1	30
		構 成 比 (%)	100.0	10.5	17.7	3.1	-	0.8	41.4	1.0	25.6
		活動件数	387	17	59	17	-	4	242	5	43
前年比		10	8	6	2	-	▲1	▲11	▲1	7	
活 動 率 (%)		62.3	26.2	53.6	89.5	-	80.0	94.2	83.3	27.0	
救助人員		260	6	50	13	-	4	140	9	38	
前年比		12	2	▲9	▲2	-	▲1	13	7	2	
1件当たりの人員	1		1	1	-	1	1	2	1		
市 川 町	出動件数	16	4	4	-	-	-	3	-	5	
	前年比	5	2	▲2	-	-	-	1	-	4	
	活動件数	9	1	3	-	-	-	3	-	2	
	前年比	4	1	-	-	-	-	2	-	1	
	救助人員	5	-	2	-	-	-	2	-	1	
前年比	-	-	▲2	-	-	-	2	-	-		
福 崎 町	出動件数	13	3	6	-	-	-	2	-	2	
	前年比	▲12	▲5	▲4	-	-	-	▲2	-	▲1	
	活動件数	6	-	3	-	-	-	2	-	1	
	前年比	▲5	▲2	▲3	-	-	-	▲1	-	1	
	救助人員	4	-	2	-	-	-	1	-	1	
前年比	▲4	-	▲4	-	-	-	▲1	-	1		
神 河 町	出動件数	11	3	4	-	-	-	1	1	2	
	前年比	2	3	4	-	-	▲1	▲2	-	▲2	
	活動件数	6	-	3	-	-	-	1	1	1	
	前年比	▲1	-	3	-	-	▲1	▲1	-	▲2	
	救助人員	5	-	3	-	-	-	1	-	1	
前年比	▲1	-	3	-	-	▲1	▲1	-	▲2		
管 轄 外	出動件数	10	2	8	-	-	-	-	-	-	
	前年比	7	1	6	-	-	-	-	-	-	
	活動件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	救助人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※「活動率」：救助活動件数÷救助出動件数×100

2 救助出動件数及び出動種別の推移

この10年間の救助出動件数をみると、平成28年以降、500～550件前後で推移していましたが、令和5年以降600件を超える件数に増加しています。事故種別でみると、特に建物等による事故の増加が顕著にみられます。建物等事故とは、建物、工作物に起因する事故で、主に一人暮らしの方の安否確認といった事案が増加傾向にあります。

事故種別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火 災	66	79	74	71	91	72	66	92	65	77
交通事故	155	176	159	129	89	121	110	119	125	132
水難事故	15	9	15	13	18	16	17	14	16	19
風水害等	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
機械事故	8	5	6	5	7	3	1	6	7	5
建物等	121	122	142	156	169	142	191	244	278	263
ガス・酸欠	4	6	3	1	2	2	5	10	8	7
その他	111	138	157	155	136	173	160	196	137	168
合 計	480	537	556	531	512	529	550	681	636	671



3 署別救助事故発生状況及び活動状況

署別の状況としては、姫路東、姫路西、飾磨消防署管内が全体の約8割の件数を占めています。前年比では、飾磨消防署及び網干消防署管内での事故が増加しています。

(令和7年中)

署 別	事故種別	合計	対前年 増減数	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
姫路東消防署	合計	173	▲6	21	25	3	-	2	72	1	49
	活動件数	105	▲10	7	14	3	-	2	66	1	12
姫路西消防署	合計	180	1	16	36	4	-	1	80	1	42
	活動件数	115	▲2	4	17	4	-	1	75	1	13
飾磨消防署	合計	182	34	16	37	8	-	2	68	2	49
	活動件数	111	19	6	18	7	-	1	64	2	13
網干消防署	合計	54	7	5	2	2	-	-	30	2	13
	活動件数	37	9	-	2	2	-	-	30	1	2
中播消防署	合計	72	▲8	17	24	2	-	-	13	1	15
	活動件数	40	▲8	1	17	1	-	-	13	1	7
受託町	合計	40	▲5	10	14	-	-	-	6	1	9
	活動件数	21	▲2	1	9	-	-	-	6	1	4
管轄外	合計	10	7	2	8	-	-	-	-	-	-
	活動件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	合計	671	35	77	132	19	-	5	263	7	168
	活動件数	408	8	18	68	17	-	4	248	6	47

※ 上段は出動件数、下段は活動件数

4 署所別救助事故発生状況

署所別では姫路西消防署本署、次いで飾磨消防署本署、白浜分署の管轄区域内で多く発生しています。

(令和7年中)

事故種別		合計	火災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
区分 姫路東消防署	本署	51	8	1	2	-	-	22	-	18
	御国野	44	4	8	-	-	-	14	1	17
	豊富	16	2	4	1	-	-	7	-	2
	飾東	15	1	7	-	-	1	2	-	4
	増位	47	6	5	-	-	1	27	-	8
	小計	173	21	25	3	-	2	72	1	49
姫路西	本署	130	13	31	1	-	1	57	-	27
	飾西	34	-	2	1	-	-	20	1	10
	林田	16	3	3	2	-	-	3	-	5
	小計	180	16	36	4	-	1	80	1	42
飾磨消防署	本署	66	9	7	7	-	1	29	1	12
	白浜	60	3	18	1	-	1	13	-	24
	広畑	44	3	9	-	-	-	20	1	11
	大的	11	1	3	-	-	-	5	-	2
	家島	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	坊勢	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	182	16	37	8	-	2	68	2	49
網干	本署	41	4	2	1	-	-	19	2	13
	勝原	13	1	-	1	-	-	11	-	-
	小計	54	5	2	2	-	-	30	2	13
中播消防署	本署	28	7	9	-	-	-	5	-	7
	香寺	9	1	2	-	-	-	3	-	3
	夢前	23	6	8	2	-	-	4	-	3
	北部	12	3	5	-	-	-	1	1	2
	小計	72	17	24	2	-	-	13	1	15
管轄外	高砂市	4	-	4	-	-	-	-	-	-
	たつの市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	加古川市	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	加西市	3	1	2	-	-	-	-	-	-
	宍粟市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太子町	2	-	2	-	-	-	-	-	-
	小計	10	2	8	-	-	-	-	-	-
合計	671	77	132	19	-	5	263	7	168	

5 発生場所別救助事故状況

発生場所は「屋内-住居」が332件と最も多く、主に「建物等による事故」によるものです。「一般道」の113件は、ほとんどが「交通事故」によるものです。

(令和7年中)

事故種別		合計	火災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
発生場所 屋内	住居	332	34	-	-	-	1	252	-	45
	他屋内	89	22	-	-	-	4	7	3	53
道路	高速道	13	5	8	-	-	-	-	-	-
	一般道	113	1	106	-	-	-	-	2	4
水面	内水面	26	-	4	13	-	-	-	-	9
	外水面	7	-	-	6	-	-	-	-	1
山岳	14	-	-	-	-	-	-	-	-	14
その他屋外	68	15	14	-	-	-	-	3	2	34
地下	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
その他	8	-	-	-	-	-	-	-	-	8
合計	671	77	132	19	-	5	263	7	168	

6 水難救助事故の状況

水難事故は、河川や海岸部で発生しており、全19件のうち5件で潜水活動を実施しています。

(令和7年中)

発生場所	事 総 件数	転落		自損		交通事故で転落		遊泳中		原因不明等		要救助者 総数	水難隊 出動	潜水活 動
		件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数			
内水面 (川)	9	1	10歳代 死									1	○	○
		1	70歳代 軽									1	○	
								1	30歳代 重			1	○	
										1	70歳代 死	1	○	
										1	80歳代 死	1	○	
										1	年齢不詳 死	1	○	
										1	年齢不詳 死	1	○	
内水面 (池)	3					1	なし					-	○	○
										1	50歳代 死	1	○	
										1	年齢不詳 死	1	○	
外水面	7	1	70歳代 無									1	○	
		1	70歳代 重									1	○	
				1	90歳代 死							1	○	○
						1	なし					-	○	○
						1	なし					-	○	○
										1	年齢不詳 死	1	○	
合計	19	4	死1・重1 軽1・無1	1	死1	3	なし	1	重1	10	死10	7	19	5

※ 死：死亡、篤：重篤、重：重症、中：中等症、軽：軽症、無：無症、不：不明、要救助者なし：なし

7 山岳救助事故の状況

事故種別「その他」の168件のうち14件は山岳事故で、道迷いが5件でした。

(令和7年中)

発生場所	事故 総 件数	転落・滑落		転倒		急病		道迷い		その他		要救助者 総数	ヘリ 搬送
		件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数		
雪彦山	1							1	50歳代 無 50歳代 無			2	—
明神山	1									1	40歳代 不	1	—
七種山	1	1	40歳代 中									1	—
笠形山	1							1	20歳代 不			1	—
書写山	2			1	40歳代 中							1	—
				1	70歳代 無							1	—
京見山	3					1	10歳代 不					1	—
								1	60歳代 不			1	—
その他の山岳地	5			1	60歳代 中					1	50歳代 中	1	—
								1	30歳代 無 9歳 無 7歳 無			3	—
								1	70歳代 無			1	—
										1	20歳代 中	1	—
合計	14	1	中1	3	中2・無1	1	不1	5	無6・不2	4	死1・中2・不1	17	0

※ 死：死亡、篤：重篤、重：重症、中：中等症、軽：軽症、無：無症、不：不明

8 救助出動隊員数及び活動隊員数

(令和7年中)

事故種別 区分	合計	火災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
専任救助隊	1,297	54	383	42	-	12	306	36	464
	468	37	104	20	-	6	216	10	75
兼任救助隊	2,080	154	204	133	-	4	690	68	827
	947	48	86	95	-	4	582	6	126
消防隊員	4,227	293	839	162	-	27	964	80	1,862
	1,656	63	331	113	-	21	841	28	259
救急隊員	2,104	81	485	62	-	15	802	21	638
	1,100	18	193	50	-	12	686	15	126
消防団員	509	253	1	-	-	-	-	-	255
	26	25	1	-	-	-	-	-	-
合計	10,217	835	1,912	399	-	58	2,762	205	4,046
	4,197	191	715	278	-	43	2,325	59	586

※「火災」については、救助活動のあった事案のみを対象としています。

※上段は出動隊員数、下段は活動隊員数

9 救助出動車両台数及び活動車両台数

(令和7年中)

事故種別 区分	合計	火災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
救助工作車	470	19	129	22	-	4	121	13	162
	188	14	39	12	-	2	87	3	31
タンク車	1186	89	159	37	-	5	392	20	484
ST車	546	21	81	28	-	4	345	6	61
梯子車	31	2	-	-	-	-	-	1	28
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化学車	33	-	-	-	-	-	-	2	31
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指揮隊車	350	25	129	22	-	4	13	8	149
指揮車	107	4	36	17	-	3	8	3	36
救急車	695	27	161	20	-	5	265	7	210
	364	6	64	16	-	4	227	5	42
消防団車両	105	47	-	-	-	-	-	1	57
	2	2	-	-	-	-	-	-	-
その他	73	5	3	19	-	-	2	7	37
	18	1	-	10	-	-	1	-	6
合計	2,943	214	581	120	-	18	793	59	1,158
	1,225	48	220	83	-	13	668	17	176

※ 上段は出動車両台数、下段は活動車両台数

10 救助事故別傷病程度

救助事故で発生した傷病者（自己脱出含む）を傷病程度により分類しています。

(令和7年中)

事故種別 区分	合計	火災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
死亡	84	5	13	10	-	-	51	3	2
重症	25	1	8	3	-	2	9	-	2
中等症	141	6	41	-	-	2	78	-	14
軽症	114	9	75	-	-	-	15	7	8
不明	186	5	65	3	-	1	84	1	27
合計	550	26	202	16	-	5	237	11	53

「不明」：本人拒否等により医療診断を受けなかった人数

11 救助資機材使用状況

(令和7年中)

区分	事故種別	合計								
		合計	火災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による 事故	ガス及び 酸欠事故	その他
一般 救助器具	かぎ付はしご	28	8	3	2	-	-	13	-	2
	三連はしご(二連)	102	25	3	3	-	-	56	-	15
	カラビナ	71	2	2	14	-	-	23	-	30
	担架・縛帯	38	-	4	10	-	-	8	-	16
	その他の	105	7	8	26	-	-	20	1	43
	小計	344	42	20	55	-	-	120	1	106
重量物 排除器具	油圧スプレッダー	4	-	3	-	-	1	-	-	-
	車両ウインチ	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	マットジャッキ	2	-	1	-	-	-	-	-	1
	その他の	14	-	3	2	-	-	-	-	9
	小計	1	-	8	2	-	1	-	-	10
切断 用具	油圧切断機	2	-	1	-	-	1	-	-	-
	エンジンカッター	3	3	-	-	-	-	-	-	-
	鉄線カッター	2	-	-	-	-	-	2	-	-
	グラブソー	1	1	7	-	-	-	1	1	-
	その他の	2	2	5	1	-	2	5	-	1
	小計	10	6	13	1	-	3	8	1	1
破壊 用具	万能斧	54	8	-	-	-	1	41	-	4
	その他の	29	5	6	1	-	-	10	2	5
	小計	83	13	6	1	-	1	51	2	9
測定 器具	測定器具	302	59	2	-	-	-	195	13	33
	呼吸保護 用器具	732	456	-	-	-	-	134	29	113
	送排風機	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	その他の	6	6	-	-	-	-	-	-	-
	小計	739	463	-	-	-	-	134	29	113
隊員保護 用器具	防護衣	1,190	60	209	31	-	6	658	15	211
	その他の	61	2	-	7	-	-	32	-	20
	小計	1,251	62	209	38	-	6	690	15	231
水難 救助器具	潜水器具一式	22	-	-	22	-	-	-	-	-
	救命胴衣	221	-	-	185	-	-	-	-	36
	その他の	43	-	-	43	-	-	-	-	-
	小計	286	-	-	250	-	-	-	-	36
山岳用 救助器具	カラビナ	14	-	-	-	-	-	-	-	14
	テーパー	37	1	5	-	-	-	1	-	30
	その他の	56	-	3	-	-	-	18	-	35
	小計	107	1	8	-	-	-	19	-	79
その他 救助器具	携帯拡声器	399	159	97	19	-	4	19	10	91
	携帯・可搬無線機	150	57	23	7	-	2	1	4	56
	強力ライト	665	242	133	4	-	-	117	5	164
	応急処置用セット	3	-	-	-	-	-	3	-	-
	感染防護具	4,861	325	1,048	150	-	54	2,386	56	842
	その他の	2,833	716	753	92	-	36	687	35	514
	小計	8,911	1,499	2,054	272	-	96	3,213	110	1,667
	合計	12,034	2,145	2,320	619	-	107	4,430	171	2,285

12 救助訓練実施状況

下記訓練とは別に、水難救助訓練(36回、延べ456人)及び山岳救助訓練(72回、延べ648人)を実施しています。

(令和7年中)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
体力練成 及び訓練	77 318 100:30	62 277 97:00	74 315 77:00	91 400 121:50	94 459 134:00	102 453 122:30	94 431 86:30	113 457 115:30	89 381 66:30	93 442 83:30	100 444 82:00	94 396 99:30
ロープ基本 応用訓練	27 114 28:00	16 88 24:00	26 105 24:00	16 67 16:00	8 43 16:00	14 74 16:00	13 68 16:00	16 86 13:00	16 70 16:25	22 105 22:00	17 98 19:00	23 110 22:00
検索救助 訓練	51 254 59:30	45 189 36:15	49 195 76:30	47 245 51:15	54 258 41:15	48 223 55:35	58 236 58:45	80 316 66:30	88 442 106:00	71 343 57:00	73 359 126:10	56 285 64:30
救助器具 取扱訓練	40 169 46:42	30 135 21:00	40 182 40:30	46 197 53:30	28 108 27:30	24 105 24:15	7 35 8:00	29 103 26:00	44 214 53:00	61 295 52:00	49 216 43:30	28 126 31:00
救助事象 想定訓練	94 322 53:50	46 316 71:55	51 202 22:05	25 110 34:45	27 131 52:15	27 102 34:30	30 125 31:00	39 112 56:00	47 205 78:30	46 301 53:45	53 283 87:30	38 211 50:30
その他の 訓練	48 205 54:06	27 161 37:30	51 184 49:30	117 446 199:45	98 381 187:15	89 309 213:50	68 274 130:30	41 186 93:00	63 314 71:30	55 344 49:00	46 194 37:00	53 206 55:00

※ 上段：実施回数、中段：実施延べ人員、下段：実施延べ時間

1 火災・救助以外の消防隊の緊急出動状況

区 分	出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
石油コンビナート災害	15 (15)	92 (92)	328 (328)
救急支援・PA出動等	1,996 (1,868)	2,018 (1,889)	7,189 (6,669)
警 戒 出 動	766 (720)	817 (740)	3,116 (2,832)
誤 報 ・ 偽 報	85 (81)	449 (430)	1,627 (1,557)
風 水 害 等 出 動	- (-)	- (-)	- (-)
合 計	2,862 (2,684)	3,376 (3,151)	12,260 (11,386)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 石油コンビナート災害とは、石油コンビナート等災害防止法に規定されている異常現象のうち「火災」に該当するものを除いたものを示します。

※ 警戒出動とは、石油コンビナート災害を除く危険防除活動、現場警戒等を示します。

2 兵庫県消防防災航空隊災害出動状況

兵庫県消防防災航空隊は、平成16年4月から兵庫県保有1機、神戸市保有2機の一体的運用により、県下一円の災害に対応できるよう常時2機の稼働体制を確保しています。

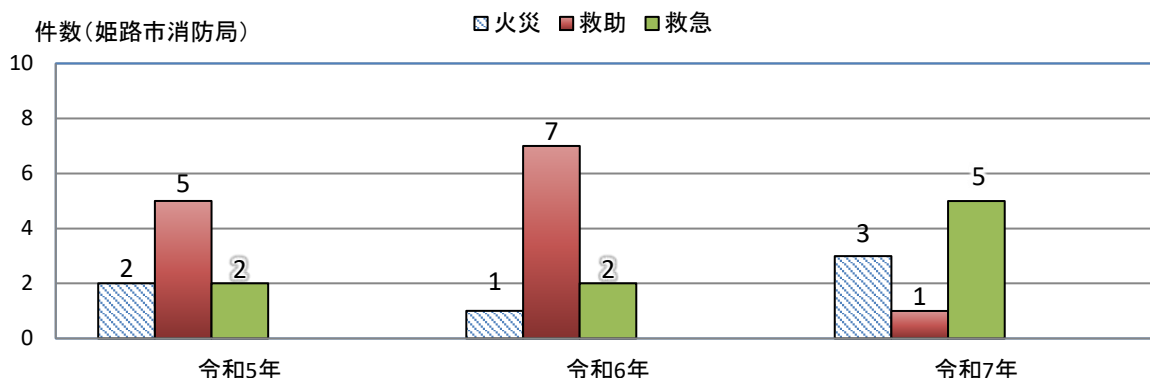
医師等が搭乗する医療スタッフ同乗型救急ヘリコプターについては、兵庫県災害医療センター、神戸大学付属病院と連携し実施しています。

神戸空港を起点に兵庫県全土を対象に活動しています。

令和5年	火災	救助	救急	その他
姫路市(8件)	2	4	2	-
市川町(-件)	-	-	-	-
福崎町(1件)	-	1	-	-
神河町(-件)	-	-	-	-
合計(9件)	2	5	2	-
航空隊出動総数(137件)	18	46	73	-

令和6年	火災	救助	救急	その他
姫路市(9件)	1	6	2	-
市川町(1件)	-	1	-	-
福崎町(-件)	-	-	-	-
神河町(-件)	-	-	-	-
合計(10件)	1	7	2	-
航空隊出動総数(123件)	11	44	60	8

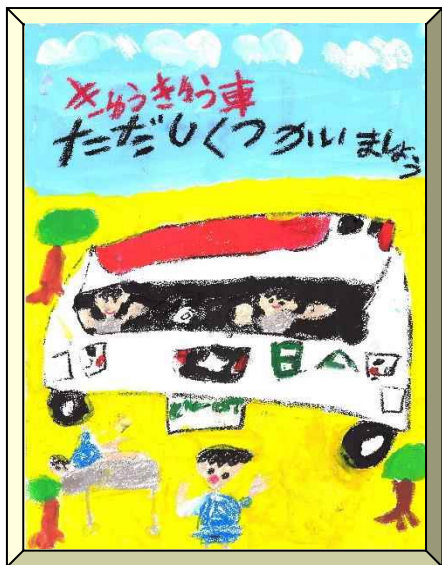
令和7年	火災	救助	救急	その他
姫路市(9件)	3	-	5	-
市川町(1件)	-	-	-	-
福崎町(-件)	-	1	-	-
神河町(-件)	-	-	-	-
合計(9件)	3	1	5	-
航空隊出動総数(121件)	26	41	54	-



資 料

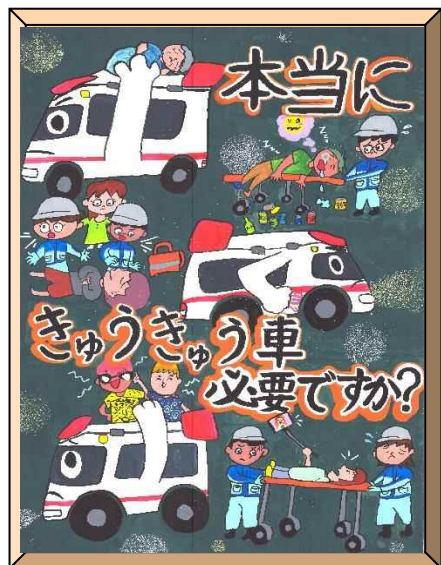
令和7年度救急車適正利用啓発ポスター入賞作品

金賞 (1点)



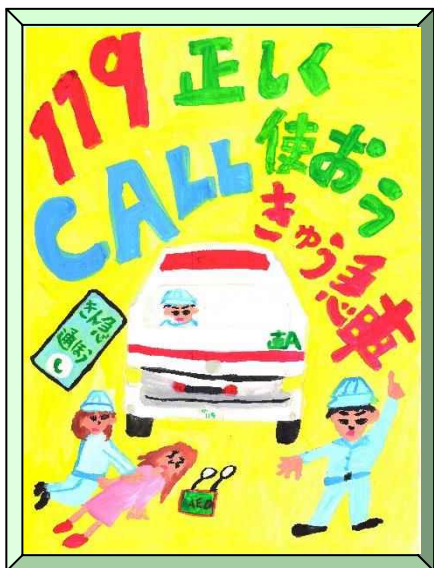
姫路市手柄小学校 2年生
橋本 蓮 さんの作品

銀賞 (1点)



姫路市立安室小学校 6年生
松岡 釉月 さんの作品

銅賞 (2点)



姫路市立城陽小学校 4年生
川野 千紘 さんの作品



姫路市花田小学校 1年生
福井 創大 さんの作品

令和7年度防火ポスター—最優秀賞・金賞作品



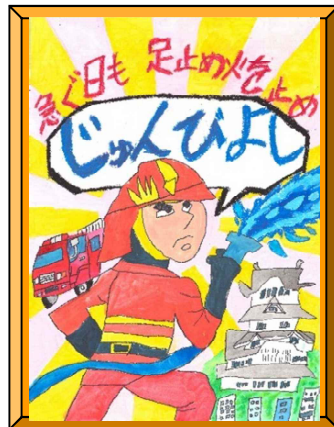
最優秀賞
令和7年秋季火災予防運動ポスター—
姫路市立安室小学校 2年生
西山 結彩 さんの作品



最優秀賞
令和8年春季火災予防運動ポスター—
姫路市立谷外小学校 4年生
林 俊佑 さんの作品



金賞
姫路市立城西小学校 1年生
高江 真寛 さんの作品



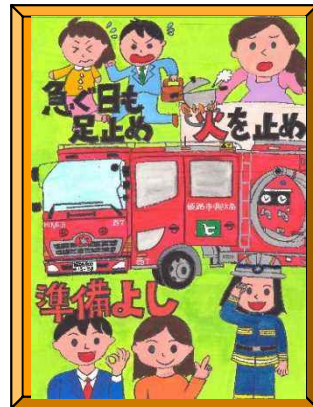
金賞
姫路市立城北小学校 3年生
中尾 壮汰 さんの作品



金賞
姫路市立八幡小学校 4年生
藤田 彩乃 さんの作品



金賞
姫路市立安室小学校 5年生
井寄 壺心 さんの作品



金賞
姫路市立城西小学校 6年生
左海 優奈 さんの作品

※学年は、受賞時のもの

令和7年度火災予防啓発ポスター・チラシ

「火災警報」等発令中は

火の使用が制限されます

長期にわたり雨量が著しく少ないなど、一定の気象条件に達した場合、火災警報等を発令します。発令された対象区域内では火の使用が制限されます。火災警報発令中に火の使用制限に従わない場合は、罰則が適用されることがあります。詳しくは裏面をお読みください。

火災警報等発令時に制限される火の使用の例

山林での火入れ	たき火	花火	燃えやすい物の近くでの喫煙
			

2025年2月に発生した岩手県大船渡市の大規模林野火災を受け、国が検討会を設けた結果、一定の気象条件に達した場合、「屋外における裸火で火の粉が飛散する行為」を制限し、火災予防の実効性を高めることが必要とされました。これをふまえて、全国の市町村で火災予防条例が改正されています。

姫路市消防局

○「火災警報」「林野火災注意報」の制度について

2025年2月に発生した岩手県大船渡市の大規模林野火災を受け、国が検討会を設けた結果、一定の気象条件に達した場合、「屋外における裸火で火の粉が飛散する行為」を制限し、火災予防の実効性を高めることが必要とされました。これをふまえて、本市においても条例・規則改正をし、運用を開始しました。

危険物安全週間中の広報及び危険物に対する保安意識の高揚のため、兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科の谷川咲優さんにデザインを作成していただきました。

慣れと油断が事故を呼ぶ

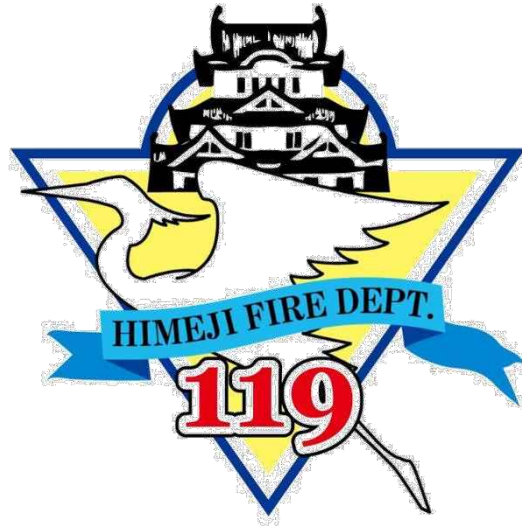


危険物安全週間

兵庫県立姫路工業高等学校 デザイン科 谷川 咲優さん

姫路市消防局 

このページは空白です。



姫路市 ホームページ

<https://www.city.himeji.lg.jp>



姫路市消防局 公式インスタグラム

https://instagram.com/himeji_fd.119



@HIMEJI_FD.119